マルチファンクション
コントローラー

取扱説明書

Mercedes-Benz

●この取扱説明書はマルチファンクションコントローラー[VICS対応DVDナビゲーション、AM/FMラジオ、テレビ]（以下、マルチファンクションコントローラーと呼ぶ）についての取り扱いについて説明しています。車の装備に合わせて、ご使用の前によくお読みになり、安全で快適な走行にお役立てください。

●仕様変更などにより、取扱説明書記載内容が一部異なることがありますのであらかじめご了承ください。

●ご不明な点は、お買い上げのMBディーラーまたは、指定サービス工場にお気軽におたずねください。

●車を譲渡や転売するときは、次のオーナーのためにこの取扱説明書を車とともにお渡しください。

ご使用の前によくお読みください。
取扱説明書は車の中に保管しましょう。

マルチファンクションコントローラー

1．はじめに

2．ラジオ

3．CD

4．テレビ

5．電話

6．AUX

7．ナビゲーション

8．TI（交通情報）

9．さくいん

ここでは主要な見出しのみを記載しています。各章に記載の項目については、各章の最初のページをお読みください。

1.　はじめに

取扱説明書の使いかた……1-2
安全のために……1-3
はじめに……1-4
マルチファンクション
コントローラーとは……1-4
主な特長……1-5
オーディオ機能
システム情報・設定モード
ナビゲーションモード
電話モード
各部の名称……1-9
画面内表示
メータ内表示
キーおよびスイッチ
ステアリング・スイッチ
ソフトキー
メータ内表示部……1-12
オーディオ
電話モード表示
ナビゲーションモード表示
基本的な使いかた……1-14
電源のON/OFF……1-14
走行中の使用制限
バッテリー保護機能
音量の調整……1-15
音量ノブを押す（リピート機能）
MUTE（消音）の使いかた……1-16
システムの基本設定……1-17
システムモードを表示させる
日本語と英語の切り換え
操作時信号（ビープ）音の設定

■ 取扱説明書の使いかた

取扱説明書の中には、それぞれ「警告」、「注意」、「知識」と区別してこのマルチファンクションコントローラーを取り扱ううえでとくに重要なことを記載しています。ご使用の前にかならず、すべてのページをお読みください。

⚠ 警告

事故を未然に防ぐために守っていただきたいこと。
これを守っていただけないと、命にかかわる重大なけがをしたり、事故などを起こすおそれがあります。

注意：
このシステムや車を取り扱ううえで守っていただきたいこと。
これを守っていただけないと、けがをしたり、システムや車を損傷するおそれがあります。

知識：
知っておいていただきたいこと。
知っていると便利なことや操作上のヒントなどを記載しています。

この取扱説明書では以下のようなルールに基づいて案内や記載をしています。

- スイッチ類や各機能、モードの状態を説明するために、以下のような表現を用いています。

◎ ON（オン）：スイッチや該当するモードなどを作動させる
◎ OFF（オフ）：スイッチや該当するモードなどを停止させる

- 操作手順が複数にわたるときは、説明文頭に数字番号を表記しています。
- 本文中に記載している画面は、該当する操作やモードを示す代表例であり、同時に使用するほかのモードや操作などに直接影響のない表示ついては実際の画面表示と異なることがあります。また、同じ理由から本体画面表示やメータ内表示の表示例を一部記載していないことがあります。
- 表示されるメッセージは限られた表示領域のため、一部の文字を省略したり、短縮表記のために略記漢字を使用していることがあります。

■ 安全のために

⚠ 警告

- どのような交通状況においても、常に車両を安全にコントロールできるように注意してください。
- 車両が50km/hで走行しているときは、1秒間に約14mも走行してしまうということを常に念頭において走行してください。
- 走行中にナビゲーションモードなどの表示画面を1秒以上注視しないでください。
- ナビゲーションモードなどの操作や画面表示の確認は、安全な場所に停車してから行ってください。

● ルート案内はあくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度や地図データディスクの情報により不適切な案内をすることがあります。案内ルートを走行するときは、かならず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。

● ドライバーは、走行中に携帯電話単体やハンドセットでの通話はおやめください。

● ハンズフリー使用であっても気が散ることは避けられません。ドライバーは走行中の電話使用を控えてください。

● オーディオ（ラジオ、CD、テレビ、AUX）の音量が大きすぎると、安全運転のさまたげになります。適切な音量で聞いてください。

● 画面が表示されない、音が聞こえないなど、このシステムに異常を感じたときや、本体に飲み物などがかかったりしたとき、本体に強い衝撃を与えたときは、ただちに電源スイッチをOFFにして使用をやめてください。そのまま使用すると感電事故や火災の原因になるおそれがありますので、最寄りのMBディーラーにて点検を受けてください。

● このシステムを含む関連構成部品などを分解したり、改造したりしないでください。故障や感電事故、火災の原因になるおそれがあります。

● 純正アクセサリー以外の電装品（たとえば、盗難防止装置、オーディオ、後席テレビなど）を取り付けるときは、かならずMBディーラーに相談してください。また、純正アクセサリー以外の電装品を取り付けると、電磁波障害やノイズ発生などの原因になり、とくにラジオやテレビ、電話、ナビゲーションの使用時に予期せぬトラブルを起こすことがあります。

はじめに

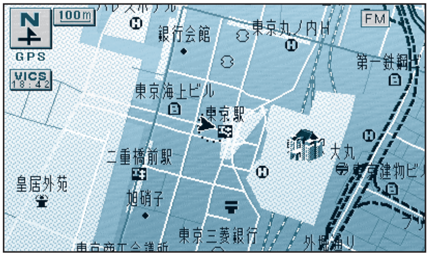
■ マルチファンクションコントローラーとは

マルチファンクションコントローラーは、オーディオやナビゲーション、電話などの各機能を一体にしたドライバーと車両との総合的なコミュニケーション（相互伝達）システムです。多彩な機能をひとつに集約したことで、本体に集中したスイッチではとんどの操作ができることや、有効な情報を画面表示や音声によって安全に効率よくドライバーに伝えることができます。

> **知識：**
> **車両のドアを開けると、地図ディスクの回転する音が聞こえることがありますが、異常ではありません。**

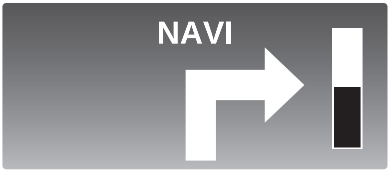
<本体表示部>

本体表示部は操作についてのすべての情報表示と、ナビゲーションモード時の地図表示ができます。
実際に操作しているモードに連動して画面表示します。



<メータ内表示部>

メータ内の表示は、オーディオや電話についての表示および、ナビゲーションモードの進行方向などを表示します。
表示の切り換えはステアリングのスイッチを操作します。また、マルチファンクションコントローラー以外の車両の情報も表示できます。それらについては車両の取扱説明書を参照してください。



■ 主な特長

● オーディオ機能

オーディオは、ナビゲーションモードと同時に使用できます。

◆ ほかのモードとの同時使用：

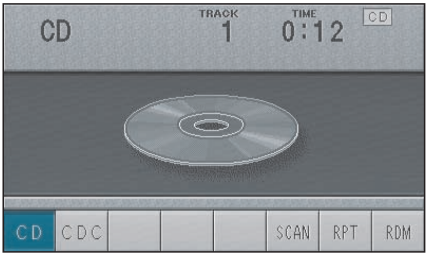
ナビゲーションモード使用中に、ラジオやCD、テレビ、AUXをBGMとして聞くことができます。
たとえば、FMラジオを聞くときはナビゲーションモード表示中に、続いて FM キーを押します。また、FMラジオだけをOFFにするときは、 FM キーを押してラジオモード基本画面を表示させてから、もう1度 FM キーを押します。

◆ ラジオ：

- FM/AMラジオ放送が受信できます。
- FM文字多重放送：FM電波で送られてくる文字情報を画面に表示できます。

◆ CD：

- 音楽CDを聞くことができます。



- 6連奏のCDチェンジャーが、Gクラスはラゲッジルーム内、VIANOクラスは運転席下部に装備されています

CDチェンジャーは、一部のモデルでオプション装備です。

◆ テレビ：

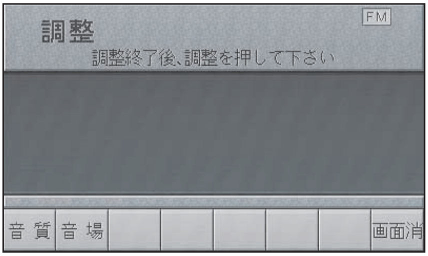
- VHF/UHFチャンネルが受信でき、ステレオ放送や2か国語放送にも対応しています。
- 駐車中、停車時に限り放映画像を見ることができます。安全のため走行中はテレビ音声のみになります。

（次ページへ続きます）

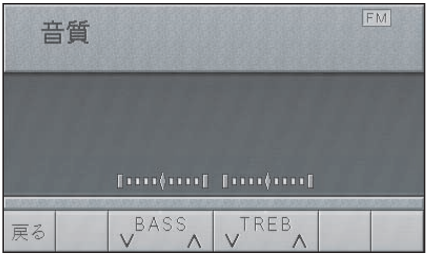
◆ **AUX（外部音声入力）：**
携帯型MDプレーヤーやカセットプレーヤーなどをグローブボックス内の入力端子に接続し、外部音源として聞くことができます。

知識：
接続コードは抵抗付きでないものを使用してください。

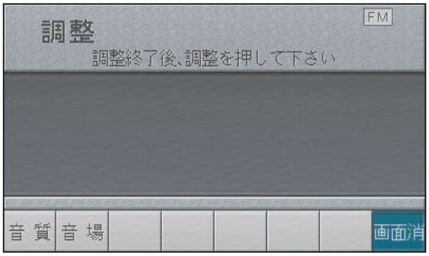
◆ **サウンド（調整モード）：**
ラジオやテレビ、CDおよびAUXの音質や音場を調整できます。音質調整は各モードごとに設定できます。音場調整は各モード共通の設定となります。



例：ラジオモードでの音質調整画面



◆ **画面表示を消す（調整モード）：**
いずれのモードにおいても 調整 キーを押したあと、画面消 ソフトキーを押すと画面表示を消すことができます。

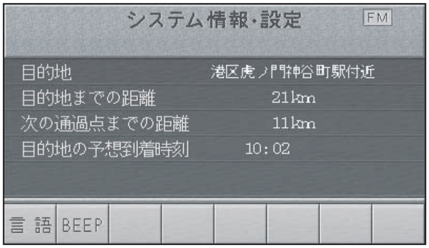


画面を表示させるには

AM、FM、TV、CD、TEL、NAVI、AUX、システム、現在地キーなどを押します。

●システム情報・設定モード

◆ **目的地情報案内機能：**
ナビゲーションモードで、目的地を設定すると、目的地や経由地（通過点）までの道のり（距離）と到着予想時刻を表示できます。

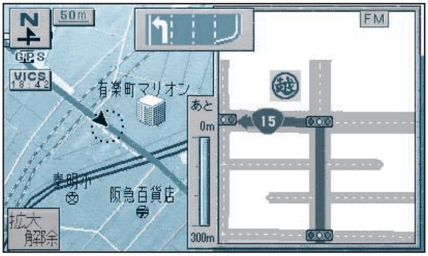


◆ **システム設定機能：**
このシステム全体にかかわる表示言語(日本語/英語)を切り換えたり、操作時信号(ビープ)音を調整できます。

● ナビゲーションモード

◆ ルート探索機能：

目的地を設定すると、最大4通りのルートを探索し、お好みのルートが選べ、目的地までのルート（道のり）を音声による案内と地図を表示して案内させることができます。曲がるべき交差点や分岐点、有料道路の入り口などを音声で知らせたり、画面に表示します。また、高速道路では略図を表示します。
走行中に案内ルートから外れたときでも、すぐに同じ目的地までの新しいルートを案内します。



◆ 周辺施設案内機能：

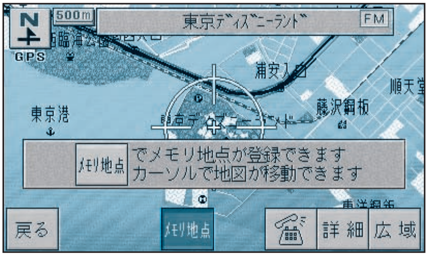
自車の現在地を地図画面に表示して周辺のレストランやガソリンスタンドなど、現在地周辺の最寄り施設を表示させたあと、目的地として設定できます。

◆ 地図表示：

拡大縮小が自由な地図表示により、日本全国の道路を表示させることができます。また、市街地図を25m縮尺で表示します。さらに地図をノースアップ表示/ヘディングアップ表示にしたり、2D表示/3D表示にすることができます。

◆ メモリ地点登録機能：

自宅や仕事先、友人宅など繰り返し訪れる場所（地点）をあらかじめ登録することで、目的地、経由地（通過点）として簡単に設定できます。



◆ 索引機能：

登録されている索引項目を表示させ、施設や場所の項目を選択して地図画面に表示できます。目的地や通過点として引用設定できます。

◆ 検索機能：

電話番号や住所、施設名称、目安となる目標施設などからその周辺の地図を表示させたり、その場所を目的地として設定できます。

◆ VICS機能：

FM多重から渋滞情報などの情報を受信して地図上に表示できます。さらにオプションのVICS受信システムを取り付けると、光/電波ビーコンにも対応して渋滞情報を考慮したルート探索ができます。

● 電話モード

- 本システムを操作して、電話をかけたり受けたりできます。通話は車内マイクとスピーカーによるハンズフリー式です。
- 登録した電話番号や相手先名称などで、電話をかけることができます。本体およびステアリング・スイッチのいずれでも操作ができます。
- 電話番号が不明でも、「ナビゲーションモード」内の索引画面から項目や名称で相手先を探し出し、電話をかけることができます。

知識：
- **お手持ちの携帯電話を接続しないと電話機能は使用できません。**
- **携帯電話の対応機種および接続方法につきましては、MBディーラーにお問い合わせください。**

■ 各部の名称

● 画面内表示 <本体表示>

［FMラジオ］受信例

① ヘッダー表示部

この例では受信中の情報を表示しています。

a. 受信バンド表示：「FM」

b. 受信周波数：「82.5 MHz」

c. 受信放送局名：「NHK-FM」

d. アイコン表示：

「FMモード：ON」、

「TELモード：ON」

e. プリセットモード表示：

AUTO　：オートプリセットモード

MANUAL：手動プリセットモード

② 中央表示部

該当するモードによって必要な情報を表示します。

この例では、各プリセット番号に記憶されている放送局の周波数と放送局名を表示しています。現在プリセット番号「5」の受信中を示しています。

③ ソフトキー表示部

表示する画面によって変化するソフトキーの機能名称を表示します。

● メータ内表示

［FMラジオ］受信例

① ヘッダー表示部

この例では受信中の情報を表示

a. 受信バンド表示：「FM」

b. 受信プリセット番号：「5」

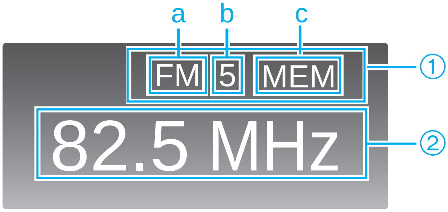
c. スクロールスイッチの操作モード表示：

この例ではプリセットメモリモードであることを表示

（周波数サーチモードの場合は表示なし）

② 中央表示部

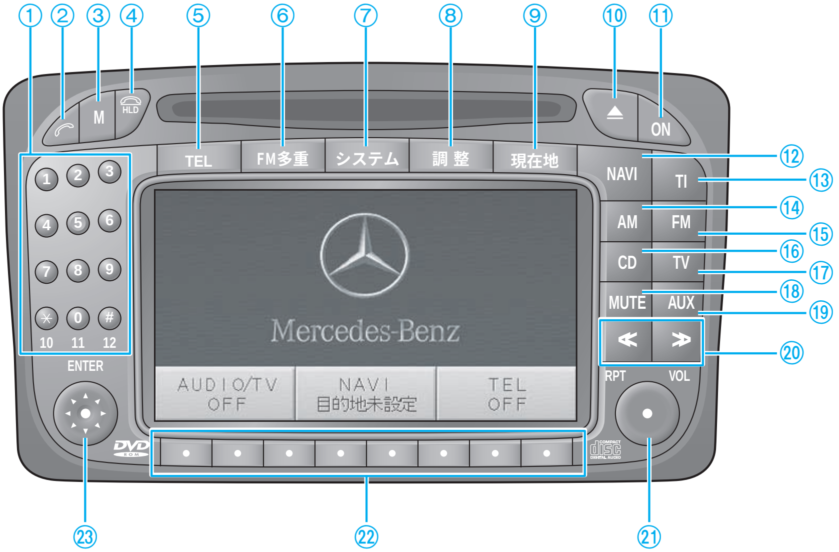
この例では受信周波数「82.5MHz」を表示



● キーおよびスイッチ

固定表示のキーおよびスイッチ

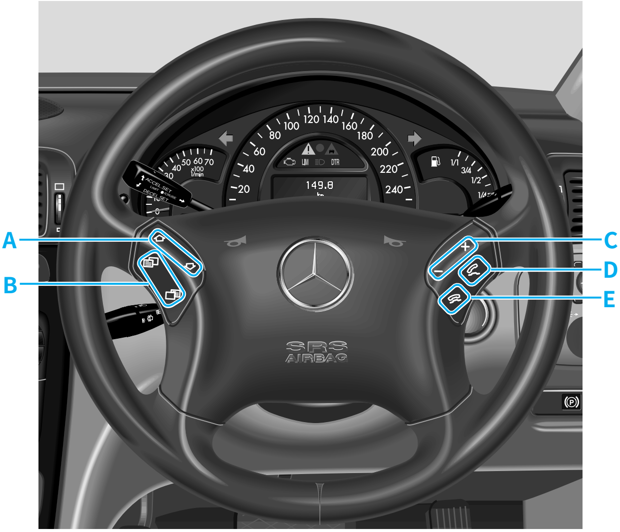
① 数字キー
② 通話開始キー
③ メモリキー
④ 通話終了キー
⑤ 電話モードキー (TEL)
⑥ FM多重キー
⑦ システムキー
⑧ 調整キー
⑨ 現在地キー
⑩ イジェクトキー
⑪ メインスイッチ
（電源のON/OFF）
⑫ ナビゲーションモードキー（NAVI）
⑬ 交通情報キー（TI）
⑭ ラジオモードキー（AM）
⑮ ラジオモードキー（FM）
⑯ CD再生モードキー（CD）
⑰ TVモードキー
⑱ MUTEキー
⑲ AUXキー
⑳ シーク操作キー
㉑ 音量ノブ／RPTキー
㉒ ソフトキー
㉓ カーソルノブ／決定(ENTER)キー



● ステアリング・スイッチ

注意：
ステアリング・スイッチは、直進時に限って周囲の交通状況が安全なときに操作してください。ハンドルの回転操作中にスイッチを操作すると、スイッチ操作に気をとられて思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

ステアリング・スイッチは、オーディオの各モードにおける主要部分の操作と、電話モードの通話開始／通話終了などの操作ができます。
音量調整【＋、－】スイッチは、オーディオ以外にも電話とナビゲーションの音量調整ができます。
ここでは、ステアリング・スイッチの機能と操作方法について簡単に説明しています。電話モードでの操作方法については該当章をお読みください。



左側スイッチ

A：スクロールスイッチ
シーク操作（オーディオ）
スクロール操作（電話モード）

B：表示切り換えスイッチ
メータ表示部の表示切り換え

知識：
ステアリング・スイッチの操作はメータに表示しているモードに対応します。

右側スイッチ

C：VOLスイッチ ＋ －
音量の調整

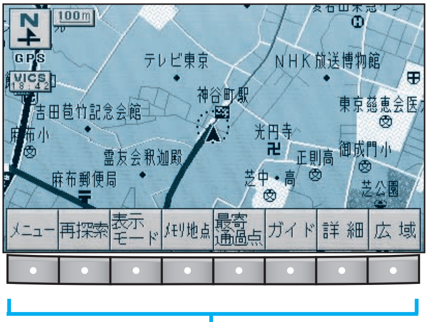
D：通話開始スイッチ
電話の通話開始操作

E：通話終了スイッチ
電話の通話終了操作

ステアリング、メータ・パネルおよび各スイッチは、モデル・装備・仕様の違いにより、実際の形状・位置などが違うことがあります。

● ソフトキー

ソフトキーは、画面表示の切り換えに連動して表示が変わるキーです。表示中の画面操作に必要なソフトキーの名称が画面下側に表示されます。
選ぶときは、対応するソフトキーを押します。



ソフトキー

■ メータ内表示部

メータ内表示部は、それぞれの表示モードに切り換えることで、該当モード別に必要な情報を表示します。表示切り換えスイッチ 、 を押して、表示を切り換えます。

> **知識：**
> **本体側の作動（表示）にかかわらず、メータの表示項目は、ステアリングの表示切り換えスイッチで独立して切り換えます。**

● オーディオ

CD、ラジオ、テレビの各モード別に表示内容が異なります。これらの表示については、それぞれのモードの章を参照してください。

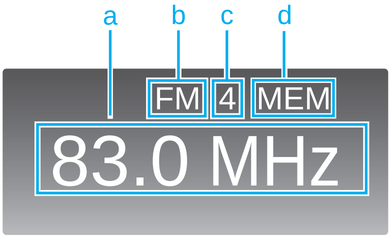
ラジオモードの例：

a.「83.0 MHz」：
受信周波数を表示

b.「FM」：
FMバンド受信を表示

c.「4」：
選択中のプリセット番号を表示

d.「MEM」：
スクロールスイッチでの選局方法がプリセットメモリであることを表示



● 電話モード表示

電話利用時：

a. ：電波の受信状態を表示

b.「TEL」：

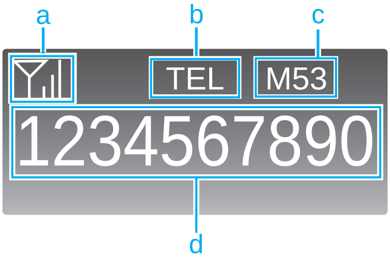
電話モードを表示

c.「M53」：

選択中のメモリ番号を表示

d.「1234567890」：

電話番号（選択したメモリ番号に登録されている電話番号）を表示



メッセージ表示：

状況に応じ、いくつかのメッセージを表示します。

「ダイヤルロック」

→ ダイヤルロック機能： P5-13

> **知識：**
> **このほかにも電話をかけるときに表示されるメッセージがいくつかあります。メッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。**

● ナビゲーションモード表示

目的地設定時：

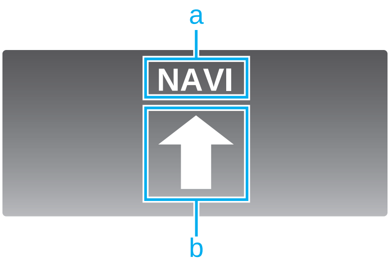
a.「NAVI」：

ナビゲーションモードを表示

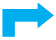
ルート案内中直進時：

b.「 」：

進行方向(直進)を表示



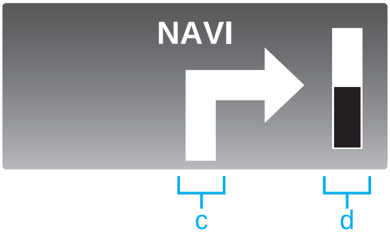
ルート案内中右折時：

c.「」：

進行方向(右折)を表示

d.「バーグラフ表示」：

交差(分岐)点までの距離変化を表示



> **知識：**
> - **交差（分岐）点までの距離表示は数値で表示される場合とバーグラフで表示される場合があります。**
>   **一般道路の場合：**
>   **約300m以下でバーグラフ表示**
>   **高速/有料道路の場合：**
>   **約1km以下でバーグラフ表示**
> - **目的地が未設定のときは、「ミセッテイ」を表示します。**

基本的な使いかた

■ 電源のON/OFF

ONにするとき

イグニッション・スイッチを「1」または「2」の位置に回します。（ただし前回イグニッション・スイッチのキーを抜いたときの画面がOFFモードであった場合は続いて ON キーを押します）

ONになると、基本画面(下図)あるいは前回OFFにしたときの画面が表示されます。また、NAVI キーを押してナビゲーションモードをONにすると「安全の為のご注意」が表示されます。

知識：
- **イグニッション・スイッチの作動に連動して、マルチファンクションコントローラーのON/OFFが操作できます。**
- **駐車中など、イグニッション・スイッチの位置やキーの有無にかかわらず、ON キーを押して約30分間使用することもできます。**
- **バッテリー保護のためエンジン作動中の使用をおすすめします。**

OFFにするとき

イグニッション・スイッチのキーを抜くか、もう1度 ON キーを押します。

● 走行中の使用制限

安全上の理由から、走行中とみなすときは画面表示や機能の一部が使用できなくなります。

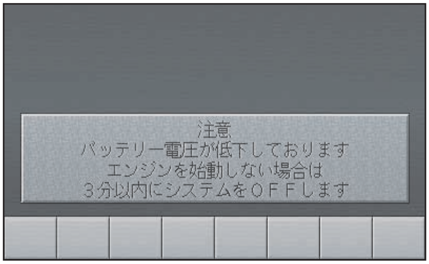
シフトレバーやパーキング・ブレーキの作動状態などによって、走行中、停車中、駐車中の状態を感知します。

走行中、停車中は、以下の項目について一部の使用が制限されます。

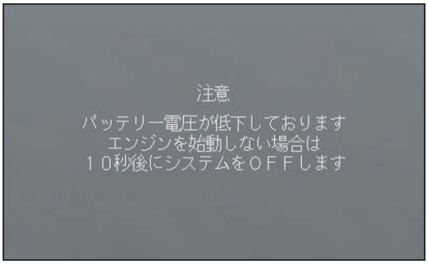
- テレビ画面は映らず、音声のみ
- ナビゲーションモード
- 電話モード
- FM文字多重放送

● バッテリー保護機能

バッテリー電圧が10.5V以下に低下したり、エンジンを始動させずに27分以上システムを使用した場合、下記の画面を表示しますので、エンジンを始動してください。3分以内にエンジンを始動しないと、自動的にOFFになります。



前記の画面表示後、さらにバッテリー電圧が9.5V以下に低下するか、2分50秒経過してもエンジンを始動しないときは、再度以下の画面を表示して、10秒以内に自動的にOFFになります。

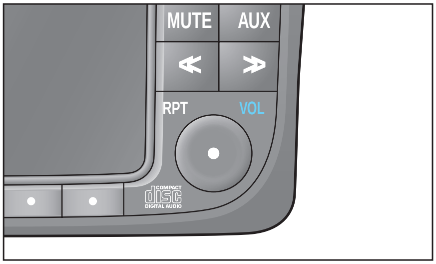


知識：
これらのメッセージ画面が表示されたときは、マルチファンクションコントローラーをOFFにするだけでなく、バッテリーあがりを防止するためエンジンを始動して数分間バッテリーを充電してください。

■ 音量の調整

オーディオや電話通話音声の音量調整は、本体右下の「音量ノブ」を操作します。

右へ回す：大きくなる
左へ回す：小さくなる



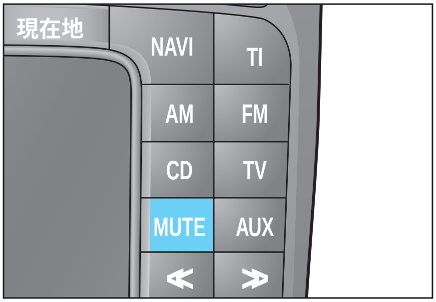
知識：
- **MUTE キーがONのときは、MUTE（消音）機能が作動するので、音量の調整はできません。**
- **ナビゲーションモードの音声案内の音量については、この「音量ノブ」とは別の操作でも調整できます。**

● 音量ノブを押す（リピート機能）

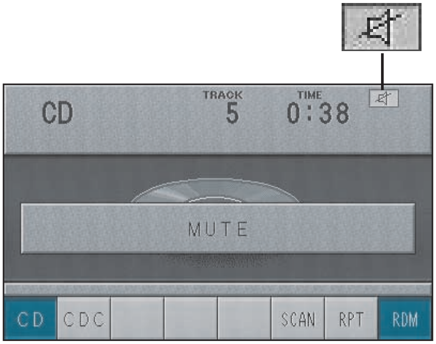
ナビゲーションモードのルート案内時に「音量ノブ」を押すと、音声案内のアナウンスを繰り返して再生（RPT機能）します。

■ MUTE（消音）の使いかた

MUTEとは、オーディオの音量を瞬時に消音（MUTING）する機能です。
オーディオの各モード作動中に、MUTEキーを押すと、音声が聞こえなくなります。もう1度押すと、解除されて元の音量に戻ります。



MUTE中は、ヘッダー部分右側のアイコン表示部に が表示されます。



メータ内では「MUTE」が表示されます。

＜メータ内表示＞

知識：

- **ラジオとテレビでは消音となり、CD再生中では一時停止になります。**
- **MUTEの作動中に、 音量ノブを回してもオーディオの音量は調整できません。もう一度 MUTE キーを押して、MUTEを解除してから操作してください。**
- **MUTE中であっても、ナビゲーションモードの音声案内はあらかじめ設定された音量で聞こえます。**
- **オーディオ作動中に電話がかかってきたり通話が始まると、MUTEが自動的に作動します。電話の使用が終了すると元に戻ります。ただし、ハンズフリー通話中に MUTE キーを押すと、ナビゲーションモードの音声案内も消音されます。**

■ システムの基本設定

マルチファンクションコントローラーを初めて使用するときは、使用前に「システムモード」で以下の設定項目を確認してください。

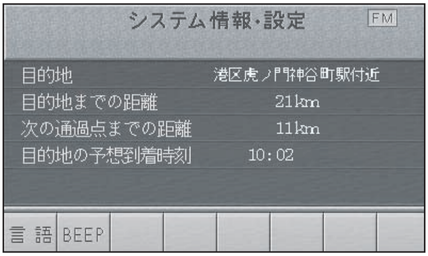
- 日本語と英語の切り換え（表示言語）
- 操作時信号（ビープ音）の設定

注意：
- **安全のため、駐/停車時に操作してください。走行中は一部操作できない項目があります。**

知識：
- **新車時は、ほとんどの項目について標準的に設定してありますが、バッテリーの接続をはずしてバッテリー電源が断たれたときは、設定内容が消去されます。**

● システムモードを表示させる

メインスイッチをONにして、［システム］キーを押すと、「システム情報・設定」画面が表示されます。

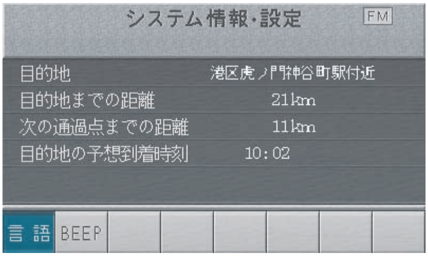


● 日本語と英語の切り換え

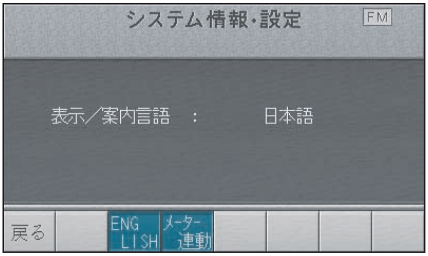
画面表示や案内音声を日本語または、英語に切り換えできます。

1. ［システム］キーを押して、「システム情報・設定」画面を表示させます。

2. ［言語］キーを押します。



3. ［ENGLISH］キーを押すと、英語モードに切り換わります。



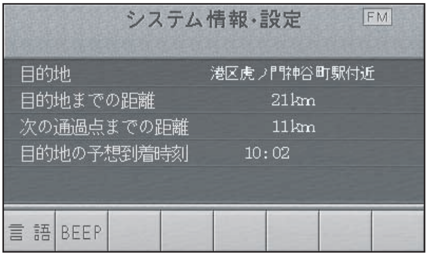
［日本語］キーを押すと日本語モードに切り換わります。

知識：
- **英語モードに切り換わるのは、ソフトキーの表示と音声案内のみです。**
- **「メータ連動」が選択されると、メータの表示言語も連動して切り換わります。連動させたくない場合は［メーター連動］ソフトキーを押して解除してください。**

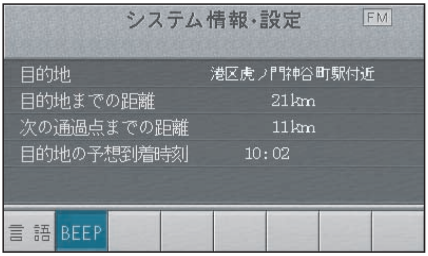
● 操作時信号（ビープ）音の設定

各キーやスイッチを長押し操作するときなどに、信号(ビープ)音のON/OFFを設定できます。

1. システム キーを押して、「システム情報・設定」画面を表示させます。



2. BEEP ソフトキーを押します。



ソフトキーを押すたびに、ON／OFFが切り換わります。

知識：
操作時信号（ビープ）音の音量を設定することはできません。

2.　ラジオ

ラジオ操作スイッチ.. 2-2
　　ヘッダー表示
基本画面 2-3
　　ソフトキーの説明
ラジオのON/OFF 2-4
　　ラジオを聞く（ON）
　　ラジオを止める（OFF）
選局する 2-4
　　プリセット選局
　　自動選局
　　手動選局
　　サウンド(音質調整)モード
　　一時消音
FM文字多重放送 2-8
　　文字多重放送の受信
　　放送局を切り換える
　　番組を切り換える
　　自動送りを設定する
　　緊急放送お知らせ機能
メッセージ画面 2-10
受信についての注意 2-11
　　ラジオ電波
　　放送局名表示
　　アンテナについて
　　FM文字多重放送受信時の注意

■ ラジオ操作スイッチ

① **数字キー**
プリセット番号の選択・設定

② **FM多重キー**
FM多重放送の受信

③ **調整キー**
音質・音場の設定

④ **メインスイッチ**
電源のON/OFF

⑤ **FM/AMキー**
ラジオのON/OFF
FMとAMの切り換え

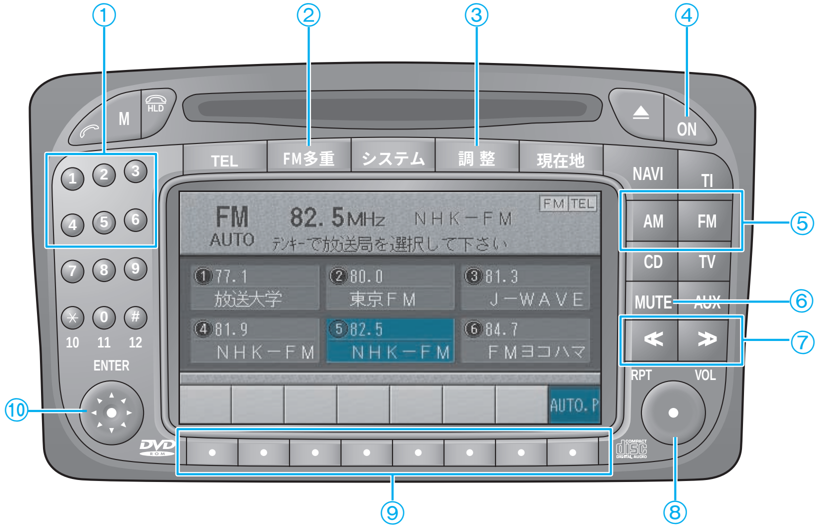
⑥ **MUTEキー**
消音（一時消音）

⑦ **選局キー**
選局操作

⑧ **音量調整ノブ**
音量の調整

⑨ **ソフトキー**
画面の下側に表示している機能の実行

⑩ **カーソルノブ**
FM多重放送表示のページ選択



● ヘッダー表示

a. **「AUTO」**：オートプリセットモードであることを表示

b. **「FM」**：FMバンドを表示

c. **「82.5MHz」**：受信中の周波数を表示

d. **「NHK-FM」**：受信中の放送局名を表示

e. **アイコン（絵文字）**：
図の例では「FM」と「TEL」(電話)がONであることを表示

■ 基本画面

● ソフトキーの説明

オートプリセット

長押しすると

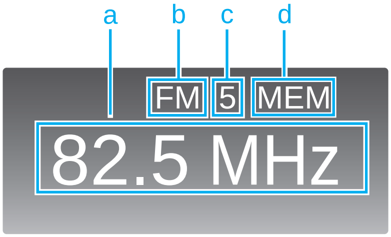
オートプリセットモード動作が始まり、受信可能な放送局を探して、プリセット番号に割り当てます。

短押しすると

オートプリセットモードと手動プリセットモードを交互に切り換えます。

◆ 本体側表示

◆ メータ側表示



a. 「82.5MHz」：受信中の周波数を表示

b. 「FM」：FMモードを表示

c. 「5」：受信中のプリセット番号を表示

d. 「MEM」：

ステアリングのスクロール・スイッチでの選局方法がプリセットメモリであることを表示

（周波数サーチの場合は表示なし）

■ ラジオのON/OFF

● ラジオを聞く（ON）

AM キーまたは FM キーを押すと、ラジオがONになり、選ばれている周波数の放送が聞こえます。

ラジオモードの表示：
ラジオがONになると、下記の例では、本体およびメーター内ともに受信中放送局の周波数「82.5 MHz」とプリセット番号「FM5」（本体：緑色表示）を表示します。
本体ではさらに「受信放送局名」などを表示します。

● ラジオを止める（OFF）

FM受信中は FM キー、AM受信中は AM キーを押すと、OFFになります。

ラジオモードがOFFになると、本体は初期画面に戻り、「AUDIO/TV OFF」を表示します。

→ ほかのモードとの同時使用：P1-5

■ 選局する

放送局を選ぶには、以下の方法があります。

- **プリセット選局**
  (あらかじめ設定したプリセット番号から選ぶ)：
  ワンタッチ操作の「オートプリセット」と、選んだ番号に希望する放送局を設定する「手動プリセット」があります。AMとFMそれぞれがオートプリセットモードで6局、手動プリセットモードで6局までの放送局をプリセットできます。

- **≪ または ≫ キーで自動選局**
  受信できる次の放送局を探します。

- **≪ または ≫ キーで手動選局**
  受信感度が低く、オートプリセットや自動選局ができない放送局に手動で周波数を合わせることができます。

電波状態や必要に応じ、これらの方法から適したものを利用して聞きたい放送局を選んでください。

●プリセット選局

オートプリセット：

電波の強い放送局を探して、周波数の低い順に並べ替えてプリセットします。AM、FMそれぞれ6局まで放送局をプリセットできます。

1. ラジオモードをONにします。

2.

ソフトキーを長押しすると、オートプリセットを開始します。オートプリセット中は、「AUTO」が点滅表示します。

3. 「オートプリセット」が終了し、受信された放送局が各プリセット番号に表示されたあと、希望のプリセット番号（放送局）を【数字キー】で選びます。

知識：

- **「オートプリセット」の終了後は、そのときの1番低い周波数が選ばれて、プリセット番号を緑色に表示します。**
- **オートプリセットを行うと、それまでの記憶は消去され、新たに放送局を記憶します。ただし、受信できる放送局が見つからないときは、オートプリセット開始前の周波数に戻ります。**
- **受信電波状態によっては、ノイズだけを受信することもあります。また、同じ場所でオートプリセットを繰り返したときでも、異なる放送局がプリセットされるときがあります。**

（次ページへ続きます）

手動プリセット：
受信中の放送局を希望するプリセット番号に設定できます。
番組受信中に希望するプリセット番号に相当する【数字キー】を長く（周波数がプリセット番号の右側に表示されるまで）押します。
下記の例では、85.1MHzを受信中に【数字キー】の「①」を押し続けてプリセットしています。

●自動選局

« または » キーを長く(0.5秒以上)押すと、受信できる次の放送局で停止します。

» キーを長く(0.5秒以上）押すと、周波数の高い方向に選局します。

« キーを長く(0.5秒以上）押すと、周波数の低い方向に選局します。

知識：
- **受信電波状態によっては、ノイズだけを受信することがあります。**
- **ステアリング・スイッチの ⇧⇩ スクロールスイッチでも同じように操作できます。(ただし、ステアリング・スイッチ側の設定によっては自動選局として動作せず、プリセット番号のアップ/ダウンとして動作する場合があります。)**

●手動選局

« または » キーを短く(0.5秒以下)押すと、押すたびに一定間隔で周波数が変わり、自動選局で受信できないような受信電波の弱い放送局も受信できます。

» キーを短く（0.5秒以下）押します。
周波数の高い方向に進みます。

« キーを短く（0.5秒以下）押します。
周波数の低い方向に進みます。

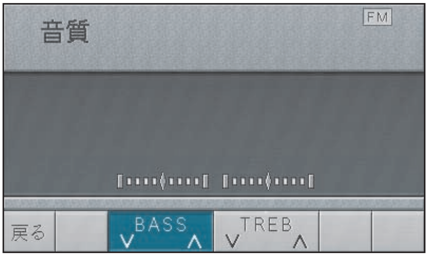
知識：
- **« または » キーを押したとき、FMでは0.1MHz間隔で、AMでは9kHz間隔で変わります。**
- **受信電波が弱い放送局では、ノイズが多く不安定な受信状態になります。また、FMではステレオ放送やFM文字多重放送が受信できず、モノラルで受信することがあります。**

● サウンド（音質調整）モード

ラジオ受信中に、音質と音場を調整・設定できます。

1. ラジオ受信中に、 調整 キーを押します。

2. 音質 ソフトキーを押して ∨BASS∧ (低音) または ∨TREB∧ (高音)ソフトキーを押して調整します。



3. 戻る ソフトキーを押したあと、 音場 ソフトキーを押して、 FADER REAR FRONT （前後）と BALANCE LEFT RIGHT （左右）を調整します。

音質（高音、低音）は、ラジオ、CD、TV、AUXでそれぞれの設定をすることができます。
音場（フェーダー、バランス）は各モード共通です。

●一時消音

ラジオを聞いているときに一時消音するときは、 MUTE キーを押します。
詳しくは、「MUTE(消音)の使いかた」をお読みください。

→ MUTE(消音)の使いかた：P1-16

■ FM文字多重放送

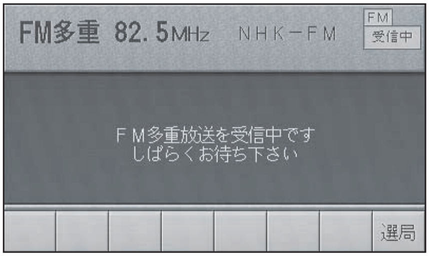
FM文字多重放送を受信して、文字情報を画面表示できます。
走行中は「文字情報画面」の操作はできません。
FM文字多重放送では、以下の3つの情報を受信して表示できます。

- **番組情報：**
  FMラジオ放送中の番組と連動しており、放送中の曲名や演奏者名、リクエスト先などの情報を表示。
- **独立情報：**
  放送中のラジオ番組とは連動せず、常に送信されているニュース番組、天気予報、交通情報などの表示。
- **緊急情報：**
  放送局側で緊急情報番組を送信したときだけ表示する情報。

> **知識：**
> - **FM文字多重放送による番組メニューや情報表示画面は、それぞれの放送局独自の構成により表示されますので、表示方法が放送局の方針などにより、予告なく変化することがあります。そのため、画面表示を特定することができませんので、以降に続く操作説明については表示例に基づく基本操作部分のみとなります。**
> - **文字情報は本体での表示のみであり、メータ内は受信放送局を表示します。**
> - **以下のモードを選択しているときでも、FM多重 キーを押してFM文字多重放送を表示できます。このとき音声は、選択しているモードの音声のままです。**
>   **FM、CD、CDチェンジャー、AUX**

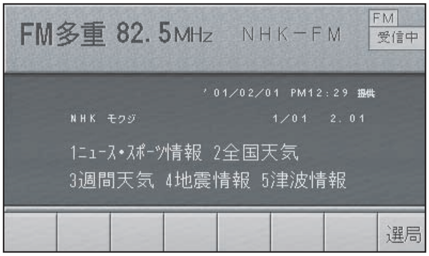
● 文字多重放送の受信

1. あらかじめ受信したいFM放送局を選局したあと、FM多重 キーを押すと、文字情報の受信を開始して、「受信中」のメッセージが表示されます。



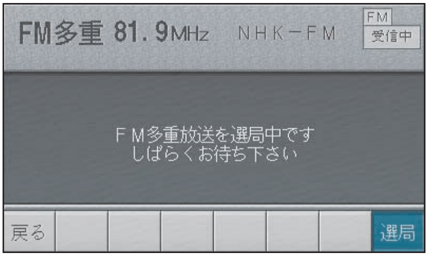
文字多重放送の「番組メニュー画面」が表示されます。

2. 番組を選ぶには【数字キー】で相当する数字を押します。
下記の例で、「NHK-FM」を示しており、「2 全国天気」を選ぶには、【数字キー】 2 を押します。



●放送局を切り換える

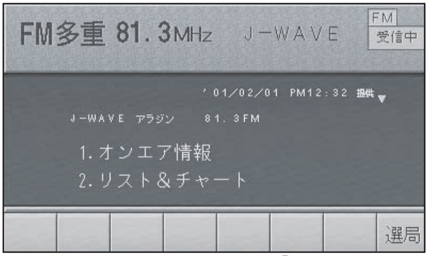
FM文字多重放送画面中に [選局] ソフトキーを押します。
「選局中」のメッセージが表示されます。



●番組を切り換える

1. FM文字多重放送画面中に [目次] ソフトキーを押します。

2. 表示させたい番組を【数字キー】で選びます。

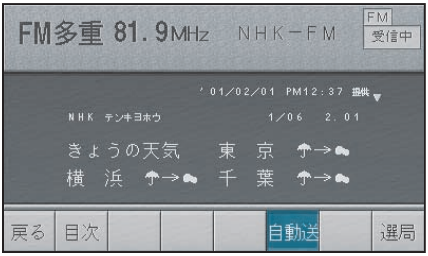


▲▼が表示されると、カーソルノブ上下でページを送ることができます。

●自動送りを設定する

ニュース・天気予報など、1回の受信で何ページにもわたる情報番組は、「自動送り」を設定することで自動的に文字情報が送られます。

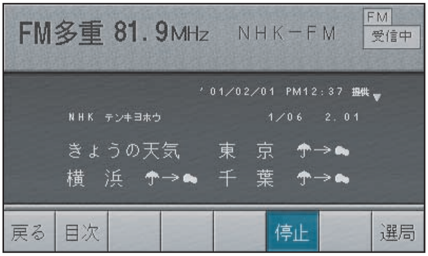
FM文字多重放送画面中に [自動送] ソフトキーを押します。



文字情報が自動(約9秒おき)で切り換わっていきます。

自動送りを止めたいとき

[停止] ソフトキーを押します。



自動送り中に カーソルノブで文字情報を送ったときも、自動送りは中断されます。

ラジオ

● 緊急放送お知らせ機能

FM文字多重放送受信中に、地震発生などの緊急放送を受信するとメッセージ画面で知らせます。
FM文字多重放送受信中に、FM文字多重放送の緊急情報を受信したときは、自動的に番号が緊急情報に切り換わります。

知識：
同じように、「文字情報画面」表示中に表示されるメッセージがほかにもいくつかあります。メッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。

■ メッセージ画面

◆ 「FM多重放送を受信できませんでした」

表示タイミング例：

- FM多重モードで、FM文字多重放送が受信できないとき

対処方法：

文字多重放送が送信されていないときや、送信されていても電波状態が良好でないときは受信できません。

◆ 「FM多重放送を受信中です。しばらくお待ち下さい」

FM文字多重放送情報を新しく受信しているときに表示されます。情報画面やメニュー画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

◆ 「この情報は停車中にご覧になれます」

表示タイミング例：

- 走行中に番組情報を選択したとき

対処方法：

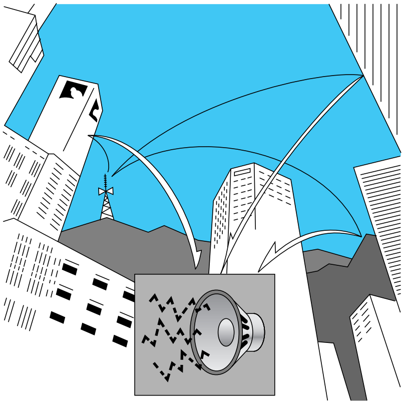
- 車を安全な所に停車させてからご利用ください。

■ 受信についての注意

● ラジオ電波

車載ラジオの受信は、移動中の車両によりアンテナの位置が刻々と変わるため一般家庭のラジオで受信する条件とは大きく異なります。したがって、以下のようなことをご理解のうえでご利用ください。

- ラジオ電波の特性により地球上空の電離層の反射が起こることや、周囲の高層建物による電波干渉、山影などの地形の影響、刻々と変化する車両（受信）位置などにより、とくに走行中の車両では受信状況は常に変化しています。そのため家庭でのラジオ受信に比べ、受信状態が不安定になりがちです。また、同じ時刻に同じ場所での受信であっても、天候（雲の量や高度など）などの影響によって受信状態が変わることがあります。
- 直線的に進むＦＭ（超短波）電波の適正受信範囲の目安は、送信局のアンテナが目視できる距離とされています。ＦＭ放送では受信状態が悪くなると、ノイズが増えたり、ステレオ放送や文字多重放送が正しく受信できなくなります。
- 違法な車載ＣＢ無線電波や点火プラグの露出した２輪車など、周囲からの電波障害による影響は回避できません。



● 放送局名表示

受信周波数に対応する放送局名表示は、自車位置をＧＰＳより測定して該当する放送地域を判断し、その地域での周波数に対応する放送局名を表示しています。そのため該当地域外での受信時では、その放送を受信することができても放送局名を表示しないことがあります。

●アンテナについて

・一般家庭の使用時のように屋根の上など高い所に屋外アンテナを設置できず、路面を走行する車両のアンテナは、設置位置が低いため周囲の電波遮へい物の干渉や反射などで受信状況が大きく左右されます。
・AM/FMなどの受信アンテナが、リア・ウインドウあるいはサイド・ウインドウ・ガラスに極細のアンテナ（金属線）でプリントされている場合に導電性の遮光フィルムなどを貼ると、アンテナとして機能しなくなることがあります。
・携帯電話などをリア・ウインドウあるいはサイド・ウインドウの近くで使用すると、アンテナの受信性能が低下することがあります。

●FM文字多重放送受信時の注意

・文字情報はラジオの受信中に送られてきますが、送られてくる情報の受信時期が番組情報とずれることがあります。そのため、同時にすべての情報画面を表示できないことがあります。
・番組内容やメニューなどは、各放送局の自主制作によるものであり、受信表示内容については、責任を負いかねますのでご了承ください。
・受信情報は、個人として楽しむなどに限られ、作成権利者である放送局の許可なしでは使用できません。

3.　CD

CD操作スイッチ……3-2
ヘッダー表示
CDチェンジャー操作スイッチ……3-3
ヘッダー表示
CDの出し入れ……3-4
地図ディスクの取り出し
CDのON/OFF……3-4
CDを聞く（ON）
CDを止める（OFF）
基本画面……3-5
ソフトキーの説明
CDチェンジャーのセットのしかた……3-6
CDマガジンの取り出し
CDをセットする
CDマガジンを入れる
基本操作……3-9
聞きたいCDを選ぶ[数字キー]
聞きたい曲を選ぶ（シーク操作）
サウンド（音質調整）モード
一時消音
メッセージ画面……3-10
エラーメッセージ画面
その他のメッセージ画面
CD取り扱いの注意……3-11
再生できるCD
音飛びについて
結露（露つき）について
特殊形状のディスクについて

■ CD操作スイッチ

① **調整キー**
音質・音場の設定

② **イジェクトキー**
ディスクを取り出す

③ **メインスイッチ**
電源のON/OFF

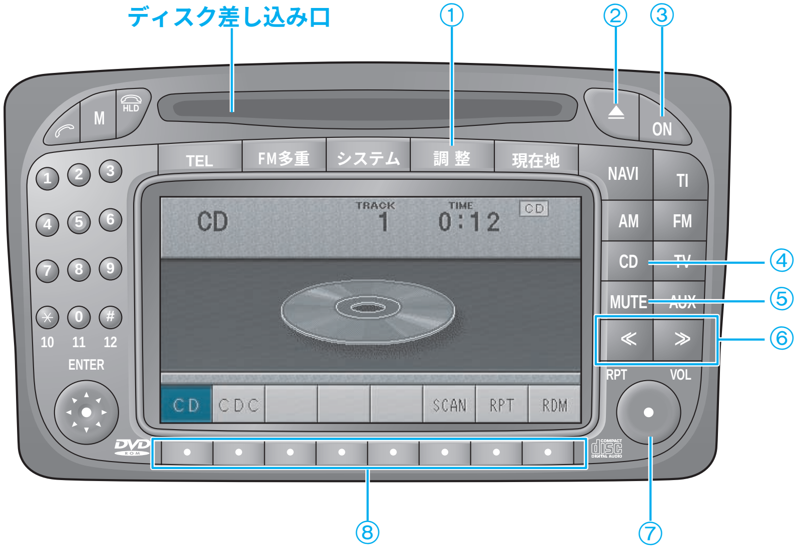
④ **CDキー**
CDモードのON/OFF

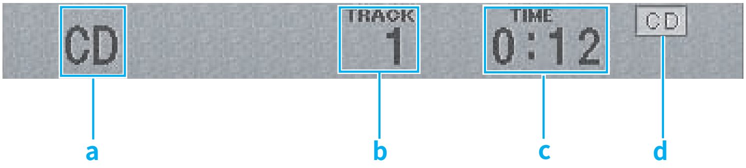
⑤ **MUTEキー**
消音（一時消音）

⑥ **シークキー**
シーク(トラック変更)操作

⑦ **音量調整ノブ**
音量の調整

⑧ **ソフトキー**
画面の下側に表示している機能の実行





● ヘッダー表示

a. **「CD」**：CDモードであることを表示

b. **「TRACK 1」**：ディスク内の再生している曲目（トラック）番号を表示

c. **経過時間表示：**
トラック番号ごとの経過時間を表示

d. **アイコン（絵文字）：**
図の例では「CD」がONであることを表示

■ CDチェンジャー操作スイッチ

（一部のモデルでは、CDチェンジャーはオプション装備です）

① **数字キー**
ディスク番号の選択

② **調整キー**
音質・音場の設定

③ **メインスイッチ**
電源のON/OFF

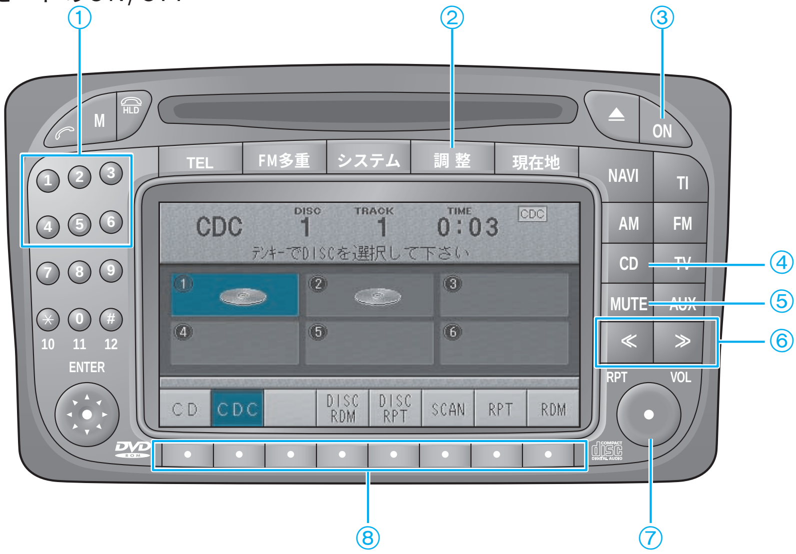
④ **CDキー**
CDモードのON/OFF

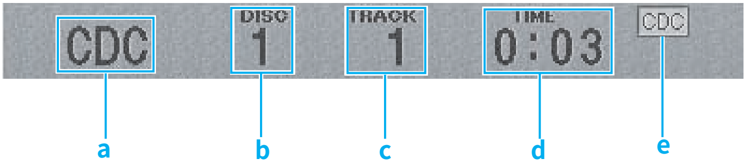
⑤ **MUTEキー**
消音（一時消音）

⑥ **シークキー**
シーク(トラック変更)操作

⑦ **音量調整ノブ**
音量の調整

⑧ **ソフトキー**
画面の下側に表示している機能の実行





● ヘッダー表示

a.「CDC」：CDチェンジャーモードであることを表示

b.「DISC1」：再生中のディスク番号を表示

c.「TRACK 1」：ディスク内の再生している曲目（トラック）番号を表示

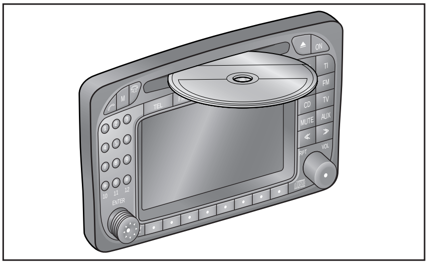
d. 経過時間表示：
トラック番号ごとの経過時間を表示

e. アイコン（絵文字）：
図の例では「CDC」（CDチェンジャー）がONであることを表示

CDの出し入れ

● 地図ディスクの取り出し

1. キーを押して、地図ディスクを取り出します。



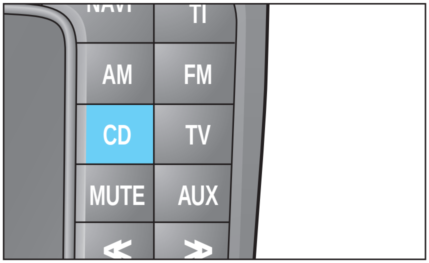
2. 再生したいCDを入れます。

自動的に再生が始まります。

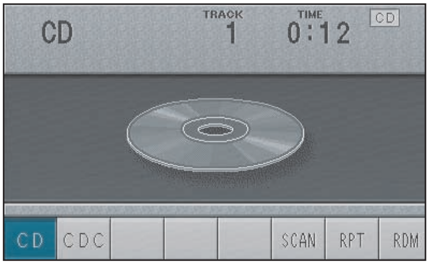
CDのON/OFF

● CDを聞く（ON）

CD キーを押すと、再生が始まります。CDチェンジャーにのみCDが入っているときも、同様に再生が始まります。



CD再生中の表示：
再生が始まると、本体およびメータ内ともに曲目（トラック）番号を表示します。CDチェンジャー接続時は再生中のディスク番号も表示します。



● CDを止める（OFF）

CD キーを押します。
CDモードがOFFになると、本体は初期画面に戻り、「AUDIO/TV OFF」を表示します。メータ内も「AUDIO オフ」を表示します。

→ほかのモードとの同時使用：P1-5

知識：
再生の中止後、再び再生を始めると、中止した位置から再生されます。

■ 基本画面

●ソフトキーの説明

CD再生モード基本画面では、ソフトキーで以下の操作ができます。

①CD

本機のCDを再生します。

②CDC

CDチェンジャーのCDを再生します。

③ディスクランダム(順不同)再生

(CDチェンジャーのみ)

チェンジャー内のCD全曲をランダム再生します。

OFF：もう一度押します。

④ディスクの繰り返し再生

(CDチェンジャーのみ)

再生中のディスクを繰り返して再生します。

OFF：もう一度押します。

⑤タイトルスキャン（曲目探し）

再生中のCDの各曲目の始めの部分(約8秒間)だけを次々に再生します。探している曲が見つかったら、もう一度押して、再生させます。

> **知識：**
> **最後の曲までくると、タイトルスキャンが始まった曲からの通常再生が始まります。**

⑥繰り返し再生

再生中の曲を繰り返して再生します。

OFF：もう一度押します。

⑦ランダム（順不同）再生

再生中のCDを、収録曲の順番にかかわらず順不同に再生します。

OFF：もう一度押します。

◆ 本体側表示

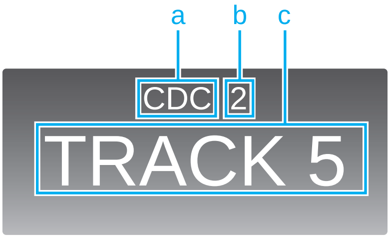
(CDチェンジャー選択時)

◆ メータ側表示

a. **「CD」**
　：CDモードを表示
　「CDC」
　：CDチェンジャーモードを表示

b. **「2」(CDチェンジャーのみ)**
　：再生中のディスク番号を表示

c. **「TRACK 5」**
　：ディスク内の再生している曲目（トラック）番号を表示

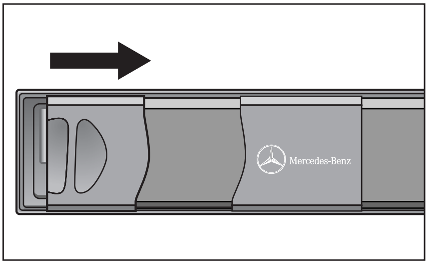


■CDチェンジャーのセットのしかた

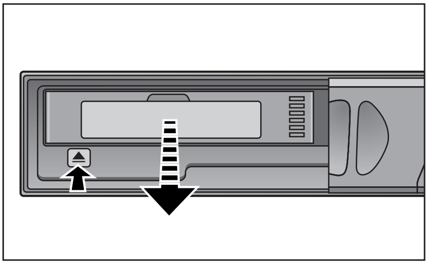
CDチェンジャーに以下の手順でCDをセットします。CDモードをOFFにしてから始めてください。

●CDマガジンの取り出し

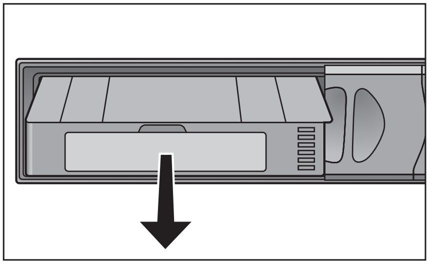
1. スライドドアを「カチッ」と音がするまで開きます。



2. ▲を押すと、CDマガジンが押し出されます。



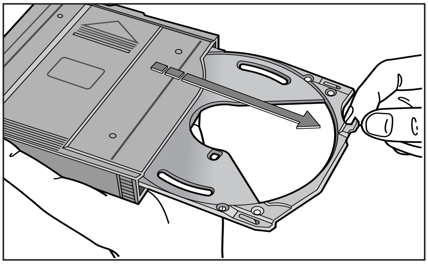
3. CDマガジンを取り出します。



注意：
- **開いたCDマガジン挿入部には、CDマガジン以外の異物を入れないでください。故障の原因になります。**
- **CDの取り扱いは、P3-11の「CD取り扱いの注意」をお読みください。**

●CDをセットする

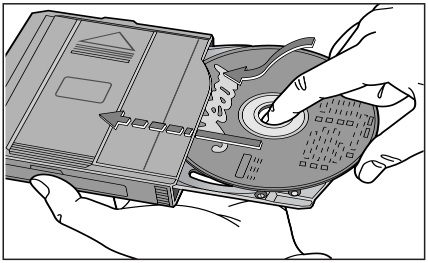
1. CDマガジンを水平に持ちます。トレイのフックに指をかけて、トレイが止まるまでスロット(収納棚)からゆっくり引き出します。



注意：
- **トレイを引き出すと、トレイが抜ける前に止まりますので、CDはこの状態で交換します。トレイを取りはずすときはさらに引き出してください。**
- **8cmCDを使用するときは、専用の別売トレイ(アルパイン製KAE-800C)を使用してください。ほかの8cmCDシングルCD用アダプターを使用すると、誤作動や故障の原因になります。**

2. 引き出したトレイにラベル印刷面を上側にしてCDを入れます。

3. CDを入れたトレイをCDマガジンのスロットに差し込み、「カチッ」と音がしてトレイがロックされるまで押し込みます。

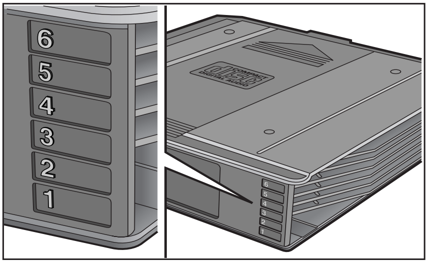


注意：
- **トレイを水平に持ちながらトレイの凹部に合わせてCDを入れ、CDが確実に凹部に入るようにしてください。トレイに対しCDが浮いていると、スロットに確実に入りません。**

(次ページへ続きます)

スロット番号

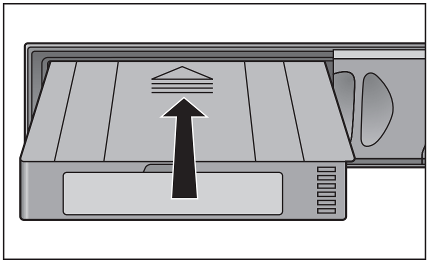
CDマガジンのスロットは下図のように、下側が「1」になります。各スロットに記載の番号が本体に画面表示されるCDのディスク番号となります。



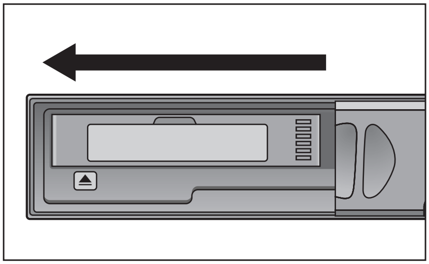
> **注意：**
> - **差し込んだトレイが確実にロックされていれば、CDマガジンを傾けてもトレイが出てくることはありません。**
> - **すべてのトレイにCDを入れる必要はありませんが、CDが入っていないトレイも紛失や変形を避けるためCDマガジン内に正しく入れてください。**

●CDマガジンを入れる

1. CDマガジンの矢印 を上側にして、矢印方向にCDマガジンを差し込みます。「カチッ」と音がしてCDマガジンがロックされるまで押し込みます。



2. スライドドアを閉めます。



> **注意：**
> - **CDマガジン出し入れのとき以外は、スライドドアを確実に閉めてください。開いたまま放置すると、ほこりや異物が入り、故障の原因になります。**
> - **専用のCDマガジンとトレイ以外のものは使用しないでください。**

CD

■基本操作

● 聞きたいCDを選ぶ[数字キー] (CDチェンジャーのみ)

画面にディスクが表示されているディスク番号の中から【数字キー】を押して選びます。
画面にディスクが表示されない番号（スロット）は、マガジン内にCDが入っていないことを示します。

本体、メータ内ともにディスク番号表示が変わることで確認できます。

● 聞きたい曲を選ぶ（シーク操作）

シークアップ：

≫ キーを短く押します。次の曲を再生します。

シークダウン：

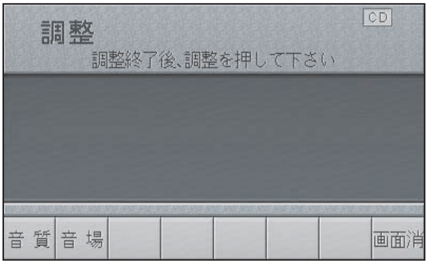
≪ キーを短く押します。再生中の曲の頭出しをします。

> **知識：**
> - **≪ キーまたは ≫ キーを繰り返して押すと、押した分だけトラック番号が戻り（進み）ます。**
> - **≪ キーまたは ≫ キーを長く押すと、押している間だけ再生中の曲が早戻し（早送り）されます。**
> - **シーク操作は再生中のCD内でおこなうことができます。**

● サウンド（音質調整）モード

CD再生時に音質や音場を調整・設定できます。音質のみCD再生専用の設定となります。

1. CD再生時に 調整 キーを押します。



2. 音質 ソフトキーを押し、音質調整画面で、 BASS （低音）または TREB （高音）ソフトキーを押して調整します。

3. 音場 ソフトキーを押し、音場調整画面を表示させたあと、 FADER REAR FRONT （前後）と BALANCE LEFT RIGHT （左右）を調整します。

CD

● 一時消音

再生中に一時消音するときは、MUTE キーを押します。
詳しくは、「MUTE(消音)の使いかた」をお読みください。

→ MUTE(消音)の使いかた：P1-16

■ メッセージ画面

● エラーメッセージ画面

◆「ディスクが入っていません」
「NO DISC」(ソフトキーに表示されます)

表示タイミング例：
- (CDチェンジャーのみ)該当番号のトレイ（CDマガジン内）にCDが入っていないとき
- 音楽用CD以外のディスクが入っているとき

対処方法：
- 音楽用CDを入れてください。
- (CDチェンジャーのみ)CDが入っている番号を選んでください。
- (CDチェンジャーのみ)該当番号のトレイ(CDマガジン内)に音楽用のCDを入れてから操作してください。

◆「マガジンが入っていません」
(CDチェンジャーのみ)

表示タイミング例：
CDチェンジャー内にCDマガジンが入っていないときに表示されます。
対処方法：
CDマガジンを入れてから操作してください。

● その他のメッセージ画面

◆「マガジン検索中」
(CDチェンジャーのみ)

CDの交換後などのCDチェンジャー内にCDマガジンをセットしたあと、はじめてCDを再生する前に表示されます。CDマガジン内に入れたCDの点検中であることを知らせていますので、消えるまでお待ちください。

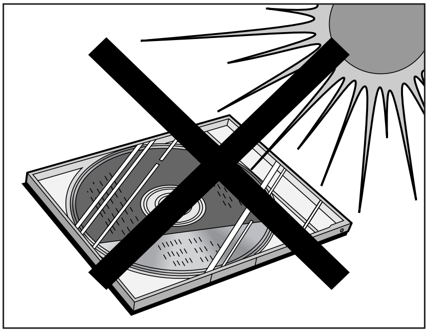
■ CD取り扱いの注意

● 再生できるCD

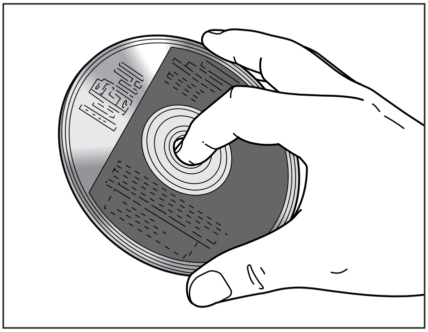
再生できるCDは、下記のマークがラベル印刷面に記載されている音楽再生用CDに限ります。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

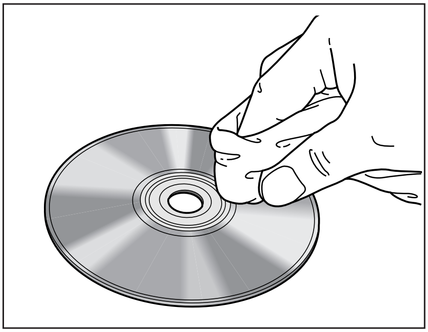
・ CDを高温になる場所や直射日光に当たるところに放置しないでください。高温下ではCDが熱により変形することがあります。変形したCDを使用すると故障の原因になります。
・ 保管するときはCDどうしを直接重ねたりせず、ケースに入れて保管してください。



CDを手に持つときは図のように、中心の穴と周囲の縁部分を支えるようにしてください。また、CDを曲げたりしないでください。

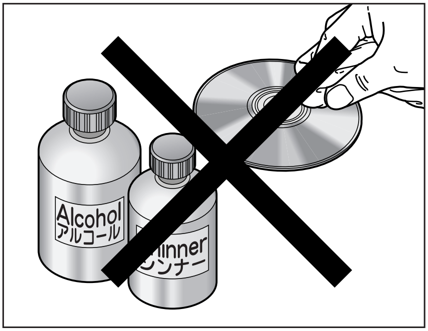


万一ディスク面が汚れたときは、水で湿らせた柔らかい布で中心部から外側に向けてふき取った後、乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。

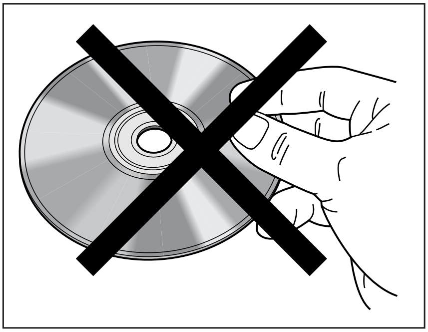


（次ページへ続きます）

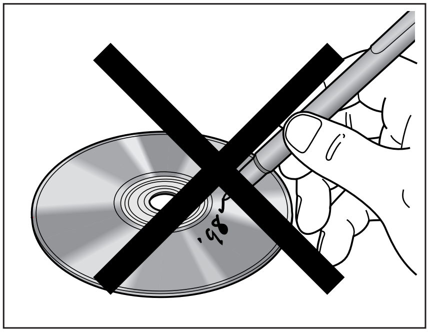
CDは合成樹脂でできていますので、アルコールやシンナー、ガソリンなどの揮発性溶液が触れないようにしてください。汚れがひどいときは、専用のCDクリーナー、あるいは中性洗剤の水溶液を使用してください。



ディスク面に直接手を触れないでください。とくに虹色に輝く録音面（印刷ラベル面の裏側）に、傷や汚れがつくと正しく再生できなくなります。



ディスク面に文字を書き込んだり、シールなどの異物を貼りつけたりしないでください。正しく再生できなくなります。



●音飛びについて

踏切の通過時や未舗装路などの路面の状態によっては、振動により音飛びが起こることがあります。
音飛びが続くときは、CD再生を中断して路面状態が良くなってから再生を始めてください。

●結露（露つき）について

低温時や雨降りの多湿時にCDチェンジャー内部で結露することがあります。このようなときは、再生中に音飛びが起きたり、再生が中断されます。
自然乾燥により結露が解消するまで、一時的にCD再生を中止してください。

●特殊形状のディスクについて

ハート形や八角形など、特殊形状のディスクを使用しないでください。故障の原因になります。

4.　テレビ

テレビ操作スイッチ 4-2
　ヘッダー表示
基本画面 4-3
　ソフトキーの説明
テレビのON/OFF..4-4
　テレビを見る(ON)
　テレビを止める(OFF)
選局する 4-5
　プリセット選局
　自動選局
　手動選局
　一時消音
便利機能 4-8
　音声多重放送
　音質・音場・画質・画面サイズ調整
メッセージ画面...4-11
テレビ受信についての注意 4-12
　テレビ電波
　アンテナについて
　放送局名表示

■ テレビ操作スイッチ

① 数字キー
プリセット番号の選択

② 調整キー
音質・音場の設定

③ メインスイッチ
電源のON/OFF

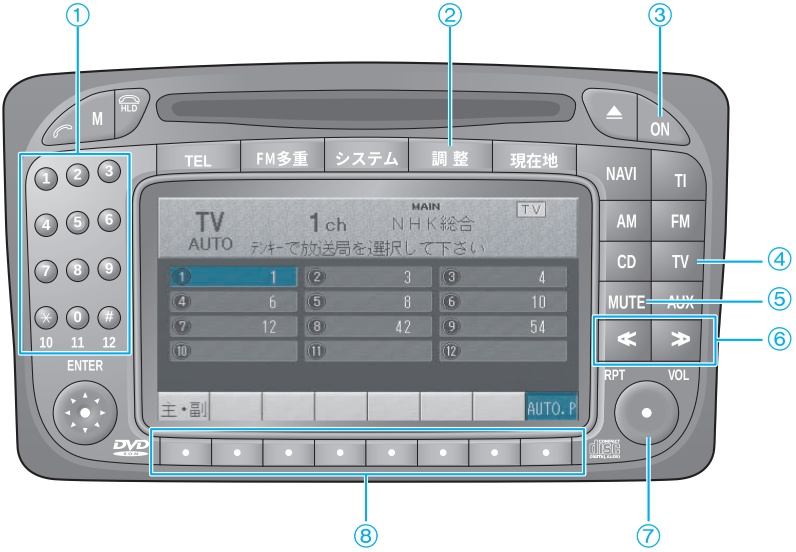
④ TVモードキー
テレビのON/OFF

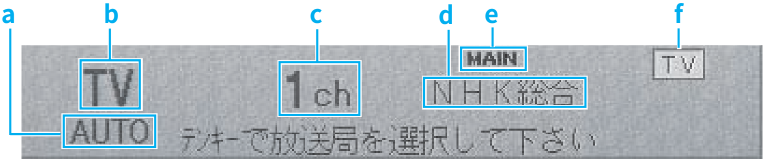
⑤ MUTEキー
消音（一時消音）

⑥ 選局キー
選局操作

⑦ 音量調整ノブ
音量の調整

⑧ ソフトキー
画面の下側に表示している機能の実行





● ヘッダー表示

a.「AUTO」：オートプリセットモードを表示

b.「TV」：TVモードを表示

c.「1 ch」：受信中のチャンネル番号を表示

d.「NHK総合」：受信中の放送局名を表示

e.「MAIN」：
2か国語放送受信時に主音声が出力されていることを表示
副音声受信時は「SUB」を表示

f. アイコン（絵文字）：
図の例ではテレビがONであることを表示

■ 基本画面

［TV］キーを押すと、画像画面が表示されます。いずれかのソフトキーを押したあとに［リスト］ソフトキーを押すと、基本画面(右図)が表示されます。

● ソフトキーの説明

［AUTO.P］ オートプリセット

長押しすると

オートプリセットモード動作が始まり、受信可能な放送局を探して、プリセット番号に割り当てます。

短押しすると

オートプリセットモードと手動プリセットモードを交互に切り換えます。

［主・副］ 音声多重放送の選択

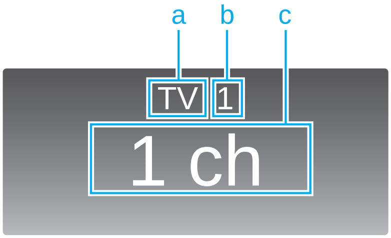
2カ国語放送時に、主音声または副音声を選びます。

［リスト］ リスト

画像画面を表示中に押すと、テレビモード基本画面を表示します。

◆ 本体側表示

◆ メータ側表示



a. 「TV」：テレビモードを表示

b. 「1」 ：受信中のプリセット番号を表示

c. 「1ch」 ：受信中のチャンネル番号を表示

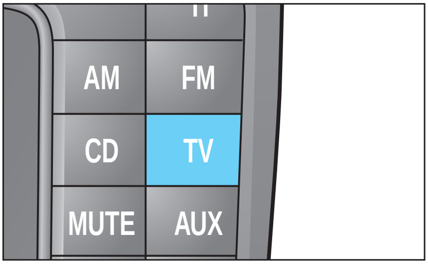
■ テレビのON/OFF

知識：
テレビ画面は、停車中でかつパーキング・ブレーキが作動中のときに見ることができます。

走行中は安全のため、テレビ音声だけになります。以下の説明では、駐車中の画像表示を基本に説明します。

● テレビを見る（ON）

TV キーを押すと、テレビがONになり、選ばれているチャンネル番号の画像が表示されます。



テレビモードの表示：
テレビがONになると、本体およびメータ内ともに受信中放送局のチャンネル番号(下の例では1ch)を表示します。
本体での表示は約6秒後に消えます。

● テレビを止める（OFF）

テレビモード時に TV キーを押します。

■ 選局する

放送局を選ぶには、以下の方法があります。

- **プリセット選局**
  (あらかじめ設定したプリセット番号から選ぶ)：
  ワンタッチ操作の「オートプリセット」と、選んだ番号に希望する放送局を設定する「手動プリセット」があります。

- **≪ または ≫ キーで自動選局**
  受信できる次の放送局を探します。

- **≪ または ≫ キーで手動選局**
  受信感度が低く、オートプリセットや自動選局ができない放送局に手動で合わせることができます。

電波状態や必要に応じ、これらの方法から適したものを利用して放送局を選んでください。

●プリセット選局

オートプリセット：

電波の強い放送局を探して、チャンネル番号の小さい順に並べ替えてプリセットします。12局まで放送局をプリセットできます。

1. いずれかのソフトキーを押して、ソフトキーを表示させます。

2. AUTO.P ソフトキーを長押しすると、オートプリセットを開始します。
オートプリセット中は、画面の「AUTO」が点滅表示します。

3. オートプリセットが終了し、受信できる放送局が各プリセット番号に表示されたあと、希望のプリセット番号（放送局）を【数字キー】で選びます。

（次ページへ続きます）

知識：

- 「オートプリセット」の終了後は、そのときの1番小さいチャンネルが選ばれて、プリセット番号を緑色に表示します。
- オートプリセットを行うと、それまでの記憶は消去され、新たにチャンネルを記憶します。ただし、受信できるチャンネルが見つからないときは、オートプリセット開始前のチャンネルに戻ります。
- 受信電波状態によっては、ノイズだけを受信することもあります。また、同じ場所でオートプリセットを繰り返したときでも、異なる放送局がプリセットされることがあります。

手動プリセット：

受信中の放送局を希望するプリセット番号に設定できます。

番組受信中に、希望するプリセット番号に相当する【数字キー】を長く（チャンネル番号がプリセット番号の右側に表示されるまで）押します。

下記の例では、チャンネル1を受信中に【数字キー】の「1」を押し続けてプリセットしています。

●自動選局

≪または≫キーを長く(0.5秒以上)押すと、受信できる次の放送局で停止します。

≫キーを長く(0.5秒以上）押すと、チャンネル番号の大きい方向に選局します。

≪キーを長く(0.5秒以上）押すと、チャンネル番号の小さい方向に選局します。

> **知識：**
> - **自動選局は、受信できるチャンネルが見つかると、そのチャンネルで止まります。**
> - **希望の放送局が見つかったら、希望のプリセット番号に設定することをおすすめします。**
> - **受信電波状態によっては、ノイズだけを受信することもあります。**
> - **ステアリング・スイッチの⇧⇩スクロールスイッチでも同じように操作できます。(ただし、ステアリング・スイッチ側の設定によっては自動選局として動作せず、プリセット番号のアップ/ダウンとして動作する場合があります。)**

●手動選局

≪または≫キーを短く（0.5秒以下）押すと、押すたびに次のチャンネルに変わり、自動選局で受信できないような受信電波の弱い放送局も受信できます。

≫キーを短く(0.5秒以下）押します。チャンネル番号の大きい方向に進みます。

≪キーを短く（0.5秒以下）押します。チャンネル番号の小さい方向に進みます。

> **知識：**
> - **手動選局時は、受信状態にかかわらず1チャンネル分ずつ変わります。**
> - **受信電波が弱い放送局では、ノイズが多く不安定な受信状態になります。また、ステレオ放送、2カ国語放送が受信できず、モノラルで受信することがあります。**

● 一時消音

テレビ音声を聞いているときに一時消音するときは、MUTEキーを押します。詳しくは、「MUTE(消音)の使いかた」をお読みください。

→MUTE(消音)の使いかた：P1-16

■ 便利機能

● 音声多重放送

2カ国語放送受信時に、主音声または副音声あるいは、主／副混合音声が選べます。テレビモード基本画面で、［主・副］ソフトキーを押すと、押すたびに「MAIN（主音声）／SUB（副音声）」→「MAIN（主音声）」→「SUB（副音声）」と切り換わります。

> **知識：**
> **2か国語放送でないときに［主・副］ソフトキーを押すと、表示が変わりますが音声出力は変わりません。**

● 音質・音場・画質・画面サイズ調整

テレビモードの音質、画面の明るさや色の調整、画面サイズの調整などができます。
調整項目は以下の項目です。

- **音質調整**
- **音場調整**
- **明るさ調整**（明るさ／コントラスト）
- **色調整**（色あい／色のこさ）
- **画面サイズ 調整**
  （ノーマル/ワイド1/ワイド2）

◆ 音質調整

1. テレビモードで、［調 整］キーを押します。

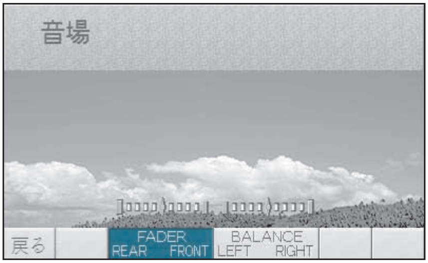
2. ［音 質］ソフトキーを押します。

音質調整項目画面に切り換わり、［∨BASS∧］(低音) または ［∨TREB∧］(高音) ソフトキーを押して調整します。

◆ 音場調整

1. テレビモードで、[調 整] キーを押します。

2. [音 場] ソフトキーを押します。



音場調整項目画面に切り換わり、[FADER REAR FRONT] (前後) または [BALANCE LEFT RIGHT] (左右) ソフトキーを押して調整します。

◆ 明るさ調整

1. テレビモードで、[調 整] キーを押します。

2. [明調整] ソフトキーを押します。

明るさ調整項目画面に切り換わり、[∨ コントラスト ∧] または [∨ 明るさ ∧] ソフトキーを押して調整します。

(次ページへ続きます)

テレビ

◆ 色調整

1. テレビモードで、[調整] キーを押します。

2. [色調整] ソフトキーを押します。

色調整項目画面に切り換わり、[∨色あい∧] または [∨色のこさ∧] ソフトキーを押して調整します。

色あい

∧：緑がかる

∨：赤紫がかる

色のこさ

∧：こくなる

∨：うすくなる

◆ 画面サイズ調整

1. テレビモードで、[調整] キーを押します。

2. [サイズ] ソフトキーを押します。

[ノーマル]、[ワイド1]、[ワイド2] いずれかのソフトキーを押します。

ノーマル

4：3(よこ：たて)の割合の画面（普通のテレビ画面の比率）で両端が黒く表示されます。

ワイド1

4：3(よこ：たて)の割合の画面を左右方向に均等に拡大して表示されます。

ワイド2

4：3(よこ：たて)の割合の画面を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。この場合、上下方向も左右方向と同じように拡大するため、上下の画面が切れて表示されます。

■ メッセージ画面

◆「安全のため走行中は映像はうつりません」

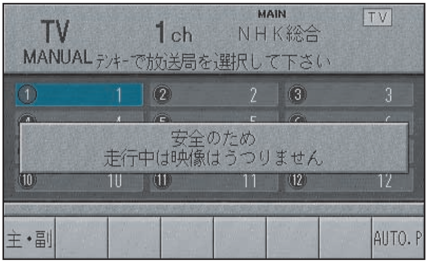
表示タイミング例：

・ 映像画面表示中に、車両が動き出したりして駐車中の条件から外れたとき

対処方法：

走行中もテレビ音声だけは聞くことができます。安全な場所に駐車してからテレビ画像をお楽しみください。

メッセージは約3秒後に消えます。



テレビ

■ テレビ受信についての注意

● テレビ電波

車載テレビの受信は、移動中の車両によりアンテナの位置が刻々と変わるため一般家庭のテレビで受信する条件とは大きく異なります。したがって、以下のようなことをご理解のうえでご利用ください。

- テレビ電波の特性により地球上空の電離層で反射が起こることや、周囲の高層建物による電波干渉、山影などの地形の影響、刻々と変化する車両（受信）位置などにより、とくに走行中の車両では受信状況は常に変化しています。そのため家庭でのテレビ受信に比べ、受信状態が不安定になりがちです。また、同じ時刻に同じ場所での受信であっても、天候（雲の量や高度など）などの影響によって受信状態が変わることがあります。
- 直線的に進むテレビ（超短波）電波の適正受信範囲の目安は、送信局のアンテナが目視できる距離とされています。テレビ電波の受信状態が悪くなると、画像が乱れたり、不安定になり、音声だけのときでも音声ノイズが増えますので、受信状態の良好なチャンネルに変えることをおすすめします。
- 違法な車載CB無線電波や点火プラグの露出した2輪車など、周囲からの電波障害による画像の乱れ、雑音などの影響は回避できません。

● 放送局名表示

受信チャンネルに対応する放送局名表示は、自動車位置をGPSによって感知して該当する放送地域を判断し、その地域でのチャンネルに対応する放送局名を表示しています。そのため該当地域外での受信時では、その放送を受信することができても放送局名を表示しないことがあります。

● アンテナについて

- 一般家庭の使用時のように屋根の上など高い所に屋外アンテナを設置できず、路面を走行する車両のアンテナは、設置位置が低いため周囲の電波遮へい物の干渉や反射などで受信状況が大きく左右されます。
- テレビの受信アンテナが、リア・ウインドウあるいはサイド・ウインドウ・ガラスに極細のアンテナ（金属線）でプリントされている場合に導電性の遮光フィルムなどを貼ると、アンテナとして機能できなくなることがあります。
- 携帯電話などをリヤ・ウインドウ近くで使用すると、アンテナの受信性能が低下することがあります。

●地上デジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003 年12 月から開始され、2006 年末までに全国で放送が開始される予定です。これに伴い、地上アナログテレビ放送は2011 年7 月に終了することが、国の方針として決定されています。車載のマルチファンクションコントローラーのテレビ機能は、地上デジタルテレビ放送には対応していないため、2011年7月以降はテレビ放送が視聴できなくなります。ご了承ください。

5.　電話

電話操作スイッチ 5-2
ヘッダー表示
基本画面 5-3
ソフトキーの説明
電話の発信、着信 .5-4
電話をかける
通話中の画面表示
通話を終える(切る)
電話の着信
応答保留機能
電話番号の入力 5-6
数字キーでの入力
リダイヤル操作での入力
着信番号での入力
メモリ番号での入力
ステアリング・スイッチでの入力
メモリ(M)キーでの入力
メモリ番号の登録・消去 5-10
メモリ画面を表示させる
メモリ番号の登録
登録済みメモリの消去
その他の機能 5-13
自局番号の画面表示
ダイヤルロック機能
発信者番号通知機能
キャッチホン（割り込み着信）機能
メッセージ画面 5-16

お手持ちの携帯電話を接続しないと電話機能は使用できません。

■ 電話操作スイッチ

① **数字キー**
電話番号、メモリ番号の入力

② **通話開始キー**
通話開始の操作

③ **メモリキー（M）**
メモリ番号を使って電話をかける

④ **通話終了キー**
通話終了の操作

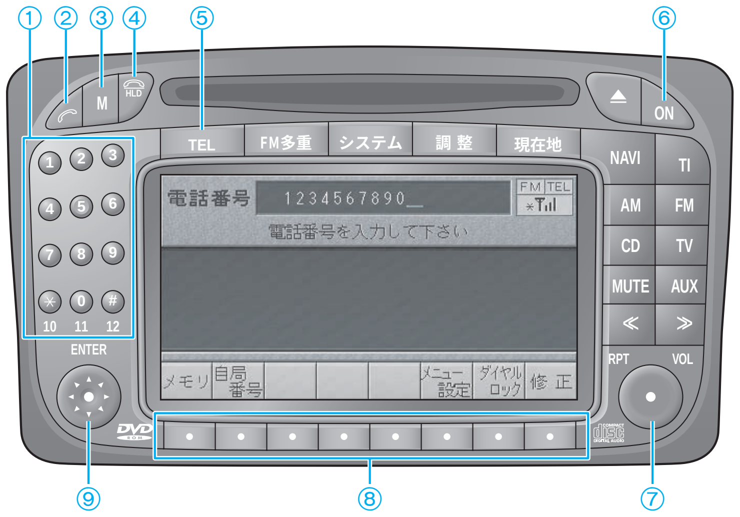
⑤ **電話（TEL）モードキー**
電話モードのON/OFF

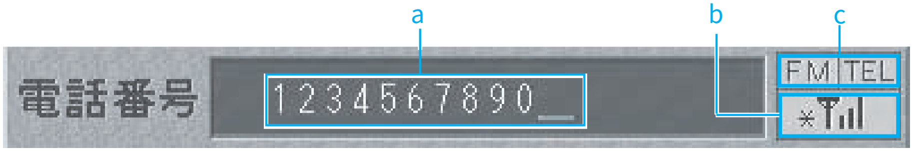
⑥ **メインスイッチ**
電源のON/OFF

⑦ **音量調整ノブ**
音量の調整

⑧ **ソフトキー**
画面の下側に表示している機能の実行

⑨ **カーソルノブ／決定(ENTER)キー**
メモリ番号の選択・入力・決定





● ヘッダー表示

a.「番号入力」：入力した電話番号を表示
b.：電波の受信状態を表示
c. アイコン（絵文字）：
図の例では「FM」と「TEL」（電話）がONであることを表示

■ 基本画面

キーを押して電話モードに切り換えます。

● ソフトキーの説明

① メモリ画面への切り換え

電話番号の登録ができます。

② 自局番号を表示

この車両の電話番号または接続している携帯電話の電話番号を表示します。
OFF：もう一度押します。

③ リダイヤル番号の表示

リダイヤル番号を表示します。
最大5件分を表示します。
走行中は、ワンタッチで直前に発信した番号へのリダイヤルになります。

④ 着信番号の表示

着信した電話番号を表示します。
最大5件分を表示します。

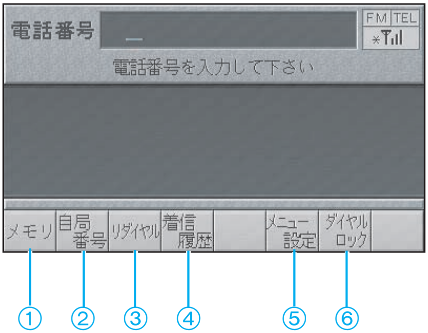
⑤ メニュー画面への切り換え

発信者番号通知のON/OFFの設定とパスワードの設定ができます。

⑥ ダイヤルロック

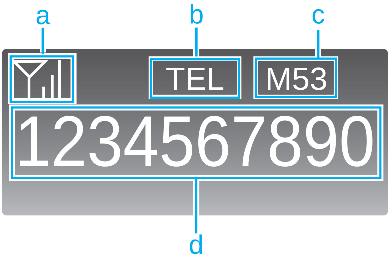
電話の無断使用（発信）を防ぐことができます。

◆ 本体側表示



◆ メータ側表示

a.　：電波の受信状態を表示
b.　「TEL」：電話モードを表示
c.　「M53」：選択中のメモリ番号を表示
d.　「1234567890」：電話番号（選択したメモリ番号に登録されている電話番号）を表示



> **知識：**
> - **本体操作とステアリング・スイッチ操作は、それぞれ独立して操作できますので、どちらかで何らかの操作をしても、本体側表示内容とメータ側表示内容は連動せず、独立した内容を表示します。**
> - **本システムを通して携帯電話を充電することはできません。**

電話

■ 電話の発信、着信

注意：
- **ハンズフリー操作であっても、電話の操作や通話中に気が散ることは避けられません。安全のため、ドライバーは走行中の電話操作や通話はできるだけ控えてください。**
- **安全のため、走行中は電話番号を【数字キー】で入力することはできません。メモリ番号での入力のみになります。**

● 電話をかける

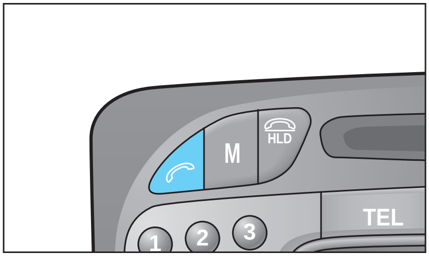
1. TEL キーを押して、電話モードをONにします。

2. 電話番号を入力します。

電話番号を入力するには、以下の方法があります。
- 数字キーでの入力
- リダイヤル操作での入力
- 着信番号での入力
- メモリ番号での入力
- ステアリング・スイッチでの入力
- メモリ(M)キーでの入力

→ **電話番号の入力：P5-6**

3. 本体側の キーを押すと、番号が発信されて相手先に接続します。このとき、オーディオ音量は自動的にMUTE（消音）になります。

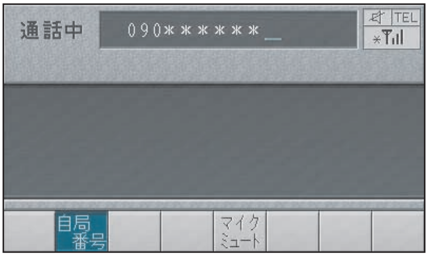


知識：
- **安全上の理由から走行中は、いくつかの機能が操作停止になります。**
- **この車両のハンズフリー電話機能は、基本的にはドライバー専用になっており、マイクやスピーカーの配置もドライバーが正しい運転姿勢で座った状態を前提にしています。**
- **走行中にウインドウやスライディングルーフを開けていると、ハンズフリー通話を妨げることがあります。**

● 通話中の画面表示

電話が相手先と接続できると、電話モードの場合「通話中」画面が表示されます。
「通話中」画面では以下のソフトキーが表示されます。

- 自局番号：この車両の電話番号を表示できます。表示を消すときはもう一度押します。
- マイクミュート：相手先にこちらの声が聞こえなくなり、相手からの声は聞こえます。解除するときはもう一度押します。



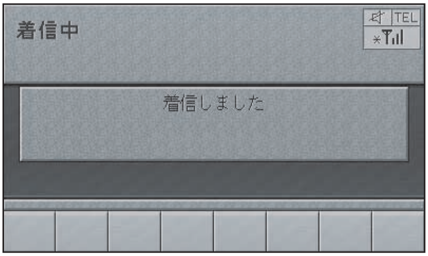
知識：
相手の声の音量を調整するときは、音量調整ノブで音量を調整できます。

● 通話を終える（切る）

通話が終わったら、あるいは電話を切るときは キーを押します。

● 電話の着信

電話モードがONのとき、着信（電話がかかってくる）があるとスピーカーから着信呼び出し音が聞こえます。
また、電話モードを表示しているときに着信があると、下記の着信メッセージが表示されます。
相手側が番号通知設定をONにしているときは、着信相手先の電話番号を表示します。
さらに相手の電話番号をメモリ番号に登録している場合、メモリ番号に登録している名前も表示されます。



着信した電話を受けるときは、本体側 キーあるいは、ステアリング・スイッチの キーを押します。画面表示は「通話中」画面に切り換わり、オーディオ音量は自動的にMUTE（消音）になります。

● 応答保留機能

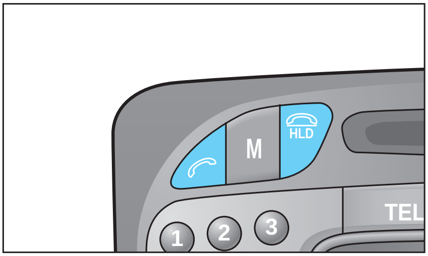
走行中に着信があったとき、着信を一時的に保留できます。このとき相手側には「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」のアナウンスが聞こえます。

操作：

着信時呼び出し中に HLD キーを1度押すと、「応答保留」になり、相手側にアナウンスが流れます。

応答保留中に電話をつなぐときは、キーを押します。

応答保留中に電話を切るときは、もう1度 HLD キーを押します。



> **知識：**
> - **ステアリング・スイッチの と でも同じ操作ができます。**
> - **応答保留中は電話回線が接続されていますので、相手側の通話料金は加算され続けます。**

■ 電話番号の入力

電話番号を入力するには、以下の方法があります。

- **【数字キー】での入力**
  【数字キー】を押して相手の電話番号を入力します。走行中は入力できません。

- **リダイヤル操作での入力**
  最近かけたことがある電話番号を5つまで記憶しており、その中から選んで入力します。走行中は最後にかけた電話番号にのみ、電話をかけることができます。

- **着信番号での入力**
  最近かかってきた電話番号を5つまで記憶しており、その中から選んで入力します。

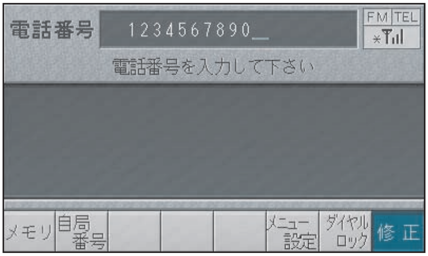
- **メモリ番号での入力**
  メモリ画面表示中に、あらかじめ電話番号を登録したメモリ番号（00～99）を本体の【数字キー】で選んで入力します。走行中は入力できません。

- **ステアリング・スイッチでの入力**
  ステアリング・スイッチの スクロールキーでメモリ登録した番号を選んで入力します。走行中でも入力できます。

- **【メモリ(M)キー】での入力**
  M キーを押して、あらかじめ電話番号を登録したメモリ番号（00～99）を本体の【数字キー】で選んで入力します。走行中でも入力できます。

● 数字キーでの入力

電話モード基本画面表示中に【数字キー】で電話番号を入力します。入力した数字は、画面のヘッダー表示部に表示されます。
下記の例では、「1234567890」を入力しています。



入力した番号を修正するときは、修 正ソフトキーを押すと消去できます。

短く（2秒以下）押す：1文字消去

長く（2秒以上）押す：0.5秒ごとに1文字ずつ消去

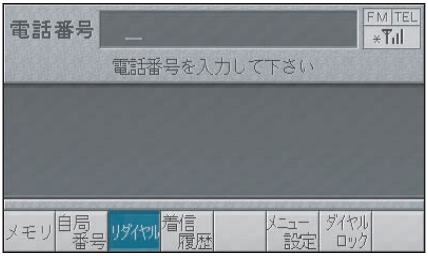
電話番号を入力したら、キーを押します。

> **知識：**
> **走行中は番号入力はできません。また、番号入力途中に走行を開始したときも、番号の表示は継続しますが、入力はできません。**

● リダイヤル操作での入力

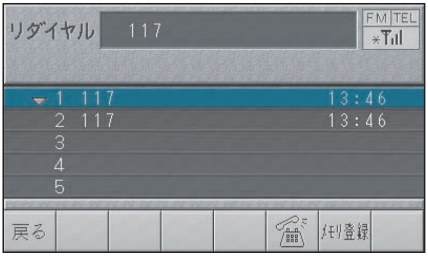
リダイヤルソフトキー操作で電話番号を入力できます。
最近かけたことがある電話番号を5つまで表示でき、走行中は、最後にかけた「リダイヤル1」だけが操作できます。このとき、リダイヤルソフトキーを押すだけで、電話がかかります。
下記の画面は駐/停車中の「電話モード基本画面」での操作を示しています。

1. 「電話モード基本画面」の表示中に、リダイヤルソフトキーを押します。



最近かけたことがある電話番号を5つまで表示します。

2. カーソルノブでリダイヤル番号を選びます。



（次ページへ続きます）

電話

3. ソフトキーまたは キーを押して、電話をかけます。

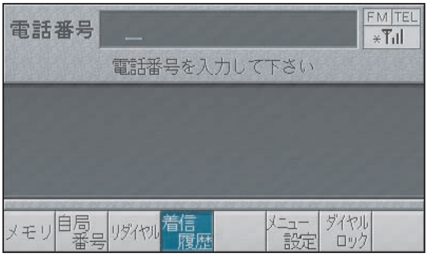
> **知識：**
> - **停車中に限り、リダイヤル番号をメモリ番号として登録できます。その場合は、登録したいリダイヤル番号を選び、ﾒﾓﾘ登録ソフトキーを押してメモリ登録操作を行ってください。(→P5-10)**
> - **5つまでのリダイヤル記憶がありますが、イグニッション・スイッチをOFFにすると、消去されます。**
> - **リダイヤル番号が1つも記憶されていないときは、ﾘﾀﾞｲﾔﾙソフトキーは表示されません。**
> - **走行中は、「リダイヤル1」だけに電話をかけられます。**

電話

●着信番号での入力

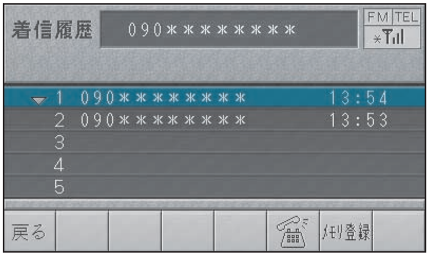
着信履歴ソフトキーを選ぶと、最近着信した（受けた）ことがある電話番号を5つまで表示できます。
次の画面は駐/停車中の「電話モード基本画面」での操作を示しています。

1. 「電話モード基本画面」の表示中に、着信履歴ソフトキーを押します。



最近着信した（受けた）ことがある電話番号を5つまで表示します。

2. カーソルノブで番号を選びます。



3. ソフトキーまたは キーを押して、電話をかけます。

> **知識：**
> - **停車中に限り、着信番号をメモリ番号として登録できます。その場合は、登録したい着信番号を選び、ﾒﾓﾘ登録ソフトキーを押してメモリ登録操作を行ってください。(→P5-10)**
> - **5つまでの着信履歴番号がありますが、イグニッション・スイッチをOFFにすると、消去されます。**
> - **着信履歴番号が1つも記憶されていないときは、着信履歴ソフトキーは表示されません。**

● メモリ番号での入力

駐/停車中にあらかじめ特定のメモリ番号（00〜99）に電話番号を登録しておき、メモリ番号を選んで入力します。
本体とステアリング・スイッチはそれぞれ独立して操作できます。メモリ番号への電話番号の登録方法は、後述する該当説明をお読みください。

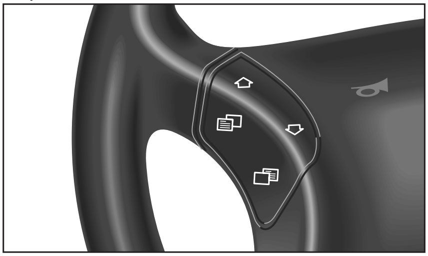
→ メモリ番号の登録・消去：P5-10

1. 「メモリ」画面の表示中に 0 ～ 9 の【数字キー】で、メモリ番号を入力します。
相手先のメモリ番号がわかっているときは、メモリ番号を【数字キー】で入力すると電話番号が表示されます。
下記の例では、「メモリ」画面表示中に、【数字キー】でメモリ番号「02」を入力して該当画面が表示されたところを示しています。

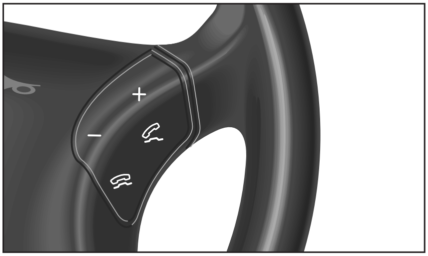
2. ソフトキーまたは キーを押して、電話をかけます。

●ステアリング・スイッチでの入力

1. メータ内表示が電話モードのときに、ステアリング・スイッチの ⇧ ⇩ で、メモリ番号を選びます。



2. ステアリング・スイッチの キーを押して、電話をかけます。



●メモリ(M)キーでの入力

1. M キーを押します。

2. 【数字キー】でメモリ番号を入力します。

→ メモリ番号の登録・消去：P5-10

3. キーを押して、電話をかけます。

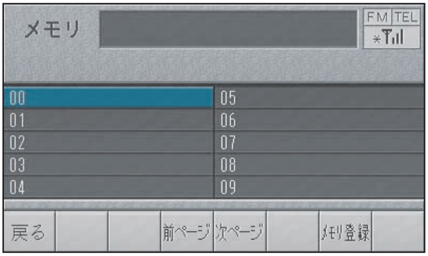
知識：
ステアリング・スイッチでの入力およびメモリ(M)キーでの入力は、本体の電話モードがONであれば、本体の表示が他モードでも操作できます。

■ メモリ番号の登録・消去

注意：
安全のため走行中は、メモリ登録操作ができません。安全な場所に駐/停車してから操作してください。

●メモリ画面を表示させる

「電話モード基本画面」の［メモリ］ソフトキーを押します。「メモリ」画面の1ページ目「00～09」の画面が表示されます。



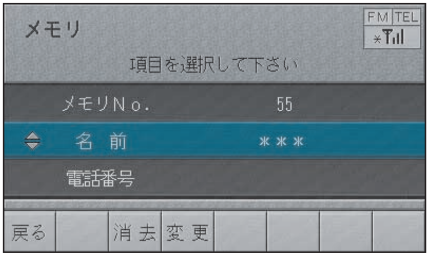
● メモリ番号の登録

例として、メモリ番号「55」に相手先電話番号「123456789」と、相手先名「あ亜イABC」を登録する手順を説明します。

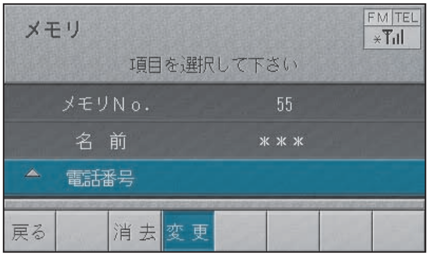
相手先電話番号の設定

1. 「メモリ」画面表示中に、［前ページ］または［次ページ］ソフトキーを押して「メモリ」画面「50～59」のページが表示されるまで押す、あるいは【数字キー】で「⑤」、「⑤」を続けて入力すると、「メモリ」画面「50～59」のページが表示され、「55」が緑色に表示されます。

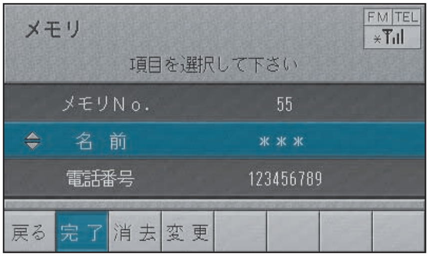
2. ［メモリ登録］ソフトキーを押します。
「メモリ登録画面」が表示されます。



3. カーソルノブで「電話番号」を選び、［変 更］ソフトキーを押します。



4. 相手先の電話番号「123456789」を【数字キー】で入力し、［完 了］ソフトキーを押します。



「メモリが更新されました」と表示されたあと、「メモリ」画面「50～59」に戻ります。

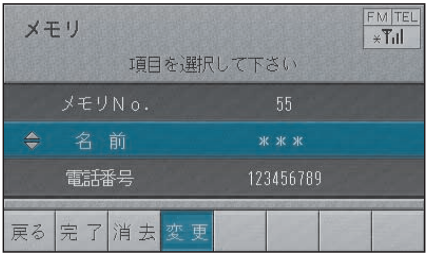
相手先名の表示が不要なときはこれで終了です。（相手先名欄は「＊＊＊」が表示されます）
相手先名の表示が必要なときは、続いて相手先名を設定します。

電話

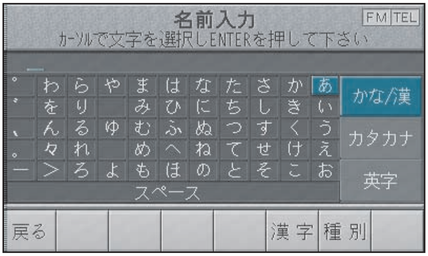
相手先名の設定

1. 「メモリ」画面「50～59」で、メモリ登録ソフトキーを押します。
メモリ登録画面が表示されます。

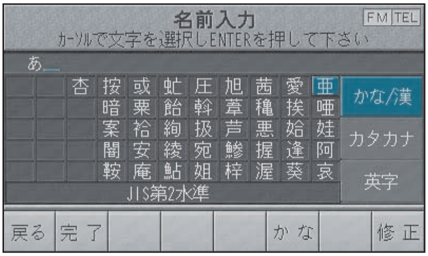
2. カーソルノブで「名前」を選び、変更ソフトキーを押します。
「名前入力画面」が表示されます。



3. かな文字の入力：
名前入力画面内のかな文字一覧表の中から、入力する文字をカーソルノブで選んで、決定キーを押してかな文字を入力します。（この例では、カーソルノブで「あ」を選び、決定キーを押します）



4. 漢字の入力：
入力する漢字の読みがなの頭文字（この例では「あ」）をカーソルノブで選んで、漢字ソフトキーを押すと、選んだ文字を読みがなの頭文字とする漢字一覧表を表示します。



入力する漢字をカーソルノブで選んで、決定キーを押して漢字を入力します。（この例では、カーソルノブで「亜」を選び、決定キーを押します）

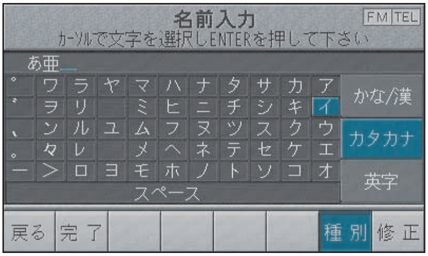
> **知識：**
> **一覧表が2ページ以上あるときは、前ページまたは次ページソフトキーを表示します。**

（次ページへ続きます）

電話

5. カタカナ文字の入力：

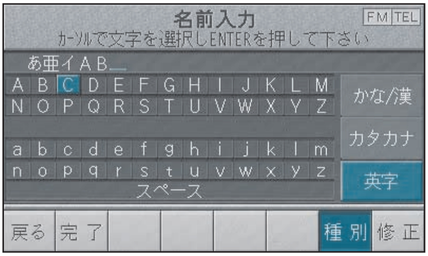
「名前入力」画面で 種 別 ソフトキーを押すと、カタカナ文字一覧表を表示します。



カタカナ文字一覧表の中から、入力する文字をカーソルノブで選んで、決定キーを押してカタカナ文字を入力します。（この例では、カーソルノブで「イ」を選び、決定キーを押します）

6. 英字の入力：

「名前入力」画面で 種 別 ソフトキーを押すと、英字一覧表を表示します。

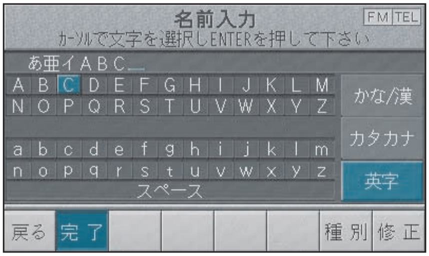


英字一覧表の中から、入力する文字をカーソルノブで選んで、決定キーを押して英字を入力します。（この例では、カーソルノブで「A」「B」「C」を選び、決定キーを押します）

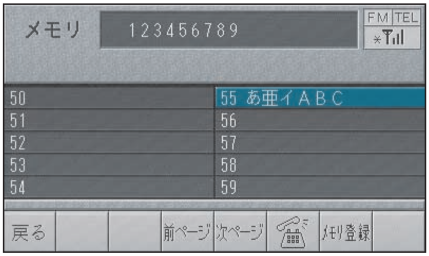
7. 英字が入力できたら、ヘッダー表示部の「あ亜イＡＢＣ」を確かめます。

修正するときは、修 正 ソフトキーを押すと1文字ずつ消去できます。

よければ 完 了 ソフトキーを押してメモリ登録画面に戻ります。



8. さらに 完 了 ソフトキーを押すと「あ亜イＡＢＣ」の登録が終了し、「メモリ」画面が表示されます。



ヘッダー表示部に登録電話番号の「123456789」が表示され、メモリ番号「55」に相手先名の「あ亜イABC」が設定されたことを示しています。

> **知識：**
> **接続している携帯電話のメモリ番号とは連動していませんので、メモリ番号での発信をするには、携帯電話とは別に、本システムへ設定する必要があります。**

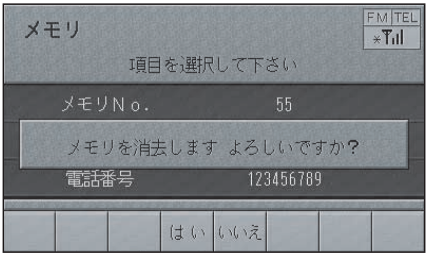
● 登録済みメモリの消去

設定登録済みの相手先電話番号と相手先名を同時に消去できます。
以下の例では、メモリ番号「55」の相手先電話番号「123456789」と、相手先名「あ亜イABC」を消去する手順を説明します。

1. メモリ画面表示中に、[前ページ] または [次ページ] ソフトキーを押して「メモリ」画面「50～59」のページが表示されるまで押す、あるいは【数字キー】で「⑤」、「⑤」を続けて入力すると、メモリ画面「50～59」のページが表示され、「55」が緑色に表示されます。

2. [メモリ登録] ソフトキーを押します。
「メモリ登録画面」が表示されます。
消去対象のメモリ番号が表示されます。

3. [消 去] ソフトキーを選びます
メモリ消去の確認メッセージが表示されます。



4. [は い] ソフトキーを押します。
メモリが消去されたことを示すメッセージが表示され、約2秒後に「メモリ」画面に切り換わります。

消去しないときは：
[いいえ] ソフトキーを押します。

■ その他の機能

● 自局番号の画面表示

接続している携帯電話の電話番号（自局）を画面に表示できます。
「基本画面」で、[自局番号] ソフトキーを押します。

> **知識：**
> **「基本画面」のほかに「通話中画面」でも表示できますので、通話相手にこちらの番号を告げることができます。**

● ダイヤルロック機能

携帯電話を接続した状態で、車両を一時貸与するときなど、この機能によりダイヤル操作をロックして、電話使用（発信）を防ぐことができます（110と119を除きます）。パスワードを再度入力することで、ダイヤルロックを解除できます。

ダイヤルロックする：
「電話モード基本画面」表示中に、[ダイヤルロック] ソフトキーを「ダイヤルロック中」メッセージが表示されるまで押します。
ダイヤルロック中はダイヤルロックを解除しなければ電話は使用できません。（着信を除きます）

（次ページへ続きます）

電話

注意：
- **パスワードを忘れると、ダイヤルロックの解除ができなくなります。パスワードの記録は安全な場所へ保管してください。**

ダイヤルロックを解除する：

「ダイヤルロック中」画面で【数字キー】を使用して携帯電話のパスワード（4けた）を入力します。
パスワードを間違えると、「入力したパスワードが間違っています」と表示しますので、もう一度入力し直します。

初期設定のパスワードについて

接続している携帯電話のパスワードになります。

知識：
- **パスワードの変更は、接続されている携帯電話を操作して変更してください。すでにダイヤルロックされた携帯電話を本システムに接続すると、電話機能ははじめからダイヤルロックされた状態になりますので、接続前に必ず携帯電話がダイヤルロックされていないことを確認してください。**

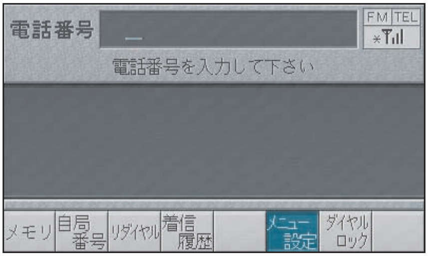
ダイヤルロック中の緊急番号発信：

ダイヤルロック中に110と119に発信するには、「ダイヤルロック中」メッセージが表示された画面で【数字キー】を使用して、パスワードの代わりに110または119を入力したあと、 キーを押します。

●発信者番号通知機能

発信先の相手にこちらの電話番号を通知するかしないかを設定できます。

1. 「基本画面」で［メニュー設定］ソフトキーを押します。
「設定メニュー」画面を表示します。



2. ［発信者番号］ソフトキーを押します。
発信者番号通知設定画面を表示します。

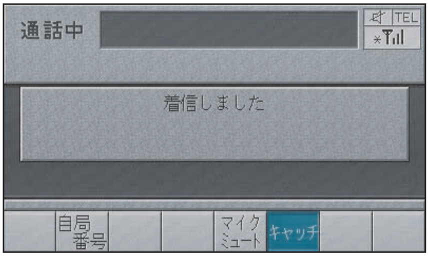
現在の設定がOFFのとき：［ON］ソフトキーを押して、設定をONにします。

現在の設定がONのとき：［OFF］ソフトキーを押して、設定をOFFにします。

●キャッチホン（割り込み着信）機能

知識：
- **電話の契約時に、オプション設定の「三者通話」を契約したときに使用できます。**
- **着信メッセージとともに着信相手先の電話番号を画面メッセージ部分に表示しますが、［メニュー設定］ソフトキーを押さずにいると、表示はメッセージとともに約4秒後に消えます。**

キャッチホンの着信：
通話中に他からの電話が着信したときは、キャッチホン着信の呼び出し音が聞こえます。新たに「着信メッセージ」と［キャッチ］ソフトキーが表示されます。



キャッチホンに切り換える：
キャッチホンとして割り込み着信にするときは、［キャッチ］ソフトキーまたは（電話）キー、またはステアリング・スイッチの（電話）を押します。

元の相手に戻す：
キャッチホン通話後に元の話し相手に戻すときは、もう1度［キャッチ］ソフトキーまたは（電話）キー、またはステアリング・スイッチの（電話）を押します。

■ メッセージ画面

◆「走行中は操作できません」

表示タイミング例：

走行中に操作できない項目を操作しようとしたときに表示されます。

対処方法：

安全のため、走行中は操作できない項目があります。駐/停車時に操作してください。

> **知識：**
> **同じように、電話モード画面表示中に表示されるメッセージがほかにもいくつかあります。メッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。**

6.　AUX

AUX (外部音声入力) 6-2
外部音声入力端子
外部音声入力を聞く
外部音声入力を止める

AUX（外部音声入力）端子は、Gクラスには装備されていません。

■ AUX (外部音声入力)

携帯型MDプレーヤーやカセットプレーヤーなどを接続し、外部音源として聞くことができます。

注意：
・接続するMDプレーヤーなどは、安全のためグローブボックス内部に保管してください。シートの上などに置いていると、急停車時などに落下したり乗員にぶつかったりすることがあり、思わぬケガの原因になります。
・走行中にグローブボックスのふたが開いていると、万一の衝突時などに思わぬケガの原因になります。走行中はふたを閉めてください。

● 外部音声入力端子

グローブボックス内部にミニプラグ規格の外部音声入力端子を備えています。MDプレーヤーなどのヘッドホン出力端子からステレオミニプラグの接続コードを使って、この入力端子に接続します。

知識：
・左ハンドル仕様車ではグローブボックス内の右側面に装備しています。
・接続コードは抵抗付きでないものを使用してください。

入力端子：
・ステレオミニプラグ (直径3.5mm)

AUX

● 外部音声入力を聞く

以下の説明では、携帯型MDプレーヤーを例にしています。

1. MDプレーヤーと外部音声入力端子を接続してから、AUX キーを押すと、「基本画面」が表示されます。

2. MDを再生させ、本体側およびMDプレーヤー側それぞれの音量を適切に調整します。

3. 外部音声入力のサウンド設定を調整するときは、調 整 キーを押します。

→サウンドモード：P3-9

知識：

- 外部音源となるMDプレーヤーなどの再生音量を調整してください。プレーヤー側の再生音量が小さすぎると音が聞こえません。
- MDプレーヤーなどの操作や出力特性、接続コードについては、該当機器の取扱説明書をお読みください。
- 入力感度が異なりますので、マイクロホンなどを接続すると、システムやスピーカーなどを損傷することがあります。

● 外部音声入力を止める

AUXモードをOFFにするときは、もう一度 AUX キーを押します。

→ほかのモードとの同時使用：P1-5

MEMO

AUX

7. ナビゲーション

ご使用の前に 7-2
ナビゲーションとは？ 7-2
ナビゲーションのしくみ
GPS
基本操作スイッチ 7-5
現在地（地図）画面...........................7-6
ソフトキーの説明
基本操作...7-7
ナビゲーションモードのON/OFF
現在地画面を表示させる
表示マーク、シンボルの説明
地図の縮尺を変える
フリーズーム機能を使う
地図を移動する
地図の向きを切り換える
3D表示に切り換える
画面の明るさを調整する
現在地（自車位置）を修正する
自宅位置を登録・修正・消去する....7-14
ナビゲーション条件を設定する 7-16
ルート案内とは............................7-17
ルート案内の基本機能
音声案内の音量調整
目的地を設定してルートを探索する 7-18
地図画面で任意の地点を選ぶ
索引機能を使って目的地を選ぶ
自宅に帰る
ルートを消去するには..................7-20
ルート案内を中止・再開するには ..7-21
ルートを確認する.........................7-21
全ルート表示画面について
ルートを選ぶ
ルートに通過点を追加する
最寄り通過点を追加する
ルート案内を開始する 7-26
音声案内について
音声案内をもう一度聞きたいとき
全ルートを表示するには
目的地情報案内機能
ルート案内中に通過点を消去する
案内拡大図表示
ルート案内中もう一度探索する
周辺の施設を表示する 7-32
ランドマーク（施設マーク）を表示する
周辺の施設を表示する
施設情報（スポットデータ）を表示する
ガイドを表示する
メモリ地点登録機能.....................7-36
現在地を登録する
地図画面から登録する
メモリ地点メニューから登録する
メモリ地点の呼び出し
メモリ地点を修正・変更する
メモリ地点を消去する
索引機能で地図を表示する 7-42
50音で指定する
施設ジャンルで指定する
電話番号で指定する
住所で指定する
メモリ地点から指定する
郵便番号で指定する
以前の目的地で指定する
VICS情報を見る 7-50
VICSを機能アップする...............7-58
ナビゲーションモードメッセージ画面 7-60
故障と思う前に.............................7-61
ナビゲーション地図データについて ..7-64
ナビゲーションについて 7-66

■ ご使用の前に

- 目的地までのルート案内で表示されるルートは、あくまでも目的地周辺までの推奨ルートにすぎません。最短ルートを表示するものでもなく、駐停車禁止、一方通行規制、車線変更禁止、一時停止の表示などのほか、信号の設置や渋滞状況、道路工事などの実際の走行に必要となる道路情報であってもそれらの情報は提供できません。
  実際に走行するときは道路上の交通標識や規制などにしたがって安全運転をしてください。
- 表示する道路情報や地名などに変更があったときには適切でない案内をすることがあります。
- このシステムはタイヤの回転数を検知して、この車両の走行ルートを修正します。指定サイズ、および指定ブランド以外のタイヤを装着するとナビゲーション機能の表示誤差などが大きくなることがあります。タイヤを交換するときは、お近くのMBディーラーまたは、指定サービス工場にご相談ください。
- 安全のため、走行中に操作できなくなる機能があり、ソフトキーが表示されなかったり、操作禁止のメッセージが表示されます。また、道路など一部表示されないことがあります。
- このシステムには、専用の地図ディスク（DVD-ROM）が標準装備されています。市販の地図ディスクでは作動しません。

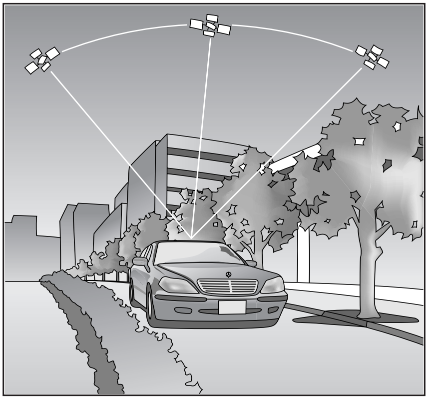
■ ナビゲーションとは？

● ナビゲーションのしくみ

ナビゲーションは、自立航法（推測航法）とGPS（グローバル・ポジショニング・システム）を併用しており、これらの機能により自車の現在位置を検出し、地図画面に表示します。
自立航法とは、車両のジャイロセンサーと車軸に取り付けた車輪（タイヤ）の回転数センサーによって自車の位置を算出し、現在地の算出データとデジタル地図データと照合（マップ・マッチング）して画面に表示する方法です。
また、専用のDVD-ROMに登録されているデジタル地図データを利用して地図画面を表示します。このDVD-ROMには、地図データのほかに索引機能で利用する索引項目などの情報も登録されています。

● GPS

GPSは米国国防省（ペンダゴン）の開発、運用するシステムで、上空約20,000kmの軌道を回る28個（2001年1月現在）の人工衛星で構成されています。
この車両のナビゲーションシステムでは、28個の衛星のうち3個の衛星からの電波信号を受信できれば、GPS信号を基準に車両の現在地を算出することができます。
GPS衛星からの電波信号を受信しているときは、地図画面上にGPSのシンボルマークを表示します。



現在地マークはかならずしも正しい位置を表示するとは限りません。このナビゲーションシステムは、人工衛星の状態、車両からの各種信号、路面の凹凸や道路環境、車両の状態などにより現在地の表示がずれることがあります。現在地の表示がずれたときは、しばらく走行を続けると、自動的に修正されます。表示誤差がいつまでも修正できないときに限り、正しい位置に修正してください。修正方法については、該当説明をお読みください。

→ 現在地（自車位置）を修正する：P7-13

次のようなときは、GPSを利用できないことがあります。

- 高層ビル、大型車両、トンネルなどの影響で人工衛星の電波が正しく受信できないとき
- 人工衛星が電波信号を送信していないとき（米国の追跡管制センターの都合により、改良・修理などで電波送信が停止することがあります）
- GPSアンテナ自体が金属製のものでさえぎられたりしたとき
- 携帯電話をGPSアンテナの近くで使用したとき

ナビゲーションモードには以下の機能があります。

ルート探索機能：
目的地を設定すると、最大4通りのルートを探索し、お好みのルートが選べ、目的地までのルート（道のり）を音声による案内と地図を表示して案内させることができます。曲がるべき交差点や分岐点、有料道路の入り口などを音声で知らせたり、画面に表示します。また、高速道路では略図を表示します。
走行中に案内ルートから外れたときでも、すぐに同じ目的地までの新しいルートを案内します。

周辺施設案内機能：
自車の現在地を地図画面に表示して周辺のレストランやガソリンスタンドなど、現在地周辺の最寄り施設を表示させたあと、目的地として設定できます。

地図表示：
拡大縮尺が自由な地図表示により、日本全国の道路を表示させることができます。また、25m縮尺で市街地図を表示します。
さらに、地図をノースアップ表示/ヘディングアップ表示にしたり、2D表示/3D表示にすることができます。

メモリ地点登録機能：
自宅や仕事先、友人宅など繰り返し訪れる場所（地点）をあらかじめ登録することで、目的地、経由地（通過点）として簡単に設定できます。

索引機能：
登録されている索引項目を表示させ、施設や場所の項目を選択して地図画面に表示できます。目的地や通過点として引用設定できます。

検索機能：
電話番号や住所、施設名称、目安となる目標施設などからその周辺の地図を表示させたり、その場所を目的地として設定できます。

VICS機能：
FM多重から渋滞情報などの情報を地図上に表示できます。さらにオプションのVICS受信システムを取り付けると、光/電波ビーコンにも対応して、渋滞情報を考慮したルート探索ができます。

■ 基本操作スイッチ

① **数字キー**
電話番号や数字入力

② **システムキー**
目的地までの情報（距離や時間など）の表示

③ **調整キー**
画質の設定

④ **現在地キー**
現在地（自車位置）の表示

⑤ **イジェクトキー**
地図ディスクを取り出す

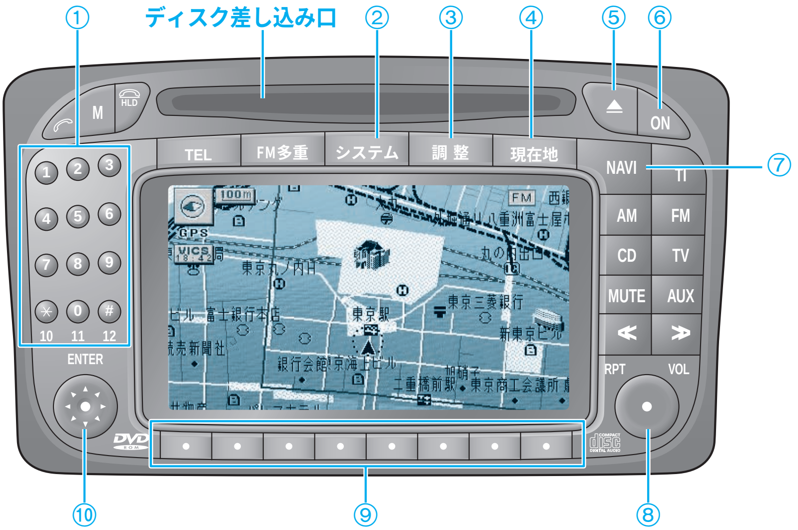
⑥ **メインスイッチ**
電源のON/OFF

⑦ **ナビゲーションモードキー**
ナビゲーションモードのON/OFF

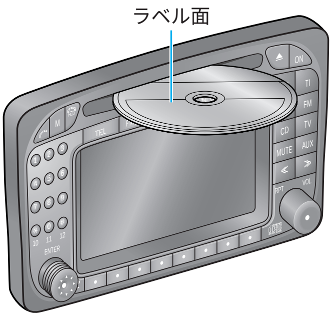
⑧ **音量調整ノブ/リピート(RPT)キー**
音量の調整/再び音声案内を聞く

⑨ **ソフトキー**
画面の下側に表示している機能の実行

⑩ **カーソルノブ/決定(ENTER)キー**
地図スクロール、項目の選択・決定



ディスクの入れかた



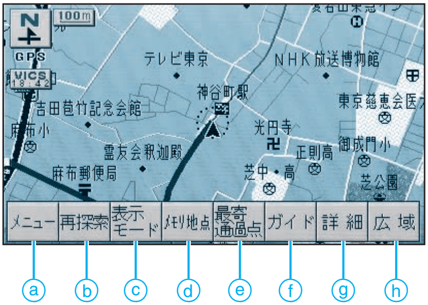
ナビゲーションを動かすためには、まず最初に専用の地図ディスクを入れてください。

ラベル面を上にして入れます。

ディスクを取り出すときは、 キーを押します。

■ 現在地（地図）画面

この車両の現在位置周囲を示す地図画面を表示します。ソフトキーは必要なときだけ表示できます。



知識：
ソフトキー表示は、現在地画面などの地図画面の表示中に何も操作しないでいると消えます。ソフトキーを表示させるときは、いずれかのソフトキーを押します。

● ソフトキーの説明

ルート探索終了後の現在地画面では、下記のソフトキーを押して各機能を操作したり、各機能の該当画面を表示できます。

ⓐ メニュー **メニュー：**
「メニュー」画面を表示します。

ⓑ 再探索 **再探索　（→P7-31）：**
再びルート探索を実施します。

ⓒ 表示モード **表示モード：**
地図の向きを変更したり、地図画面の3D表示ができます。**（→P7-11）**
ランドマーク（施設マーク）/VICS情報を表示します。**（→P7-32/P7-53）**

ⓓ メモリ地点 **メモリ地点（→ P7-36）：**
現在地またはカーソルの位置をメモリ地点として登録します。

ⓔ 最寄通過点 **最寄通過点（→P7-24）：**
ルート案内中に立ち寄りたい場所を設定します。（地図縮尺25m～500mのとき表示されます。）

ⓕ ガイド **ガイド（→P7-35）：**
周辺の施設ランドマークの名称などを表示します。（地図縮尺25m～500mのとき表示されます。）

ⓖ 詳細 **詳細（→P7-9）：**
地図を拡大表示します。

ⓗ 広域 **広域（→P7-9）：**
地図を縮小表示します。

■ 基本操作

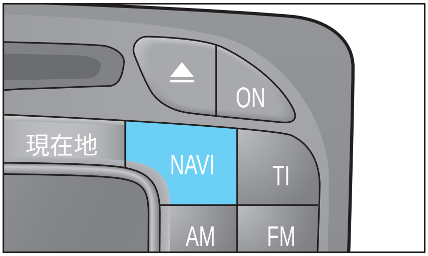
● ナビゲーションモードの ON/OFF

ONにする：

NAVI キーを押します。

OFFにする：

もう1度 NAVI キーを押します。



> **知識：**
> **音楽用CDと地図ディスクは、同時に使用できません。ナビゲーションを使用するときは、地図ディスクを入れてください。**

● 現在地画面を表示させる

この車両の現在地（自車位置）を表示します。

ナビゲーションモードがOFFのとき：

NAVI または 現在地 キーを押します。
ナビゲーションモードがONになり、現在地画面が表示されます。

地図画面のほぼ中央に、この車両の位置を示す現在地マーク ▲ が点滅しています。
画面の下側にはソフトキーが表示されます。

> **知識：**
> **ソフトキー表示は地図画面を広く表示するため、何も操作しないでいると約8秒後に表示が消えます。ソフトキーを表示させるときは、いずれかのソフトキーを押すと表示されます。**

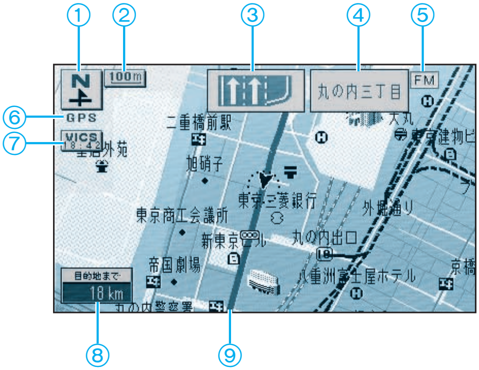
ナビゲーションモードがONのとき：

現在地 キーを押します。

> **知識：**
> **地図画面が表示されるときの地図の縮尺は、前回設定した縮尺で表示されます。**

● 表示マーク、シンボルの説明

ルート案内中の「現在地画面」では、以下のことを表示しています。



① **方位マーク：**
表示中の地図の向きを示します。

② **縮尺表示：**
表示中の地図の縮尺を示します。

③ **車線案内：**
車線情報のある一部の交差点で利用する車線を表示します。

④ **通過交差点名称：**
ルート上で通過する交差点の名称を表示します。

⑤ **FM：**
ナビゲーションモードと同時に他のモード（上記例ではFMラジオ）を利用していることを示しています。

⑥ **GPS表示シンボル：**
GPSの受信中を示します。

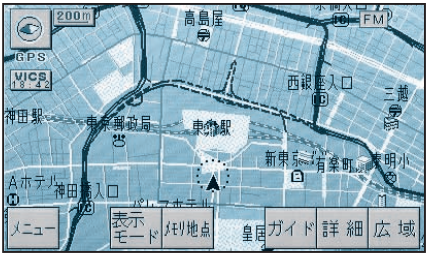
⑦ **VICSタイムスタンプ：**
VICS情報が提供された時刻を表示します。

⑧ **目的地/通過点までの距離表示：**
目的地/通過点までのおよその距離を表示します。

⑨ **案内ルートの青色太線表示：**
ルート案内する道路を青色太線で表示します。

● 地図の縮尺を変える

表示中の地図を拡大/縮小表示できます。縮尺は25m～200kmまでの13段階が選べます。
下記の画面は、スケール表示「200m」(1/2万表示）を示しています。



拡大表示するとき：
ソフトキーを表示させ、詳 細ソフトキーを押します。

縮小表示するとき：
ソフトキーを表示させ、広 域ソフトキーを押します。

> **知識：**
> - **スケール表示25mは、地図データ（市街図）が存在する場所でスケール表示50mの地図を表示しているとき、市街図ソフトキーを押して表示することができます。ただし、80km/h以上での高速走行中は表示できません。**
> - **走行中に表示される道路について：50m、100m、200mスケールの地図に細街路（道幅が5.5m未満の道路）は表示されません。**

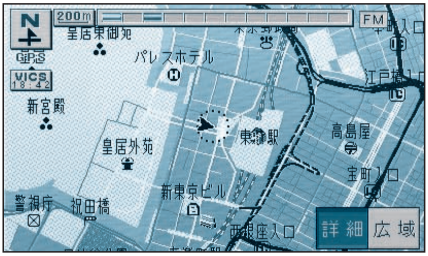
縮尺は以下の中から選べます。

距離表示	地図縮尺
25m	1/2500
50m	1/5000
100m	1/1万
200m	1/2万
500m	1/5万
1k	1/16万
2k	1/24万
5k	1/48万
10k	1/128万
20k	1/256万
50k	1/512万
100k	1/1024万
200k	1/2048万

● フリーズーム機能を使う

表示されている縮尺表示以外の縮尺でも表示することができます。縮尺段階を細かく分けてズームイン、ズームアウトのイメージで地図の縮尺を切り換えます。

詳 細または広 域ソフトキーを押し続けます。

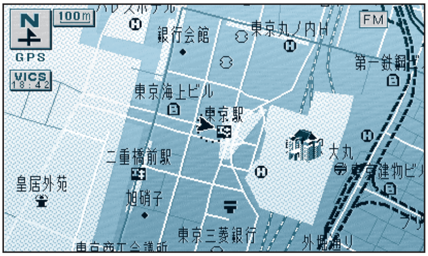


> **知識：**
> **走行中はフリーズーム機能は使用できません。**

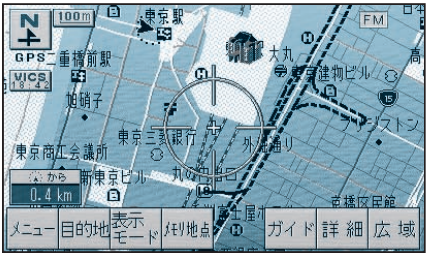
● 地図を移動する

現在地画面で表示されない周辺部などを表示させるときや、特定の場所を探すときには、カーソルノブでそれぞれの方向に地図を移動し、表示範囲を変えることができます。

◆ 移動前



◆ 移動後



カーソルノブを動かすと、現在地表示モードから地図表示モードに切り換わり、クロス・カーソル（位置ポイントを示す十字線）が表示されます。
画面左下には、現在地からクロス・カーソルまでの距離が表示されます。

注意：
走行中は安全のため、一定距離で地図スクロールします。さらに画面を移動させるときは、安全な場所に停車してから操作してください。

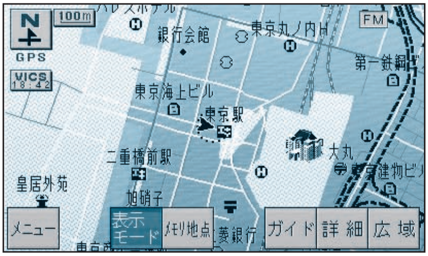
知識：
- **市街図（25mの地図）で走行中は地図スクロールしません。**
- **カーソルノブで地図を移動させたあとは、地図が固定され、車が移動しても地図は動きません。**

● 地図の向きを切り換える

地図の向きを切り換えることができます。

ヘディングアップ表示：
車両の前方を地図の上にして表示します。
ノースアップ表示：
北を地図の上にして表示します。

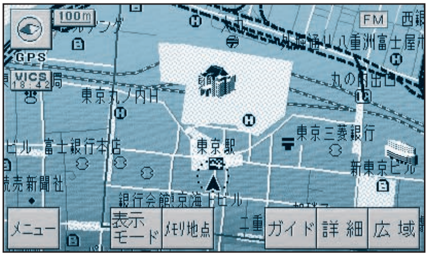
1. 表示モード ソフトキーを押します。



2. 地図向 ソフトキーを押すと切り換わります。

◆ ノースアップ表示

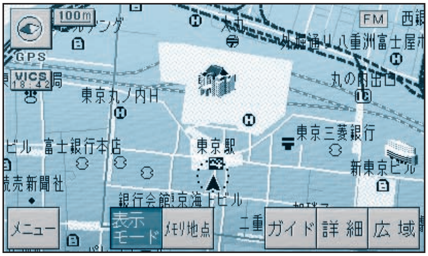
◆ヘッディングアップ表示



● 3D表示に切り換える

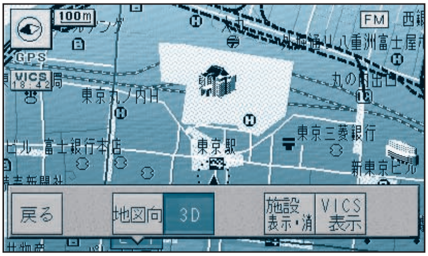
地図に遠近感をもたせて表示できます。

1. 表示モード ソフトキーを押します。

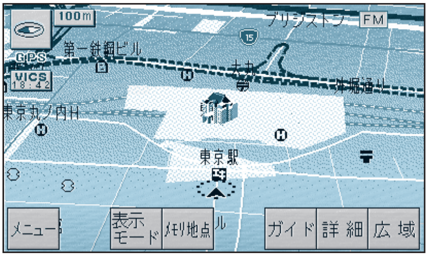


2. 3D ソフトキーを押すと切り換わります。

◆ 2D表示



◆ 3D表示



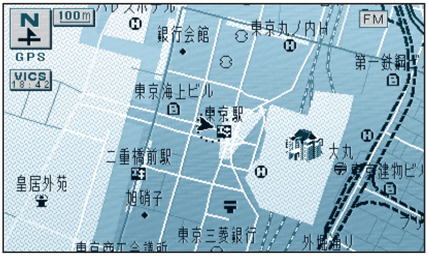
知識：
3D表示は、ヘディングアップで表示されます。

● 画面の明るさを調整する

知識：
室内・外の明るさに連動して、画面の明るさが自動的に切り換わります。

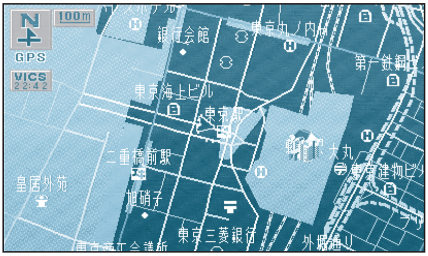
◆ 昼画面

車両の周囲が明るいと、画面が明るくなります。

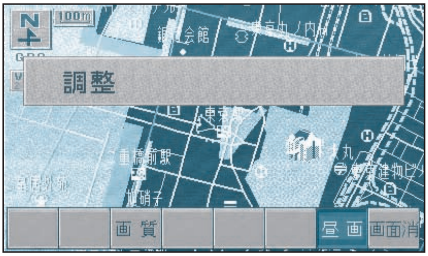


◆ 夜画面

車両の周囲が暗くなると、画面が暗くなります。



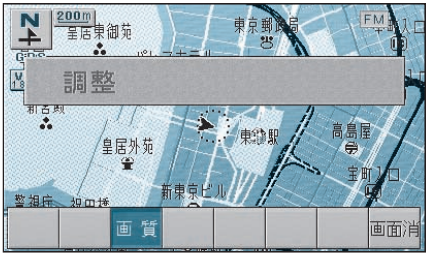
夜画面のとき、昼画面に切り換える：
[調整] キーを押して、[昼画] ソフトキーを押します。



[夜画] ソフトキーを押すと夜画面に戻ります。

◆コントラスト/明るさを調整する

1. [調整] キーを押して、[画質] ソフトキーを押します。



2. [コントラスト ∨ ∧] または [明るさ ∨ ∧] ソフトキーを押して、調整します。

知識：

- **[昼画] ソフトキーは、夜画面のときのみに表示されます。**
- **車両の周囲が明るいときは、夜画面にならない場合があります。**

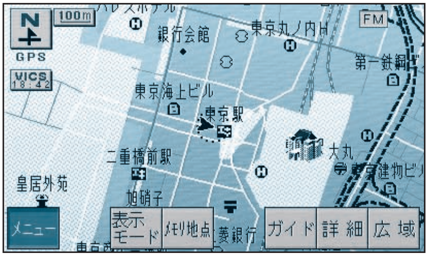
ナビゲーション

● 現在地（自車位置）を修正する

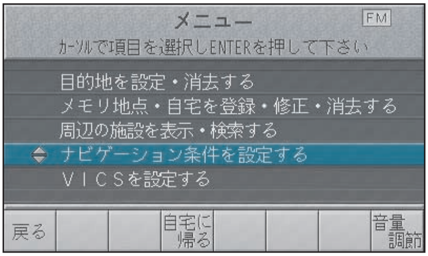
現在地画面で地図上の自車位置と実際の自車位置がずれている、または進行方向がずれているとき、このずれを修正できます。

> **知識：**
> **地図画面にGPSマークが表示されているときは、通常この操作は必要ありません。しばらく（約10km）走行を続けても現在地が自動修正できなかったり、表示誤差が大きいときには、最寄りのMBディーラーで点検を受けてください。**

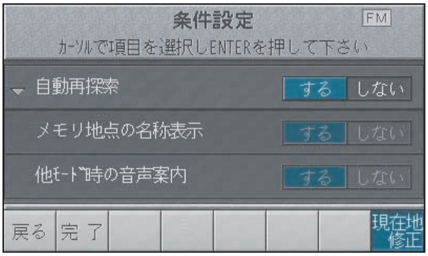
1. メニュー ソフトキーを押します。



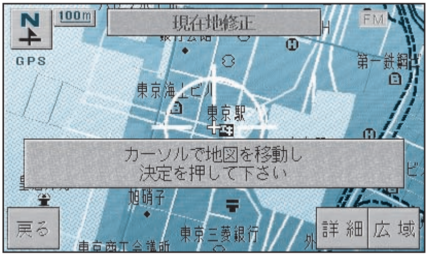
2. 「ナビゲーション条件を設定する」を選んで、決定キーを押します。



3. 現在地修正 ソフトキーを押します。



4. 詳細 ソフトキーを押して適当な縮尺の地図を表示させ、カーソルノブで修正したい位置にクロス・カーソルを合わせて、決定キーを押します。



5. カーソルノブで自車マークの進行方向を修正して、決定キーを押します。

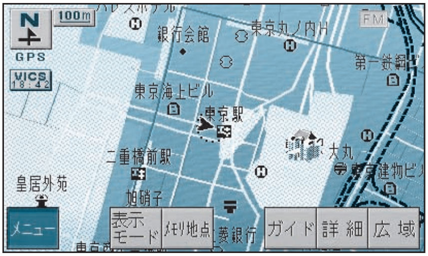
ナビゲーション

■ 自宅位置を登録・修正・消去する

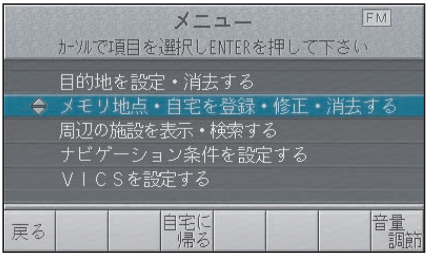
自宅を登録すると、出先から簡単に自宅までのルート設定できます。

◆ 自宅位置を登録するには

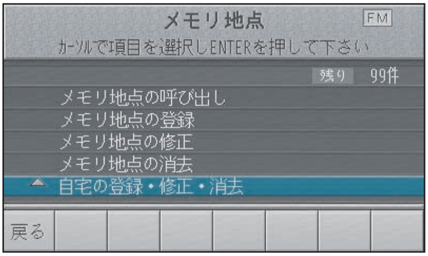
1. ソフトキーを押します。



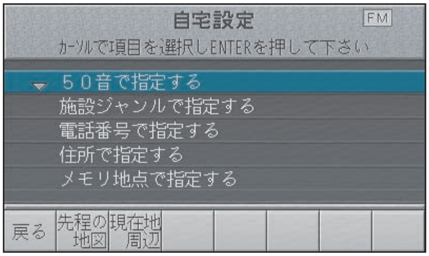
2. カーソルノブで「メモリ地点・自宅を登録・修正・消去する」を選んで、決定キーを押します。



3. カーソルノブで「自宅の登録・修正・消去」を選んで、決定キーを押します。



4. 地図の呼び出しかたを選びます。



地図の表示方法は、それぞれのページを参照してください。

- ５0音で指定する：P7-42
- 施設ジャンルで指定する：P7-44
- 電話番号で指定する：P7-45
- 住所で指定する：P7-46
- メモリ地点で指定する：P7-47
- 郵便番号で指定する：P7-48
- 以前の目的地で指定する：P7-49

先程の地図：
先程表示した地図を表示

現在地周辺：
現在地周辺の地図を表示

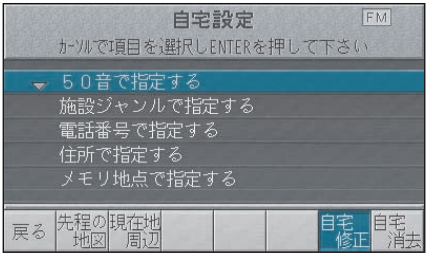
5. ソフトキーを押して適当な縮尺の地図を表示させ、カーソルノブで修正したい位置にクロス・カーソルを合わせて、ソフトキーを押します。

自宅の位置が登録されます。

◆ 自宅位置を修正するには

自宅を新しく登録すると、自宅位置を修正できます。現在の自宅の位置から近い場所へ修正する場合は、下記の方法でも修正できます。

1. 「自宅設定」画面で [自宅修正] ソフトキーを押します。



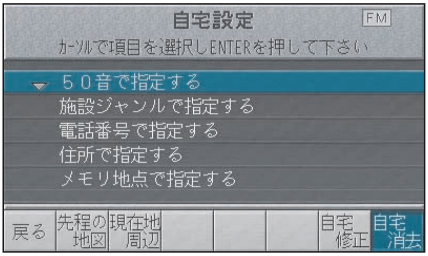
2. [詳細] ソフトキーを押して適当な縮尺の地図を表示させ、カーソルノブで修正したい位置にクロス・カーソルを合わせて、[自宅修正] ソフトキーを押します。

自宅の位置が修正されます。

◆ 自宅位置を消去するには

登録されている自宅を消去できます。

1. 「自宅設定」画面で [自宅消去] ソフトキーを押します。



2. [はい] ソフトキーを押します。

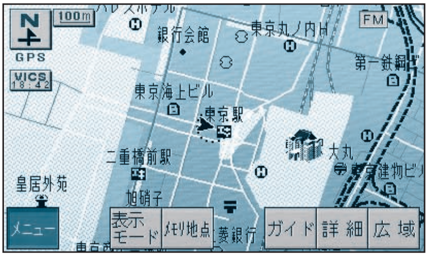
消去しない場合は、[いいえ] ソフトキーを押します。

■ ナビゲーション条件を設定する

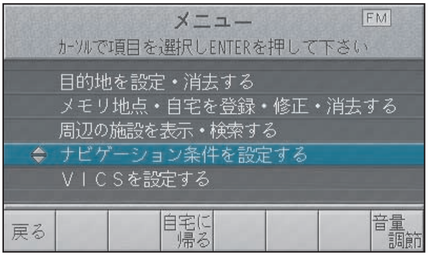
ナビゲーション使用時の条件を設定することができます。

- 自動再探索
- メモリ地点の名称表示
- 他モード時の音声案内

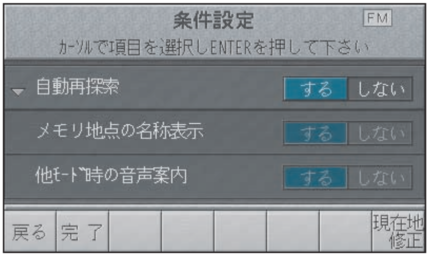
1. メニュー ソフトキーを押します。



2.「ナビゲーション条件を設定する」を選んで、決定キーを押します。



3. それぞれの項目に対して「する」「しない」を選び、決定キーを押します。



◆ 自動再探索を設定する

案内ルートから外れてしまった場合でも、自動的に再探索を行い現在地から新しいルートを表示します。

「自動再探索」を選び、「する」を選んで、決定キーを押します。

◆ メモリ地点の名称表示

登録したメモリ地点の名称を地図画面上に表示できます。

「メモリ地点の名称表示」を選び、「する」を選んで、決定キーを押します。

→ メモリ地点登録機能：P7-36

◆ 他モード時の音声案内

ラジオやテレビの画面を表示し、その音声を聞いているときにもナビゲーションの音声案内を聞くことができます。

「他モード時の音声案内」を選び、「する」を選んで、決定キーを押します。

■ ルート案内とは

● ルート案内の基本機能

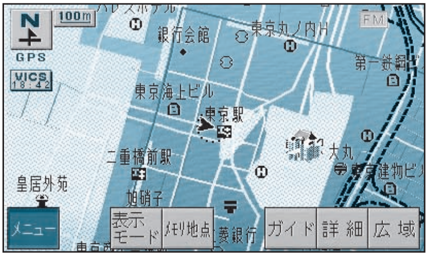
ルート案内をさせるためには､｢目的地｣を決める必要があります。
「目的地」を設定すると、目的地までのルートを探索し、地図画面上にルートを青色太線で表示します。
音声案内によるアナウンスと画面表示で、曲がるべき交差（分岐）点までの距離や交差（分岐）点拡大図を表示します。
また、ルート案内中に指示された交差（分岐）点で曲がらずに、当初の案内ルートから外れたときでも、その場所から同じ目的地までの新たなルートを探索して、ルート案内を開始します。

> **知識：**
> - **全ての道路が案内対象ではありません。5.5m未満の細街路は、目的地、通過点、出発地周辺を除いて案内対象外です。**
> - **メータの表示モードをNAVIにすると、メータ内にも分岐方向や距離を表示します。**

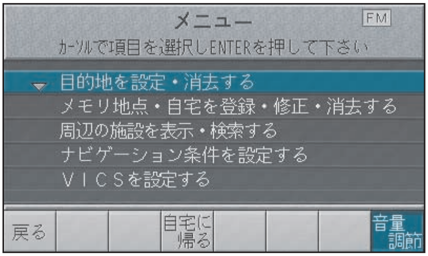
● 音声案内の音量調整

音声案内時のアナウンス音量を調整できます。音声案内のアナウンスが聞こえているあいだに 音量調整ノブで調整します。
また、下記の方法でも調整できます。

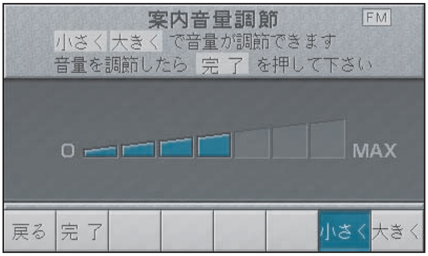
1. メニュー ソフトキーを押します。



2. 音量調節 ソフトキーを押します。



3. 大きく、小さく ソフトキーを押します。



大きく：大きくなる

小さく：小さくなる

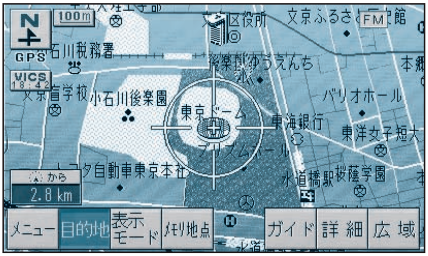
■ 目的地を設定して ルートを探索する

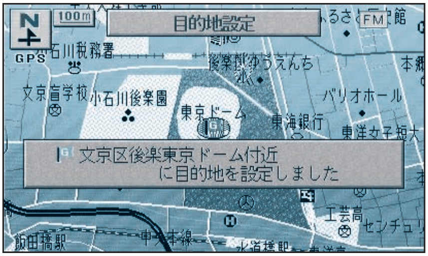
目的地の設定には以下の方法があります。

- ● 地図画面で任意の地点を選ぶ
- ● 索引機能を使って目的地を選ぶ
- ● 自宅に帰る
- ● 近くの施設の検索から目的地を選ぶ
  （→周辺の施設を表示する：P7-33）

● 地図画面で任意の地点を選ぶ

1. カーソルノブでクロス・カーソルを目的地にしたい場所まで移動して、目的地 ソフトキーを押します。





設定した目的地が マークで表示され、ルート探索を開始します。

高速道路や有料道路、橋、トンネルが目的地付近に存在する場合：

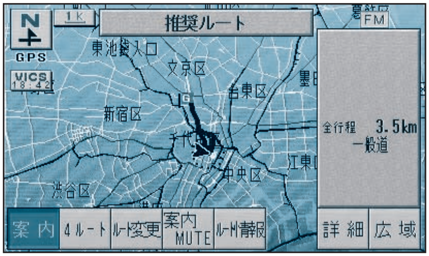
設定しようとする目的地付近に高速道路や有料道路、橋、トンネルが存在する場合、下の画面が表示されます。

（例：高速道路付近に目的地を設定する場合）

高速道路上に目的地を設定する場合は 設定する ソフトキーを押し、それ以外の場合は、他の道路 ソフトキーを押します。

> **知識：**
> **目的地および出発地付近に道路がない場合は、ルート探索できないことがあります。このときは画面のメッセージに従ってください。**

2. 案 内 ソフトキーを押すと、ルート案内が始まります。



ルートの種類は最大4種類まで表示されます。

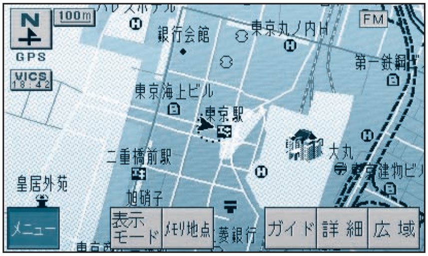
- 推奨ルート
- 有料道優先
- 一般道優先
- 距離優先

→ ルートを選ぶ：P7-22

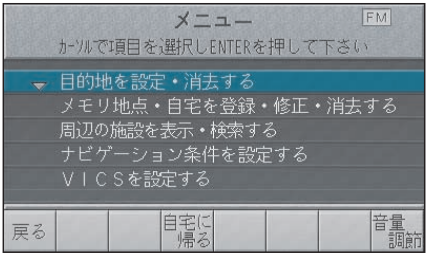
> **知識：**
> ・ルートは青色で表示されます。
> ・全ルート表示後、何も操作しないで約15秒間走行すると自動的にルート案内を始めます。

● 索引機能を使って目的地を選ぶ

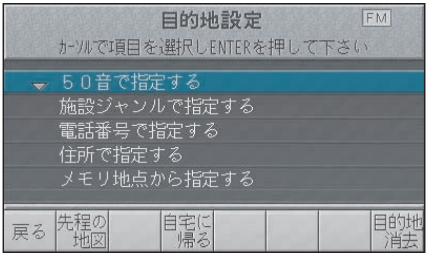
1. メニュー ソフトキーを押します。



2. 「目的地を設定・消去する」を選んで、決定キーを押します。



3. 目的地の検索方法を選んで、決定キーを押します。



地図の表示方法は、それぞれのページを参照してください。

・ 50音で指定する：P7-42
・ 施設ジャンルで指定する：P7-44
・ 電話番号で指定する：P7-45
・ 住所で指定する：P7-46
・ メモリ地点から指定する：P7-47
・ 郵便番号で指定する：P7-48
・ 以前の目的地で指定する：P7-49

先程の地図 **先程の地図：**
先程表示した地図を表示します。

自宅に帰る **自宅に帰る（→P7-20）：**
自宅を目的地に設定します。

4. 詳 細 ソフトキーを押して適当な縮尺の地図を表示させ、カーソルノブで修正したい位置にクロス・カーソルを動かし、目的地 ソフトキーを押します。

目的地が設定され、ルートを探索します。

ルートの種類は最大4種類まで表示されます。

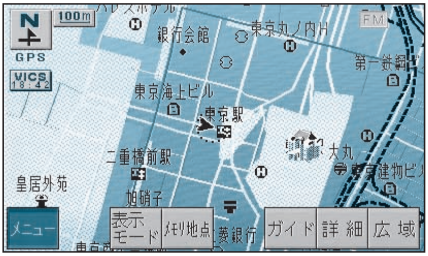
・ 推奨ルート
・ 有料道優先
・ 一般道優先
・ 距離優先

→ ルートを選ぶ：P7-22

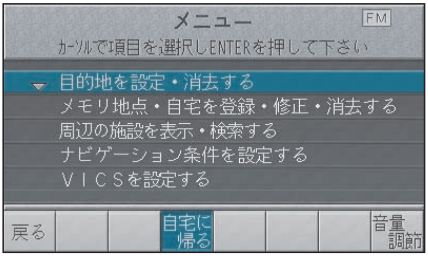
● 自宅に帰る

> **知識：**
> **自宅が登録されていないと、この操作はできません。**
> **→ 自宅位置を登録するには：**
> **P7-14**

1. [メニュー] ソフトキーを押します。



2. [自宅に帰る] ソフトキーを押します。

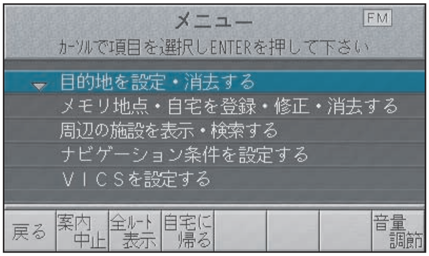


自宅を目的地に設定してルートを探索します。

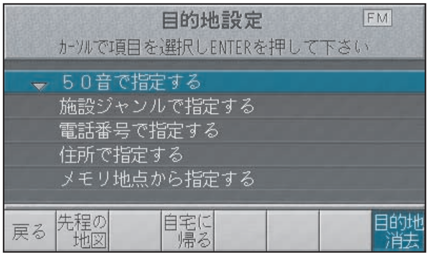
■ ルートを消去するには

目的地を消去してルート案内を止めることができます。

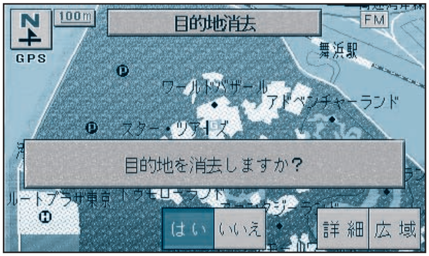
1. 「メニュー」画面で「目的地を設定・消去する」を選んで、 決定キーを押します。



2. [目的地消去] ソフトキーを押します。



3. [はい] ソフトキーを押します。



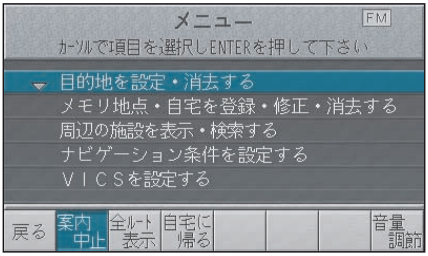
消去しない場合は、[いいえ] ソフトキーを押します。

■ ルート案内を中止・再開するには

ルート案内を一時的に中断できます。再びルート案内を再開することができます。

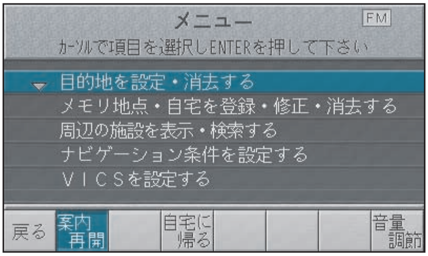
◆ ルート案内を中止するには

「メニュー」画面で 案内中止 ソフトキーを押します。



◆ ルート案内を再開するには

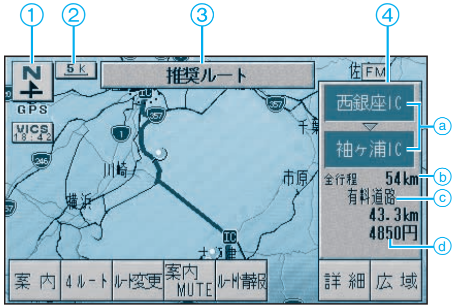
「メニュー」画面で 案内再開 ソフトキーを押します。



■ ルートを確認する

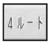
ルート探索終了後、出発地（現在地）から目的地までのルートを表示する「全ルート表示画面」を自動的に表示します。

● 全ルート表示画面について



① 地図向きを表示します。
② 出発地と目的地の両方が表示できる縮尺で表示します。
③ ルート種別を表示します。
④ 全行程の主な情報を表示します。
- ⓐ 高速道路の入口ICと出口IC
- ⓑ ルートの全行程距離
- ⓒ 主に利用する道路種別及び利用距離
- ⓓ 有料道路の合計料金のめやす

案内：
ルート案内を開始します。


4ルート（→P7-22）：
ルートを確認できます。また、ルート種別の変更もできます。

ルート変更（→P7-23）：
目的地以外に通過点（2地点まで）を追加できます。また、ルート種別の変更もできます。

案内MUTE：
ルート案内中の音声案内を止めます。

ルート情報（→P7-22）：
目的地までの経路を表示します。

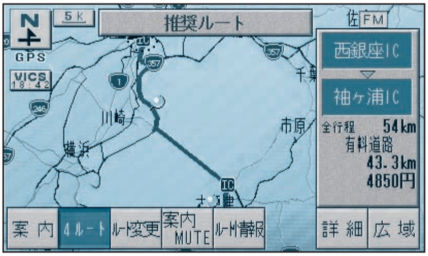
ナビゲーション

● ルートを選ぶ

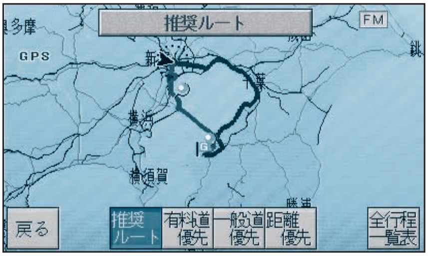
目的地までのルートを最大４ルートまで下記の条件で複数探索します。

- 推奨ルート：最も推奨できるルート
- 有料道優先：できるだけ有料道路を通るルート
- 一般道優先：できるだけ有料道路を通らないルート
- 距離優先：できるだけ距離が短くなるルート

1. 全ルート表示画面で [4ルート] ソフトキーを押します。



2. [推奨ルート]、[有料道優先]、[一般道優先]、[距離優先] ソフトキーを押して、お好みのルートを決定します。



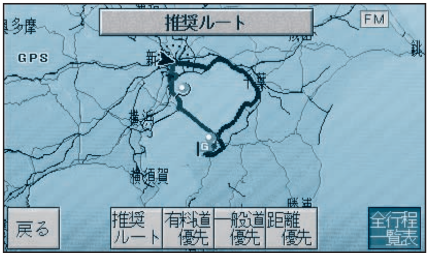
押すたびに、選んだルートが青色で表示されます。

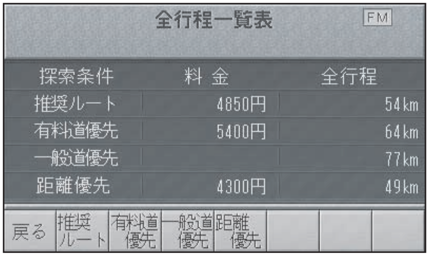
ルートが決まったら、[戻る] ソフトキーを押してください。

> **知識：**
> **異なる条件のルートを選んでも、それぞれ同じルートを表示する場合があります。**

◆全行程一覧表を表示する

[全行程一覧表] ソフトキーを押すと、それぞれのルートの全行程距離と有料道路での料金合計のめやすを確認できます。





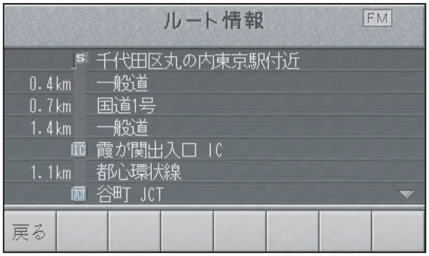
全行程一覧表

探索条件	料 金	全行程
推奨ルート	4850円	54km
有料道優先	5400円	64km
一般道優先		77km
距離優先	4300円	49km

> **知識：**
> **有料道路の料金は、めやすです。実際の料金と異なることがあります。**

◆ルート情報を表示する

全ルート表示画面で [ルート情報] ソフトキーを押すと、ルート情報を表示します。

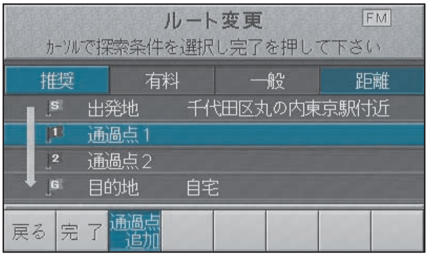


● ルートに通過点を追加する

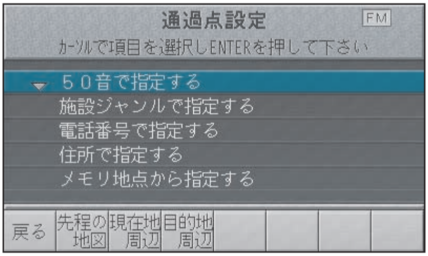
目的地以外に通過点を2地点まで追加できます。

1. 全ルート表示画面で ルート変更 ソフトキーを押します。

2. 通過点追加 ソフトキーを押します。



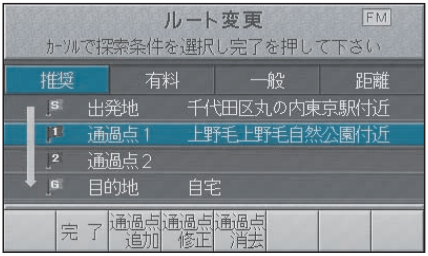
3. 通過点を探す方法を選び、決定キーを押します。



地図の表示方法は、それぞれのページを参照してください。

- 50音で指定する：P7-42
- 施設ジャンルで指定する：P7-44
- 電話番号で指定する：P7-45
- 住所で指定する：P7-46
- メモリ地点から指定する：P7-47
- 郵便番号で指定する：P7-48
- 以前の目的地で指定する：P7-49

4. 通過点を選び、通過点 ソフトキーを押します。



通過点追加 **通過点追加：**
通過点2を追加します。

通過点修正 **通過点修正：**
通過点を修正します。

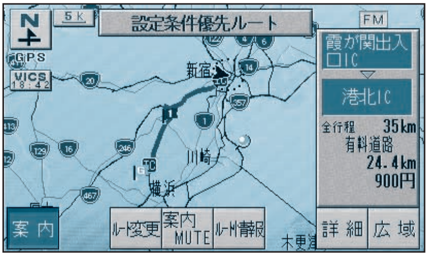
通過点消去 **通過点消去：**
通過点を消去します。

通過点の追加が終わったら、完 了 ソフトキーを押します。

（次のページへ続きます）

ナビゲーション

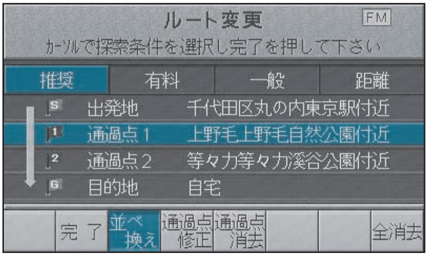
通過点が追加されました。通過点には、 が表示されています。

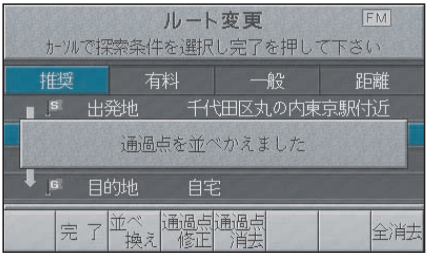


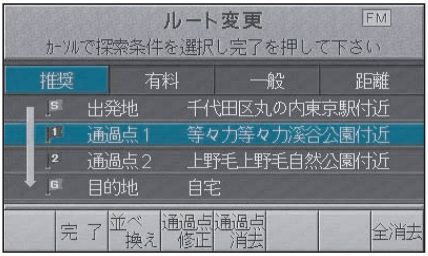
案内 ソフトキーを押すとルート案内が始まります。

◆ 通過点を並べ換える

並べ換え ソフトキーを押すと、通過点を並べ換えることができます。



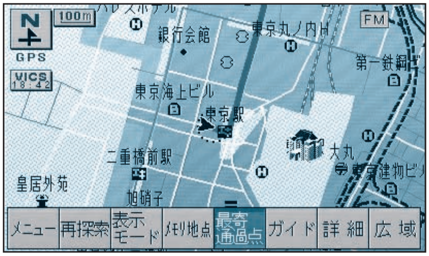




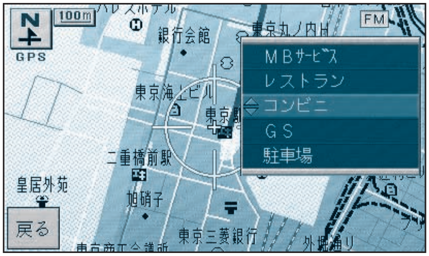
● 最寄り通過点を追加する

ルート案内中、通過点（2地点）以外にガソリンスタンドやコンビニエンス・ストアなど最寄りの施設を検索して通過点として追加できます。

1. 最寄通過点 ソフトキーを押します。



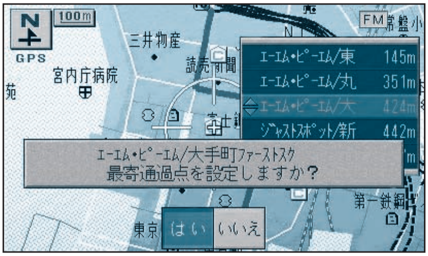
2. 施設の種類を選び、 決定キーを押します。



3. 施設を選び、 決定キーを押します。

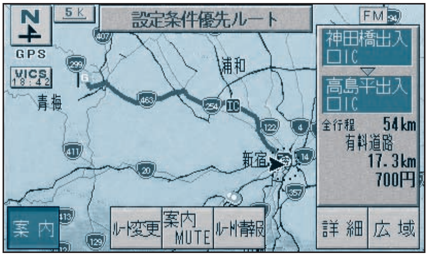
ナビゲーション

4. [はい] ソフトキーを押します。



設定しない場合は、[いいえ] ソフトキーを押します。

5. [案内] ソフトキーを押します。



ルートを探索します。ルート探索終了後、ルート案内が始まります。

地図上には マークが表示されます。

最寄通過点を消去するには：

1. [最寄通過点] ソフトキーを押して、[最寄消去] ソフトキーを押します。

2. [はい] ソフトキーを押します。

消去しない場合は、[いいえ] ソフトキーを押します。

ナビゲーション

■ ルート案内を開始する

全ルート表示画面で 案内 ソフトキーを押します。

ルート案内が始まります。

知識：

- **ルート案内は公道の走行開始後すぐに始まりますが、出発点が地図上に表示されていない道路や私有地内のときは、地図上に表示される公道を走行するまで案内できません。**
- **ルート探索により表示するルートはあくまでも目的地周辺までの参考ルートです。交通渋滞や交通規制などの情報は考慮していません。**
- **交差点表示や地図上に表示の目印となる施設、ガソリンスタンド、コンビニエンス・ストア、レストランなどは地図の作成時点での公開情報に基づくものであり、実際とは異なることがあることをご理解ください。**
- **立体交差や複雑に交差する分流、分岐点などの通過時に一時的に現在地方位を失うことがあります。この場合、そのまま走行を続けると自動再探索を実行し、その地点からのルートを案内することがあります。**

● 音声案内について

ルート案内中に分岐点の手前や、目的地、通過点に接近したときに自動的に音声出力します。

概要案内

案内ルートを決定した直後に自動的に出力される音声案内。

例）「東名高速道路横浜町田インターを通るルートです。」

分岐案内

分岐点に接近したときに自動的に出力される音声案内。

例）「およそ700メートル先、○○町を斜め右方向です。」
「およそ1キロ先、左方向出口です。」

区間案内

走行中の道路種別が変わったときなど、次の分岐点情報を自動的に出力する音声案内。

例）「およそ500メートル先、直進方向です。」

乗線案内

案内開始時、ルートに乗線すると同時に出力する音声案内。

例）「およそ2キロ先、左に戻る方向です。」

到着案内

通過点、フェリーターミナル、目的地に接近した場合に出力される案内。

例）「目的地周辺です。音声案内を終了します。」

知識：

- 音声案内はルート上を走行している場合のみ出力します。
- ラジオやテレビ画面を表示しているときでも音声案内を続けることができます。
- 複数の音声案内が重なると、先に案内している音声が途中で終わることや、優先される案内の音声のみの場合があります。
- → 音声案内の音量調整：P7-17

● 音声案内をもう一度聞きたいとき

音声案内を聞き直したいときや、次の分岐点までの情報を聞きたいときなど、もう一度音声案内を聞くことができます。また交差点拡大図表示などの案内拡大図を解除した後にもう一度案内拡大図を表示させることもできます。

ルート案内中の現在地画面で
リピートキーを押します。

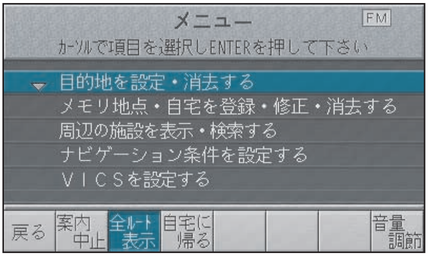
知識：

- 分岐点の手前約300m以内（高速道路/有料道路の場合は約1km以内）で押すと、音声案内とともに交差点拡大図を表示します。
- リピートキーでの再音声は、自車がルート上を走行している状態のときのみ有効となります。それ以外の場合に リピートキーを押しても無効です。

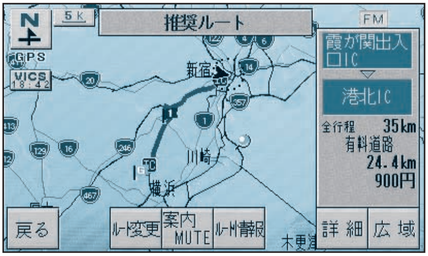
● 全ルートを表示するには

ルート案内開始後でも全ルートを表示できます。

「メニュー」画面で 全ルート表示 ソフトキーを押します。



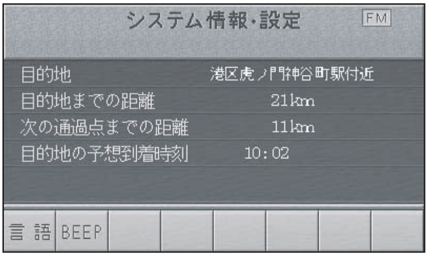
全ルート表示画面が表示されます。



● 目的地情報案内機能

目的地を設定すると、目的地や通過点までの距離と到着予想時刻を表示します。

システム キーを押します。

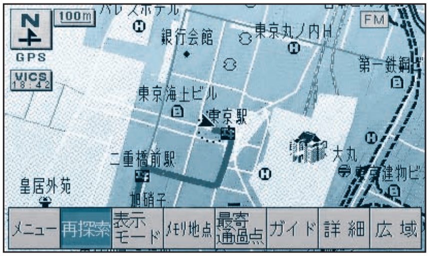


ナビゲーションモードに戻るには、NAVI キーを押します。

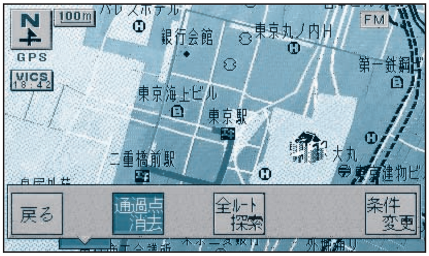
● ルート案内中に通過点を消去する

次に通過する予定の通過点を簡単に消去できます。

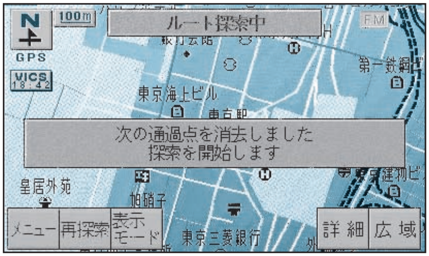
1. 再探索 ソフトキーを押します。



2. 通過点消去 ソフトキーを押します。



下の画面が表示されます。



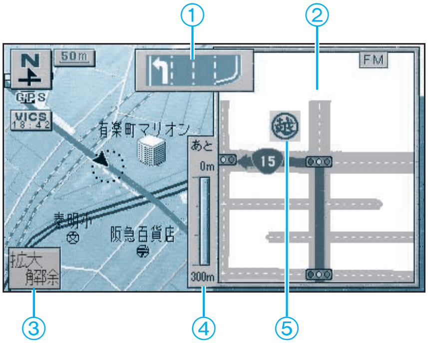
●案内拡大図表示

分岐点に近づくと自動的に分岐点の拡大図を表示します。

> **知識：**
> **車線案内および分岐点の形状は、実際と異なることがあります。**

◆ 交差点拡大図

一般道路（高速道路・有料道路以外）で分岐点の手前約300mまで接近すると交差点周辺の拡大図を表示します。



① **車線案内：**
車線情報のある一部の交差点で利用する車線を表示します。

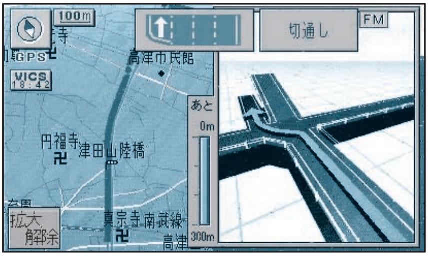
② **拡大図：**
交差点周辺を分かりやすく表示します。（一部の立体交差点では立体拡大図を表示します。）

③ **拡大解除ソフトキー：**
交差点拡大図の表示を消去します。
● リピートキーを押すと再度表示できます。

④ **交差（分岐）点までの距離：**
自車から交差（分岐）点までの残距離を表示します。

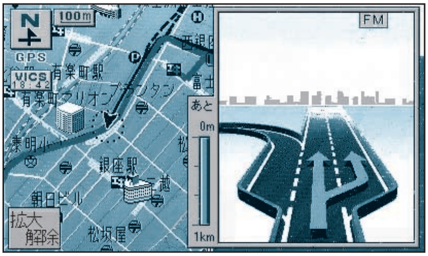
⑤ **施設マーク：**
交差点周辺の施設を表示します。

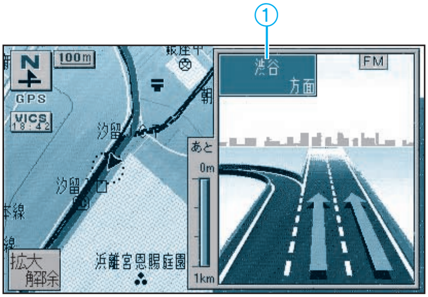
◆ 立体交差点拡大図



◆ 3D高速分岐案内図

高速道路のジャンクション、本線出口、ランプウェイ内の分岐点に接近すると走行する車線を案内します。



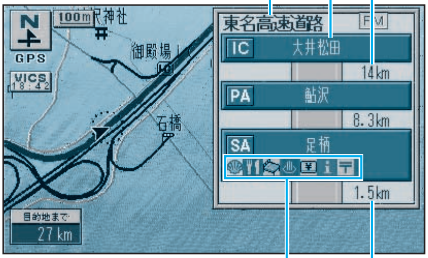


① **方面名称案内：**
高速道路、有料道路の出口案内や、ジャンクションでの進行方向を表示します。

◆ ハイウェイモード表示

ルート案内中、高速道路の本線上に進入すると自動的にハイウェイモード画面を表示します。

①　②　③



④　⑤

① **道路名称：**
ハイウェイモード画面の一番下に表示されている施設（ここでは足柄SA)がある道路名称を表示します。

② **施設名称：**
ルート上で3か所先までの施設名称を表示します。

③ **施設間の距離：**
施設間の距離を表示します。

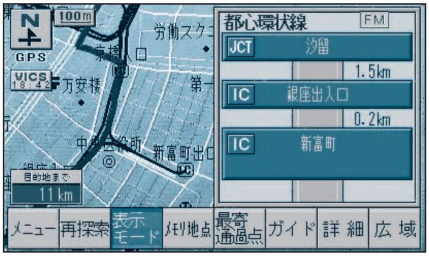
④ **設備マーク：**
SA・PAに設置されている設備を表示します。

⑤ **施設までの距離：**
自車から施設までの距離を表示します。

◆ ハイウェイモード表示の消去

ハイウェイモード表示を消去できます。

1. ハイウェイモード表示中に［表示モード］ソフトキーを押します。



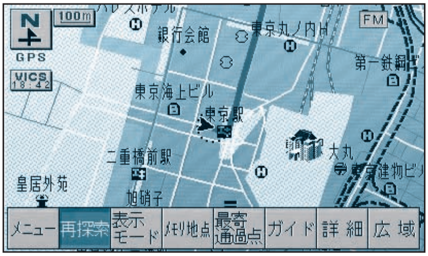
2. ［略図解除］ソフトキーを押します。

ハイウェイモードを再度表示するには：
［略図表示］ソフトキーを押します。

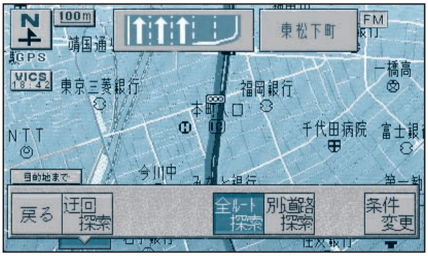
● ルート案内中もう一度探索する

ルートから外れた場合など、現在地から新たなルートを探索します。また、ルート案内中、ルート探索条件を変更して違うルートに変更できます。

1. 再探索 ソフトキーを押します。



2. 全ルート探索 ソフトキーを押します。



探索が終了すると新しいルート案内が始まります。

> **知識：**
> **自動再探索の設定により、ルートから外れると自動で再探索を行うように設定することもできます。**
> **→ ナビゲーション条件を設定する：P7-16**

◆ 探索条件を変更してルートを探索するには

手順2で 条件変更 ソフトキーを押します。

お好みの条件を選んでください。

- 有料道優先：できるだけ有料道路を通るルート
- 一般道優先：できるだけ有料道路を通らないルート
- 距離優先：できるだけ距離が短くなるルート

◆ 迂回探索

迂回するルート（回り道）を探索します。

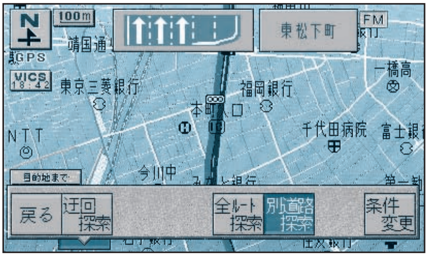
手順2で 迂回探索 ソフトキーを押します。

（次のページへ続きます）

◆ **案内される道路種別が違ったら（別道路探索）**

高速道路と一般道路が上下あるいは平行のまましばらく続くような道路を走行する場合、道路を取り違えることがあります。（自車が高速道路を走行中なのに、自車マークは一般道路を走行中と表示されている場合など）

前ページ、手順2で［別道路探索］ソフトキーを押します。



■ 周辺の施設を表示する

● ランドマーク（施設マーク）を表示する

地図上にガソリンスタンド、コンビニエンス・ストアまたは指定サービス工場などを表示できます。

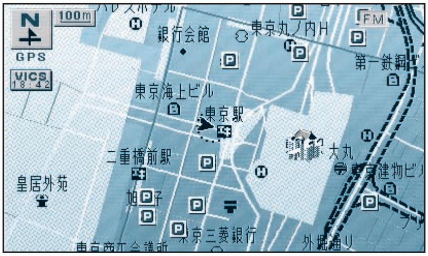
1. ［表示モード］ソフトキーを押します。

2. ［施設表示・消］ソフトキーを押します。

3. ソフトキーで表示させたい施設を選びます。

ナビゲーション

例）駐車場を選んだ場合



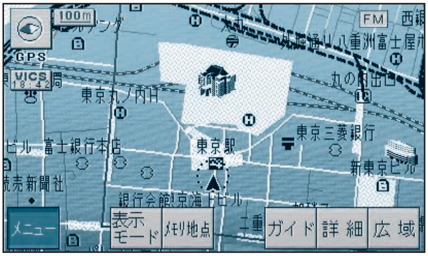
ランドマークの表示を消すには：
手順3で 施設表示消 ソフトキーを押してください。

> **知識：**
> **施設は、1種類だけ表示できます。複数の種類の施設を同時に表示できません。**

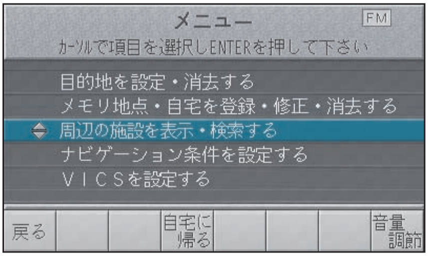
● 周辺の施設を表示する

周辺の施設をジャンル別に検索して表示できます。

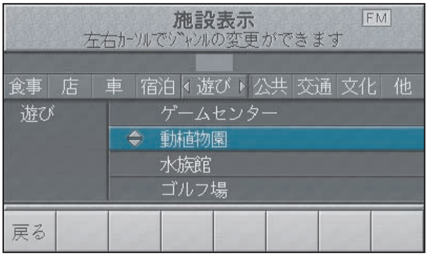
1. メニュー ソフトキーを押します。



2. 「周辺の施設を表示・検索する」を選んで 決定キーを押します。



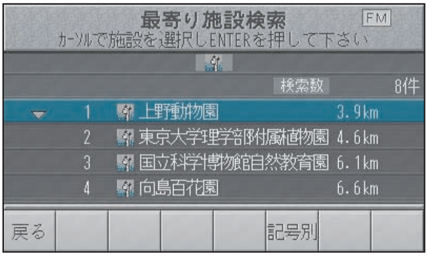
3. ジャンルを選んで 決定キーを押します。



（次のページへ続きます）

ナビゲーション

4. 施設名称を選んで、決定キーを押します。



記号別 ソフトキーを押すとリストが記号別に表示され（ガソリンスタンドなら、 などの記号が表示されます）、近い順 ソフトキーを押すと近い順に表示されます。

知識：

- **距離表示は、自車位置からの直線距離（現在地画面から検索した場合）またはクロス・カーソルの位置からの直線距離（地図画面から検索した場合）を表示します。**
- **検索は、自車位置またはクロス・カーソルから半径10km以内で、近い順に最大200件までです。**

地図が表示されます。

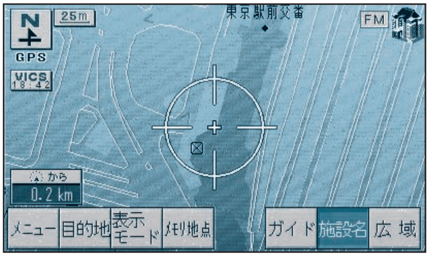
目的地 ソフトキーを押すと目的地に設定できます。

メモリ地点 ソフトキーを押すとメモリ地点に設定できます。

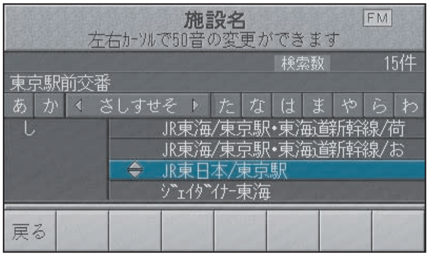
● 施設情報（スポットデータ）を表示する

縮尺が25m（市街図）のとき、施設情報（スポットデータ）を表示できます。施設情報として、施設名称、電話番号、住所が表示されます。

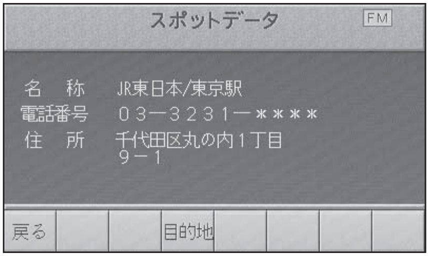
1. 情報を表示させたい施設にクロス・カーソルを合わせて 施設名 ソフトキーを押します。



2. ビルなど、複数の施設がある場合、施設を選んで、決定キーを押します。



施設情報（スポットデータ）が表示されます。

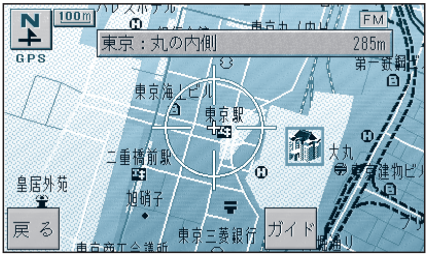


● ガイドを表示する

地図上に表示させたランドマークや3Dランドマークの名称や現在地（自車位置）からの距離を表示できます。

ソフトキーを押します。

地図画面中央のクロス・カーソルに一番近い施設の情報（施設名称、自車位置からの距離）を表示します。



情報が表示された施設は、赤い枠で表示されます。

さらに

ソフトキー押すと、同距離にある次の施設、または次に近い施設の情報を表示します。

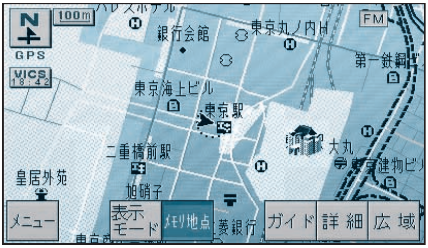
知識：
距離表示は、自車位置からの直線距離です。

■ メモリ地点登録機能

地図上に自宅や繰り返し訪れる友人宅などの場所（地点）を登録できます。ルート設定時に、あらかじめ登録した場所（登録地点）を引用し、目的地や通過点として簡単に設定できます。
登録できる地点の数は、自宅分1か所と任意の場所100か所です。

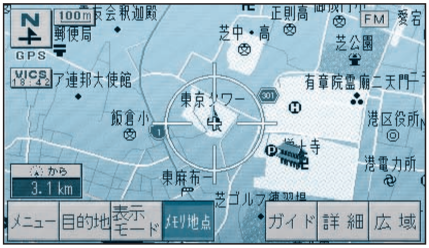
● 現在地を登録する

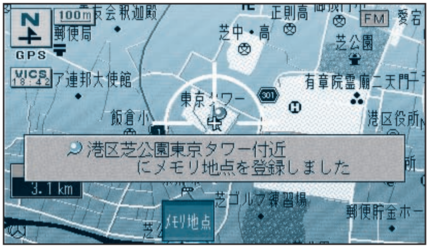
現在地画面で メモリ地点 ソフトキーを押します。自車マークの位置がそのまま任意の地点として登録されます。



● 地図画面から登録する

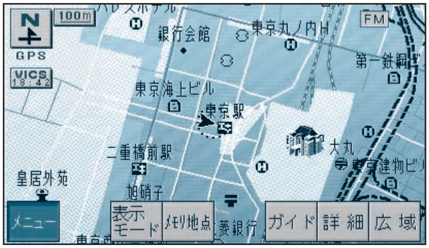
カーソルノブで設定したい位置にクロス・カーソルを合わせて、メモリ地点 ソフトキーを押します。



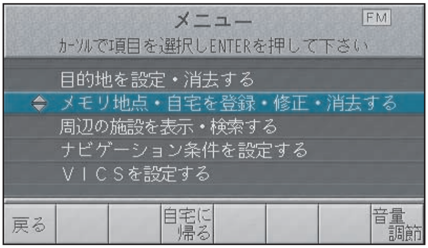


● メモリ地点メニューから登録する

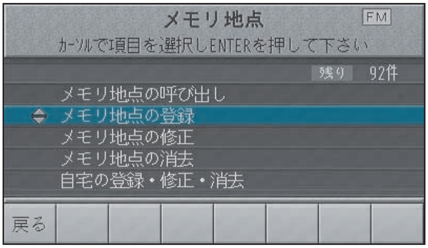
1. 現在地または地図画面で メニュー ソフトキーを押します。



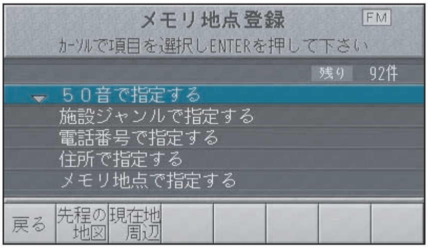
2. 「メモリ地点・自宅を登録・修正・消去する」を選び、決定キーを押します。



3. 「メモリ地点の登録」を選び、決定キーを押します。



4. 地図の呼び出しかたを選びます。



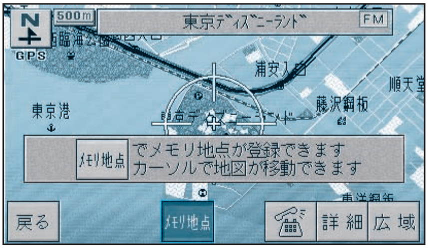
地図の表示方法は、それぞれのページを参照してください。

- ５０音で指定する：P7-42
- 施設ジャンルで指定する：P7-44
- 電話番号で指定する：P7-45
- 住所で指定する：P7-46
- メモリ地点で指定する：P7-47
- 郵便番号で指定する：P7-48
- 以前の目的地で指定する：P7-49

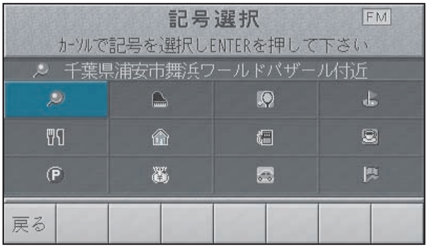
先程の地図 **先程の地図**：
先程表示した地図を表示

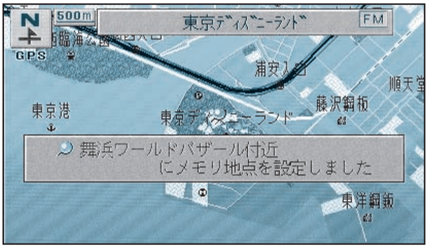
現在地周辺 **現在地周辺**：
現在地周辺の地図を表示

5. カーソルで設定したい位置にクロス・カーソルを合わせて、メモリ地点 ソフトキーを押します。



6. お好きな登録記号を選び、決定キーを押します。

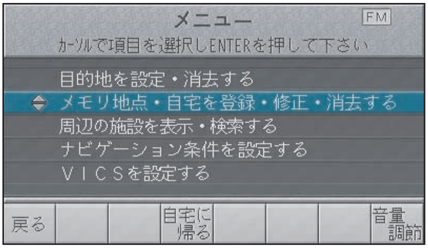




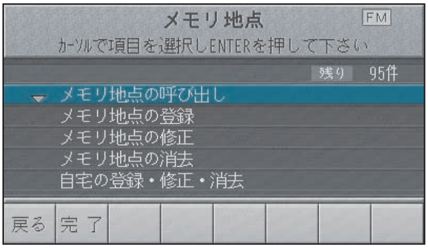
ナビゲーション

●メモリ地点の呼び出し

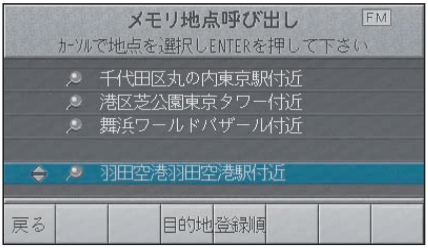
1. 「メモリ地点・自宅を登録・修正・消去する」を選び、決定キーを押します。



2. 「メモリ地点の呼び出し」を選び、決定キーを押します。



3. 呼び出したいメモリ地点を選び、決定キーを押します。

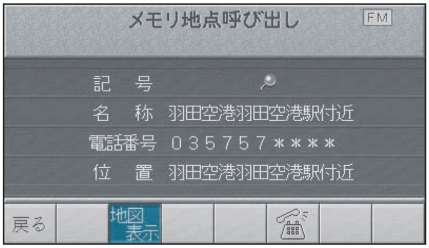


目的地 ソフトキーを押すと、目的地として設定できます。

登録順 ソフトキーを押すと、以前に登録した順に表示されます。

記号別 ソフトキーを押すと、記号別に表示されます。

4. 地図表示 ソフトキーを押すと、呼び出した地点の周辺の地図を表示します。



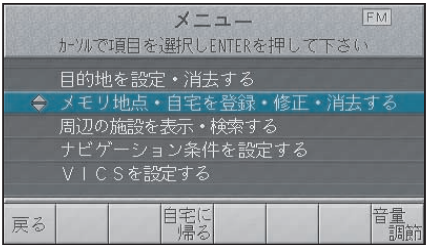
知識：
電話番号でメモリ地点を登録した場合、ソフトキーを押すと呼び出した地点に電話をかけることができます。

ナビゲーション

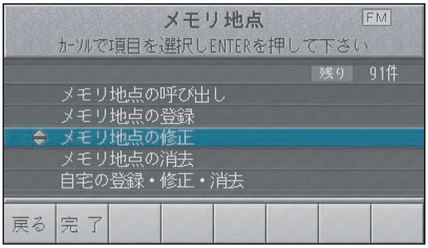
● メモリ地点を修正・変更する

◆ メモリ地点の記号を変更する

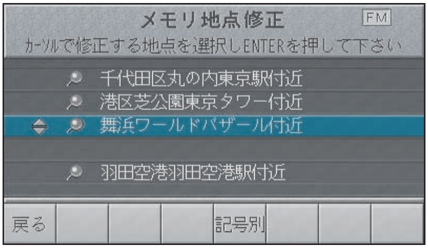
1. 「メモリ地点・自宅を登録・修正・消去する」を選び、決定キーを押します。



2. 「メモリ地点の修正」を選び、決定キーを押します。

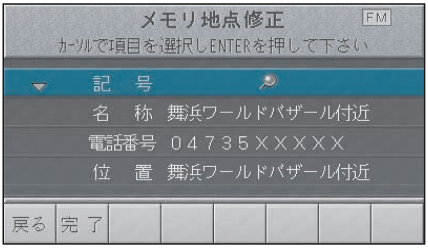


3. 修正したい地点を選び、決定キーを押します。

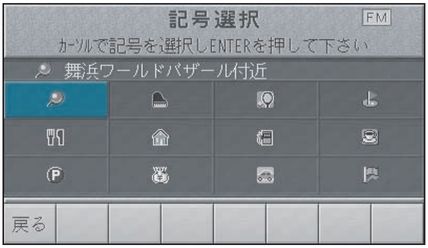


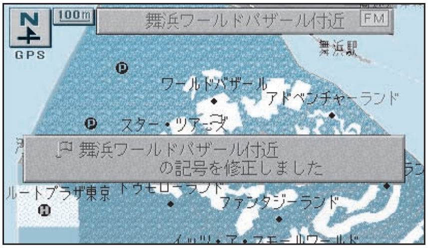
「メモリ地点修正」画面を表示します。

4. 「記号」を選び、決定キーを押します。

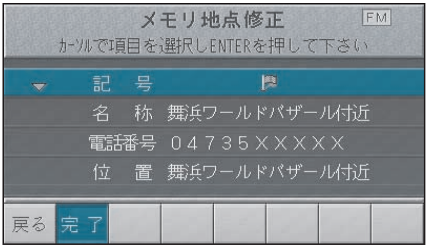


5. お好みの記号を選び、決定キーを押します。



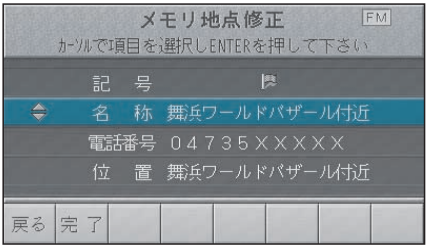


6. 完了 ソフトキーを押します。

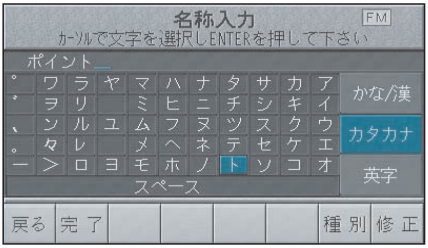


◆ メモリ地点の名称を変更する

1. 「メモリ地点修正」画面（→前ページ）で「名称」を選び、決定キーを押します。

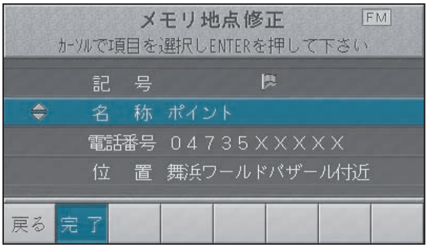


2. 名称を修正します。



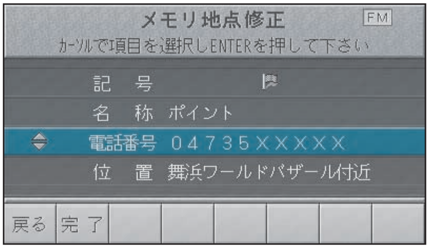
文字を修正するには、修 正 ソフトキーを押してください。
文字の入力のしかたについては、
→ 相手先名の設定：P5-11

3. 完 了 ソフトキーを押します。

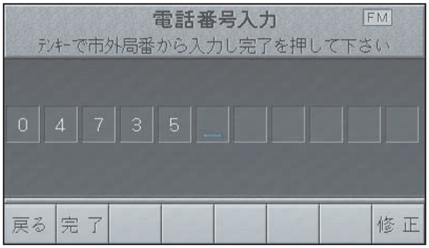


◆ メモリ地点の電話番号を変更する

1. 「メモリ地点修正」画面で「電話番号」を選び、決定キーを押します。

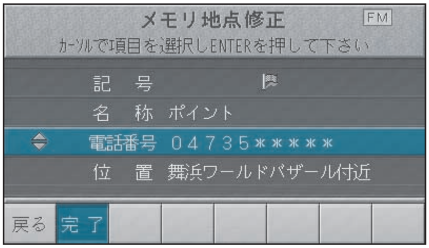


2. 【数字キー】を使って、電話番号を修正します。



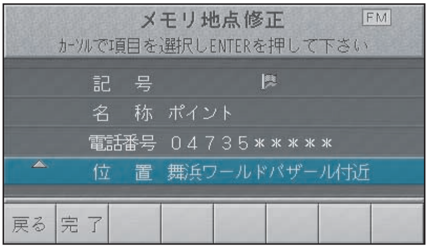
数字を修正するには、修 正 ソフトキーを押してください。

3. 完 了 ソフトキーを押します。

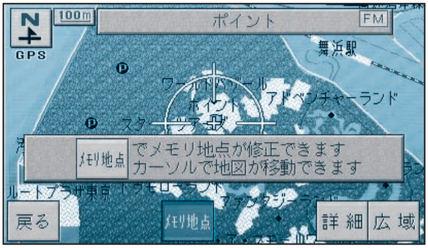


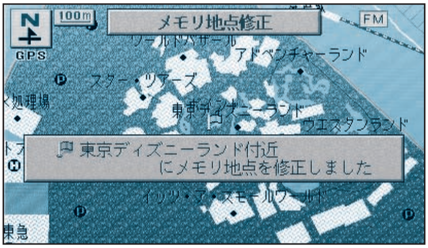
◆ メモリ地点の位置修正を行う

1. 「メモリ地点修正」画面で「位置」を選び、決定キーを押します。



2. 詳 細 ソフトキーを押して適当な縮尺の地図を表示させ、カーソルノブで修正したい位置にクロス・カーソルを合わせて、メモリ地点 ソフトキーを押します。

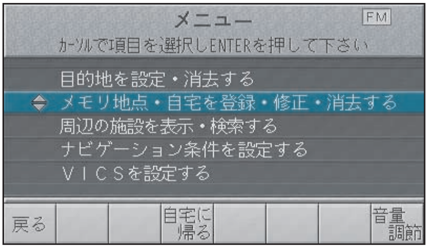




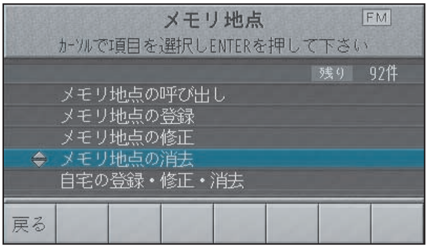
3. 「メモリ地点修正」画面に戻り、完 了 ソフトキーを押します。

● メモリ地点を消去する

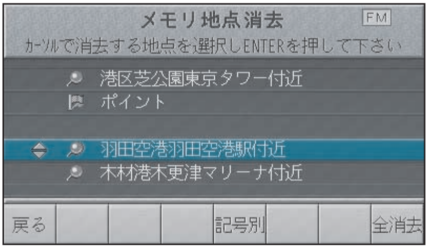
1. 「メニュー」画面で「メモリ地点・自宅を登録・修正・消去する」を選び、決定キーを押します。



2. 「メモリ地点の消去」を選び、決定キーを押します。



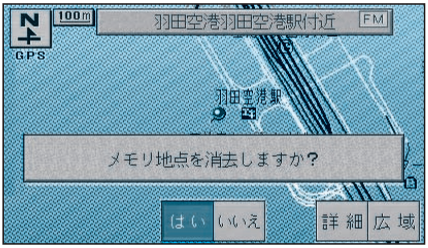
3. 消去するメモリ地点を選び、決定キーを押します。

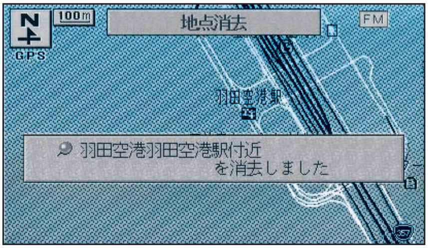


登録している全てのメモリ地点を消去するには、全消去 ソフトキーを押してください。

（次のページへ続きます）

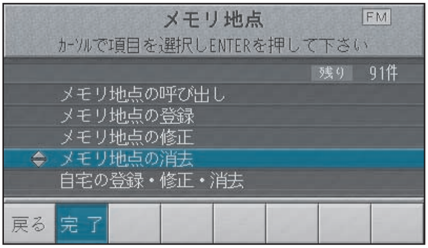
4. 消去する場合は はい ソフトキーを押します。





消去しない場合は いいえ ソフトキーを押してください。

5. 完 了 ソフトキーを押します。



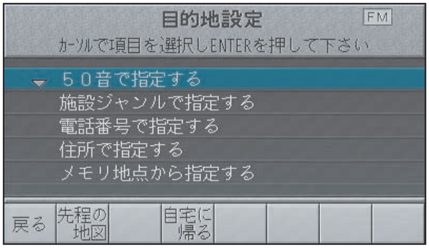
■ 索引機能で地図を表示する

目的地や通過点を設定するために地図を表示させるには、以下の方法があります。

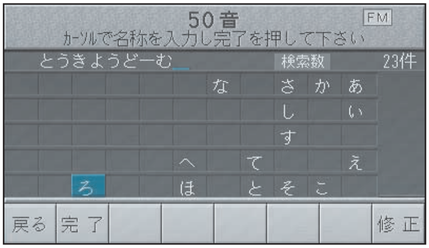
- 50音で指定する
- 施設ジャンルで指定する
- 電話番号で指定する
- 住所で指定する
- メモリ地点から指定する
- 郵便番号で指定する
- 以前の目的地で指定する

● 50音で指定する

1. 「目的地設定」画面で「50音で指定する」を選び、 決定キーを押します。



2. カーソルノブと 決定キーで文字を入力します。

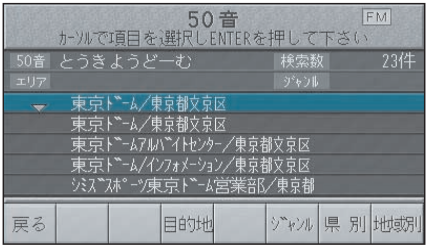


文字を修正するには、 修 正 ソフトキーを押してください。

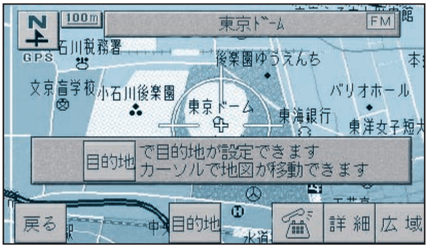
3. 文字を入力したあと、[完了] ソフトキーを押します。

> **知識：**
> **次の場合、自動的に検索結果画面を表示します。**
> - **検索結果が5件以下で約10秒間なにも操作をしなかったとき**
> - **最大文字数12文字を入力して約3秒間なにも操作をしなかったとき**
> - **次の文字が入力できない場合に約3秒間なにも操作をしなかったとき**

4. 施設名称を選び、決定キーを押します。



地図が表示されます。



> **知識：**
> **施設情報がある施設名を入力した場合、[電話] ソフトキーを押すとその施設に電話をかけることができます。**

> **知識：**
> **決定キーを押す前に、[ジャンル]、[県 別]、[地域別] ソフトキーを押して検索結果をさらに絞り込むことができます。下記の「さらに検索結果を絞り込むには」をご参照ください。**

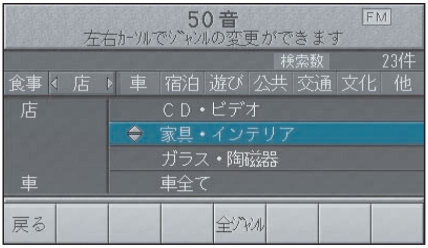
◆ さらに検索結果を絞り込むには

以下の絞り込みができます。

- ジャンルで検索結果を絞り込む
- 県別で検索結果を絞り込む
- 地域別で検索結果を絞り込む

ジャンルで検索結果を絞り込む：

手順4の「50音」画面で [ジャンル] ソフトキーを押します。



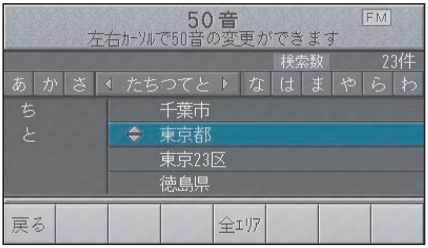
カーソルノブで項目を選択して、決定キーを押すと検索結果の絞り込みが行われ、手順4に戻ります。

[全ジャンル] ソフトキーを押すと、絞り込みが解除されて手順4の「50音」画面に戻ります。

（次のページへ続きます）

県別で検索結果を絞り込むには：

前ページ手順4の「50音」画面で 県別 ソフトキーを押します。

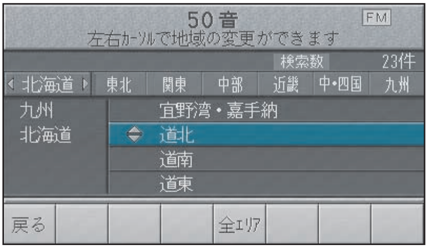


カーソルノブで項目を選択して、決定キーを押すと検索結果の絞り込みが行われ、手順4に戻ります。

全エリア ソフトキーを押すと、絞り込みが解除されて前ページ手順4の「50音」画面に戻ります。

地域別で検索結果を絞り込むには：

前ページ手順4の「50音」画面で 地域別 ソフトキーを押します。

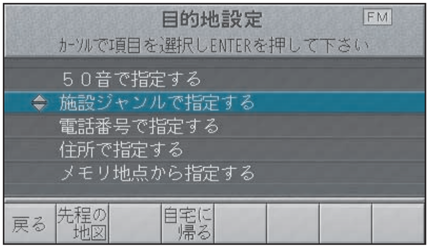


カーソルノブで項目を選択して、決定キーを押すと検索結果の絞り込みが行われ、手順4に戻ります。

全エリア ソフトキーを押すと、絞り込みが解除されて前ページ手順4の「50音」画面に戻ります。

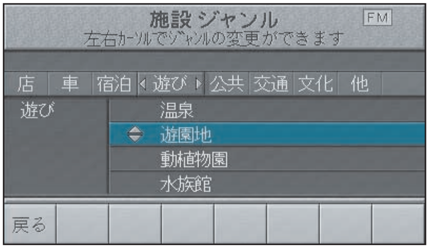
●施設ジャンルで指定する

1. 「目的地設定」画面で「施設ジャンルで指定する」を選び、決定キーを押します。



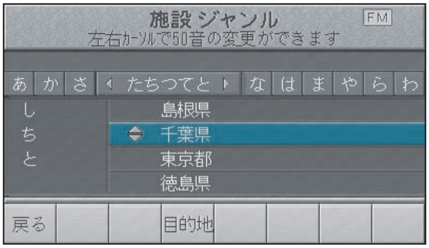
2. ジャンルを選び、決定キーを押します。

下記の例では「遊園地」を選んでいます。



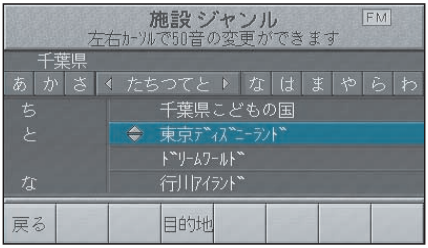
カーソルノブを左右に動かして、「店」、「車」などのカテゴリーを選ぶこともできます。

3. 施設がある都道府県名を選び、決定キーを押します。



ナビゲーション

4. 施設名称を選び、 決定キーを押します。

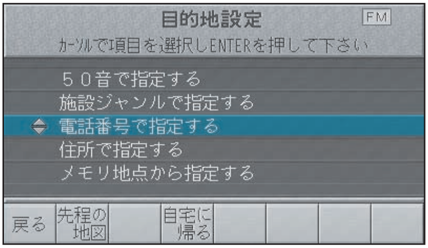


地図が表示されます。

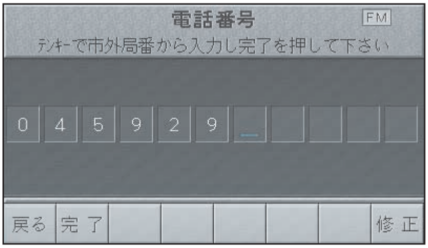
知識：
ソフトキーを押すと選んだ施設に電話をかけることができます。

●電話番号で指定する

1. 「目的地設定」画面で「電話番号で指定する」を選び、 決定キーを押します。



2. 【数字キー】で電話番号を市外局番から入力します。

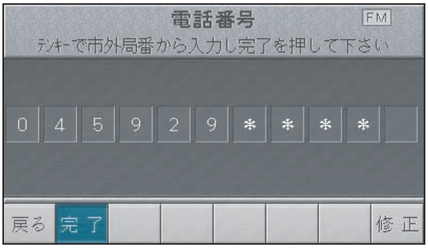


数字を修正するには、修 正 ソフトキーを押してください。

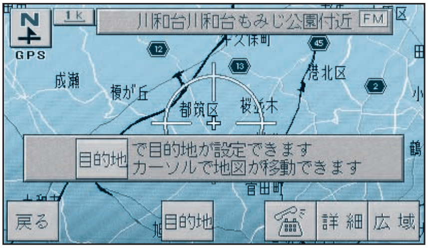
知識：
市外局番と市内局番のみを入力して手順3（次のページ）の操作をしても、その周辺の地図を表示します。

（次のページへ続きます）

3. 電話番号を入力したあと、完了ソフトキーを押します。



地図が表示されます。



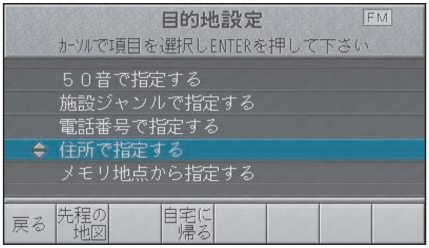
該当する電話番号がない場合は、市内局番と市外局番から、その周辺の地図を表示します。

知識：
次の場合、自動的に周辺の地図を表示します。
- **10桁入力して約3秒間なにも操作をしなかったとき**
- **9桁入力して約10秒間なにも操作をしなかったとき**

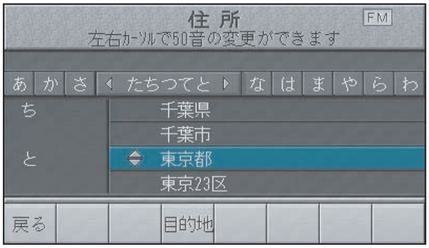
知識：
電話番号を入力し、完了ソフトキーを押した後、電話ソフトキーを押すと入力した電話番号に電話をかけることができます。

●住所で指定する

1. 「目的地設定」画面で「住所で指定する」を選び、決定キーを押します。

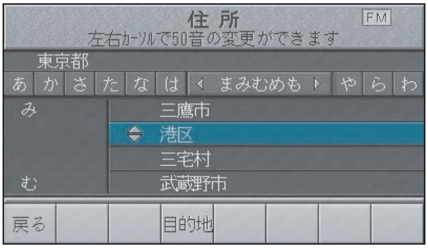


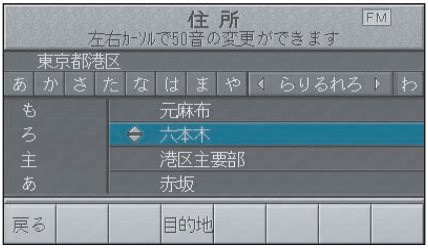
2. 都道府県名を選び、決定キーを押します。

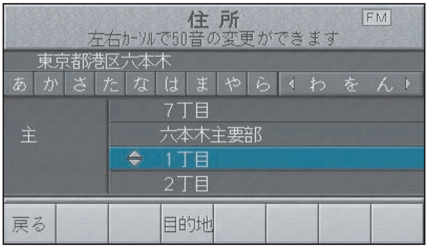


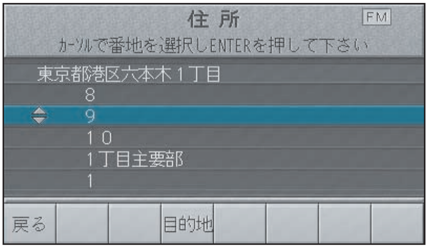
ナビゲーション

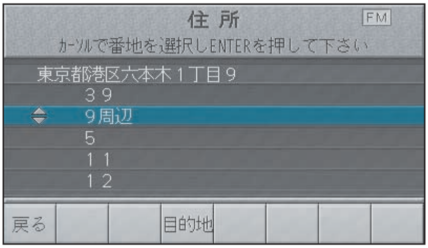
3. 町名番地を選び、 決定キーを押します。









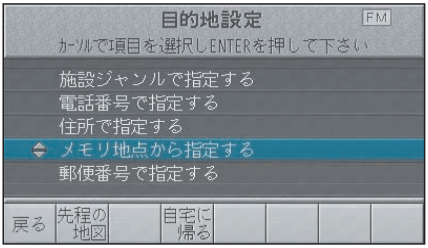


● メモリ地点から指定する

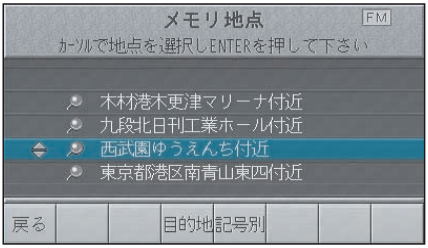
すでに登録しているメモリ地点から、その地点の周辺の地図を表示します。

→ メモリ地点登録機能：P7-36

1. 「目的地設定」画面で「メモリ地点から指定する」を選び、 決定キーを押します。



2. メモリ地点を選び、 決定キーを押します。



知識：
記号別 ソフトキーを押すと、記号別に施設が表示されます。記号別の施設リストが表示された「メモリ地点」画面にある 登録順 ソフトキーを押すと以前に登録した順で施設が表示されます。

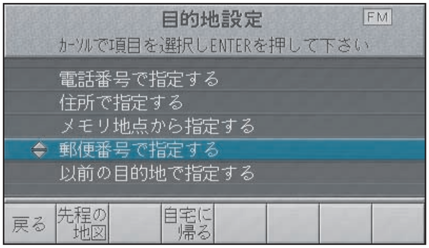
（次のページへ続きます）

地図が表示されます。

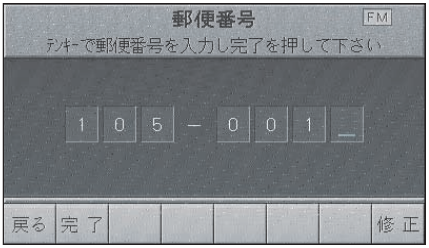
知識：
ソフトキーを押すと選んだ施設に電話をかけることができます。

● 郵便番号で指定する

1. 「目的地設定」画面で「郵便番号で指定する」を選び、 決定キーを押します。



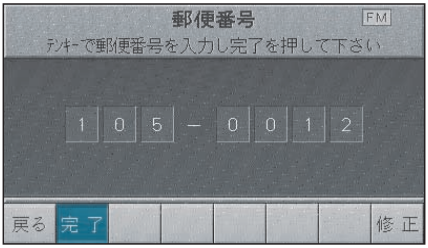
2. 【数字キー】で郵便番号を入力します。

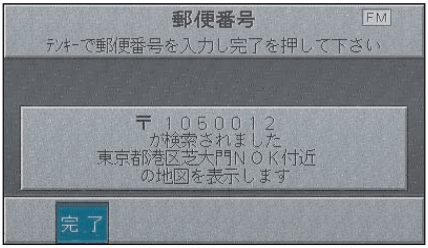


数字を修正するには、修 正 ソフトキーを押してください。

知識：
7桁すべてを入力しないと周辺の地図を表示できません。

3. 郵便番号を入力したあと、完了 ソフトキーを押します。





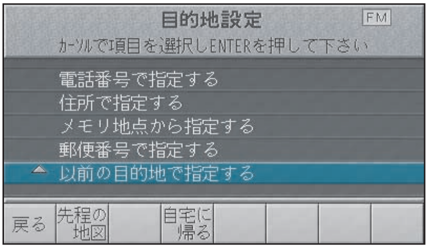
地図が表示されます。

> **知識：**
> **次の場合、自動的に周辺の地図を表示します。**
> **・7桁入力して約3秒間なにも操作をしなかったとき**

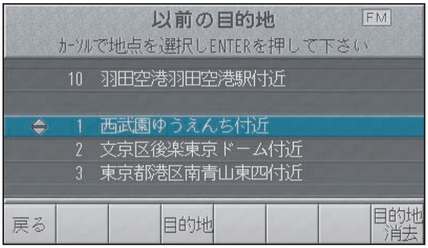
● 以前の目的地で指定する

以前に設定した目的地（最大10か所）から指定できます。

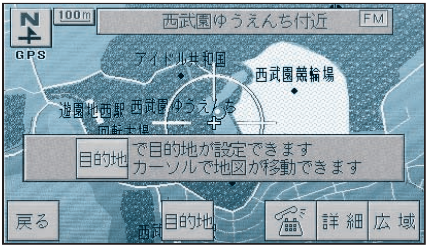
1. 「目的地設定」画面で「以前の目的地で指定する」を選び、決定キーを押します。



2. 目的地を選び、決定キーを押します。



地図が表示されます。



■ VICS情報を見る

VICS（道路交通情報通信システム）とは、FM多重放送やビーコンから渋滞・事故などの影響による規制、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションシステムに送信するシステムです。VICS はVehicle Information and Communication Systemの略です。

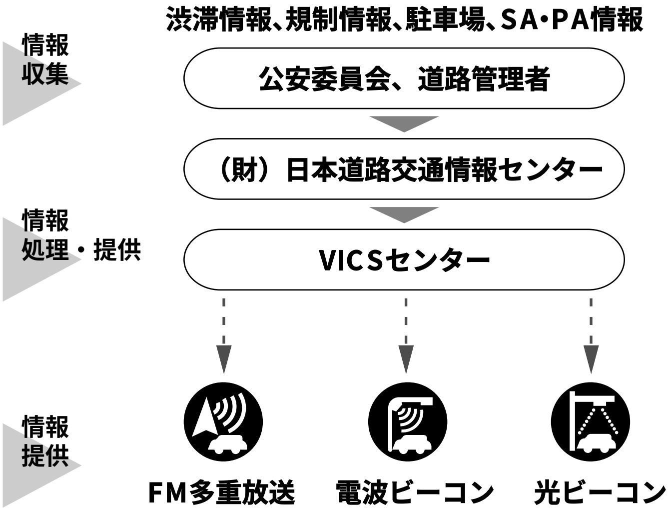
⚠ 警告

VICS情報は、走行中も表示されますが表示画面を注視しないでください。前方不注意となり思わぬ事故の原因になります。

知識：

- **本機は、FM多重放送のVICS情報を受信できます。**
- **電波ビーコンおよび光ビーコンからのVICS情報は受信できません。別売のVICS受信システムが必要です。**

● VICSサービスのしくみ



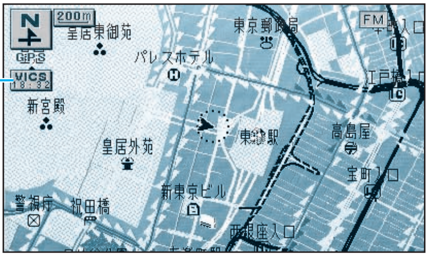
VICSリンクデータベースの著作権は、（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しています。

● VICS情報の表示

文字表示（レベル1）

図形表示（レベル2）

地図表示（レベル3）



タイムスタンプ

> **知識：**
> - **タイムスタンプの時刻表示は、VICS情報が提供された時刻を表します。VICS情報を受信した時刻ではありません。**
> - **タイムスタンプは、VICS表示がONのときのみ表示されます。**

● VICS情報を受信するには

FM多重からVICS情報（レベル1、レベル2、レベル3）を受信し、表示します。ただし、オーディオの条件により制約があります。

オプションのVICS受信システムを接続すると、オーディオの条件に関係なくFM多重のVICS情報が確認でき、さらにビーコンからVICS情報（レベル1、レベル2、レベル3）を表示し、渋滞を考慮したルートを探索できます。

別売のVICS受信システムを接続されていないお客様は

以下のいずれかの方法で、オーディオをONにしてください。

- CD再生モードまたはCDチェンジャーモード（CDチェンジャーが装備されている場合）をONにする。
  (→FM VICS放送局を選局する：P7-57)
- AUXモードをONにする。
  (→FM VICS放送局を選局する：P7-57)
- FMラジオモードをONにして、NHK-FMを受信する。

> **知識：**
> - **FMラジオを聞きながらVICS情報を受信するには、VICS情報を送信している放送局（NHK-FM）に周波数を合わせてください。**
> - **テレビ受信中は、VICS情報を受信できません。**
> - **AMラジオ受信中は、VICS情報を受信できません。**
> - **交通情報（TI）受信中は、VICS情報を受信できません。**
> - **エンジンキーを抜くとVICS情報のデータは消去されます。**

● VICS情報について

渋滞情報

渋滞度	表示	内　容	表示縮尺
渋滞	赤色	交通の流れが非常に悪い状態	50m～500m
混雑	橙色	交通の流れがやや悪い状態	
渋滞なし	水色	交通の流れが良い状態	

事象・規制情報

代表的なVICSマーク

マーク	内　容	表示縮尺
	進入禁止	50m～500m
	入り口閉鎖	50m～500m
	事故	50m～200m
	工事	50m～200m

駐車場、SA・PA情報

マーク	内　容	表示縮尺
(青)	利用が可能な状態	50m～500m
(赤)	ほぼ満車の状態	
(橙)	利用率が高い状態	
(黒)	駐車場情報がない状態	50m～200m
	閉鎖されている状態	

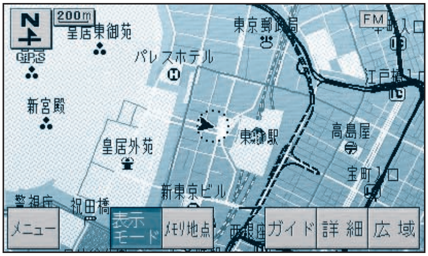
VICSマークの種類（参考）

マーク	内　容
	事　故
	故障車
	路上障害
	工　事
	凍　結
	作　業
	通行止め・閉鎖
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面交通
	車線規制
	徐　行
	入り口閉鎖
	大型通行止め
	入り口制限
	速度規制
	その他
	災　害
	行事など
	右左折規制
	片側規制
	火　災
	気　象
	地震警戒宣言
	駐車場
	SA・PA

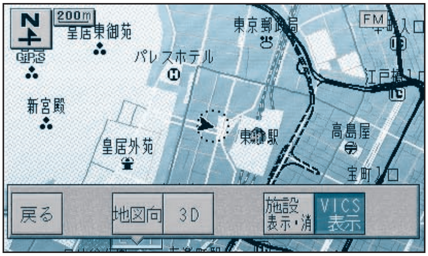
● VICS情報を地図上に表示する

渋滞情報や規制情報を表示できます。

1. [表示モード] ソフトキーを押します。



2. [VICS表示] ソフトキーを押します。



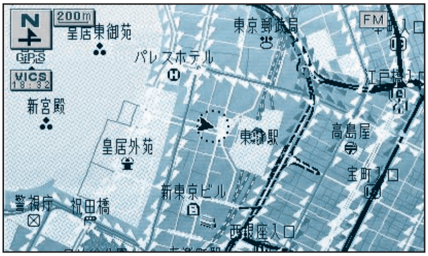
3. [全道路表示]、[高速道表示]、[一般道表示] ソフトキーを押します。

全道路表示：高速道路、一般道路、有料道路の情報を表示します。

高速道表示：高速道路の情報を表示します。

一般道表示：一般道路の情報を表示します。

例）全道路表示

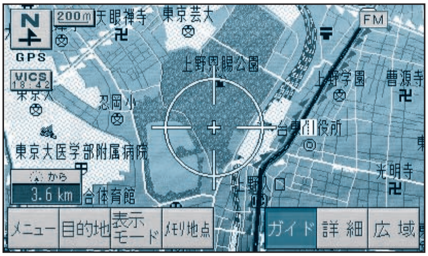


知識：
VICS情報は500mよりも広域な地図および市街図（25m）では表示されません。

● VICS情報マークの内容を確認する

地図上に表示されているVICS情報マークの詳細情報を確認できます。

VICS情報が表示されている現在地画面または地図画面で [ガイド] ソフトキーを押します。



画面中心に近い順から規制情報、駐車場マークの詳細情報が表示されます。

（次のページへ続きます）

自車から離れた位置のVICSマークの詳細情報を確認するには、 カーソルノブでクロス・カーソルをVICSマーク付近に移動させ、ガイド ソフトキーを押します。

> **知識：**
> - **ランドマーク（施設マーク）が表示されている場合、施設の詳細情報も表示されます。**
> - **駐車場情報は一部のエリアでしか提供できません。**

●ハイウェイモード画面にVICS情報を表示する

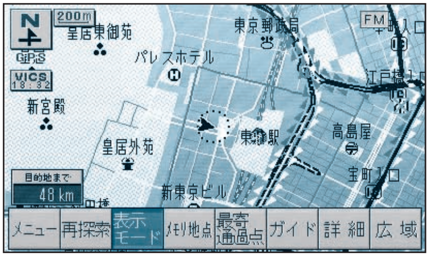
高速道路を走行中にVICS情報を受信すると、ハイウェイモード画面上にVICS情報を表示します。

道路を色分けして渋滞情報を表示し、規制情報などがあればVICSマークを表示します。

赤色：渋滞
橙色：混雑

● VICS情報を消去する

1. 表示モード ソフトキーを押します。

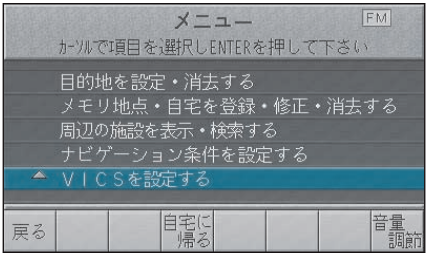


2. VICS表示 ソフトキーを押します。

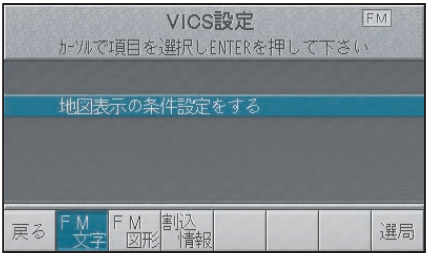
3. VICS消去 ソフトキーを押します。

● VICS文字情報を表示するには

1. 「メニュー」画面で「VICSを設定する」を選び、 決定キーを押します。



2. FM文字 ソフトキーを押します。



3. 目次画面が表示されます。【数字キー】で表示させたい情報の番号を押します。

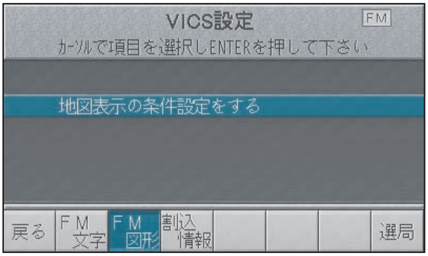
例）「1.渋滞」を選んだ場合

注意：
文字情報は走行中も表示されますが、画面を注視しないでください。前方不注意などにより思わぬ事故につながることがあります。

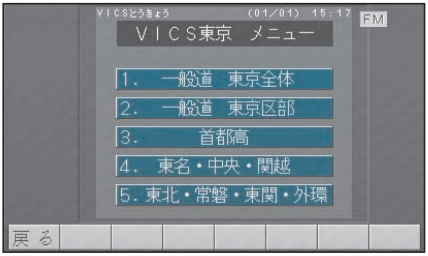
知識：
- **文字情報を複数ページ受信している場合（画面に ▼ が表示されます）、 カーソルノブを上下すると次ページを表示します。**
- **自動送 ソフトキーを押すと一定時間表示後、自動的に次ページを表示します。ただし、走行中は行いません。**
- **目次 ソフトキーを押すと、目次画面に戻ります。**

● VICS図形情報を表示するには

1. 「VICS設定」画面で FM図形 ソフトキーを押します。



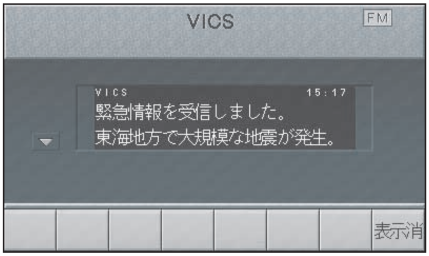
2. 目次画面が表示されます。【数字キー】で表示させたい情報の番号を押します。



知識：
- **図形情報を複数ページ受信している場合（画面に ▽ が表示されます）、カーソルノブを上下すると次ページを表示します。**
- **自動送 ソフトキーを押すと一定時間表示後、自動的に次ページを表示します。ただし、走行中は行いません。**
- **目次 ソフトキーを押すと、目次画面に戻ります。**

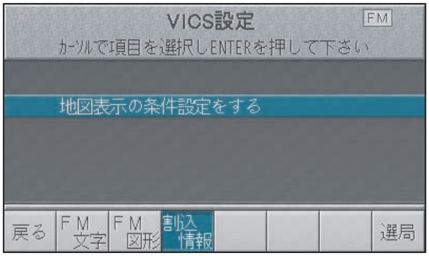
● 割込情報（緊急情報）を受信すると

割込情報を受信すると直ちに画面へ表示します。



知識：
- **情報を複数ページ受信している場合（画面上に ▽ が表示されます）、カーソルノブを上下すると次ページを表示します。**
- **メッセージは一定時間表示後、自動的に画面から消去されます。**
- **表示消 ソフトキーを押しても、メッセージを消去できます。**

再度表示させるには：
「VICS設定」画面で 割込情報 ソフトキーを押します。

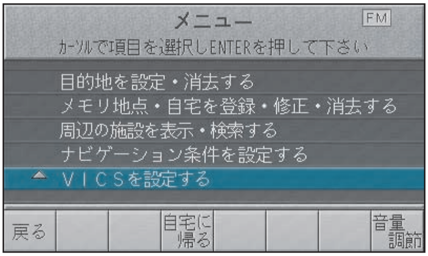


再表示されたメッセージは、自動的には画面から消去されません。

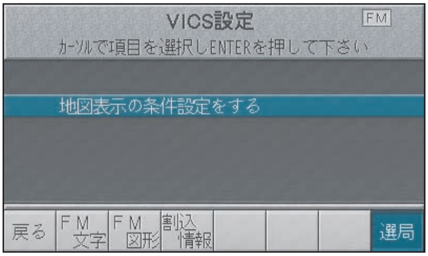
● FM VICS放送局を選局する

CD再生モード、CDチェンジャーモード（CDチェンジャーが装備されている場合）またはAUXモードをONにしているとき、受信する放送局を選ぶことができます。
各県の代表VICS放送局を選局することができます。

1. 「メニュー」画面で「VICSを設定する」を選び、決定キーを押します。



2. 選局 ソフトキーを押します。



3. マニュアル ソフトキーを押します。

オート：現在地情報をもとに自動的にVICS放送局を切り換えます。
マニュアル：希望する放送局に切り換えます。

4. 希望する県名を選び、決定キーを押します。

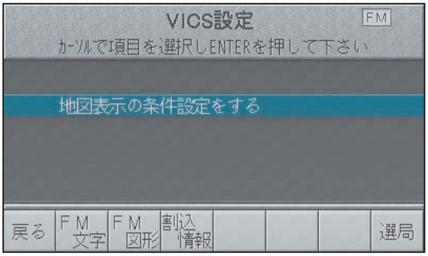
TUNE∨、TUNE∧ ソフトキーでも希望する周波数を選ぶことができます。

知識：

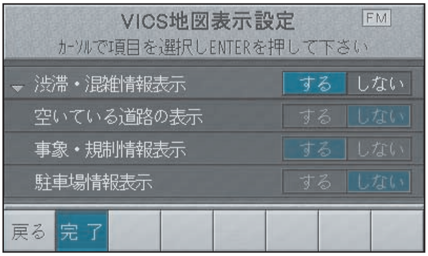
- **「オート」を選ぶと現在地情報をもとに受信エリアを判断して自動的に周波数を切り換えます。**
- **FMラジオモードをONにしているときは、受信中のFM放送局が優先され、VICS情報を選局できません。**

● 表示するVICS情報を設定する

1. 「VICS設定」画面で「地図表示の条件設定をする」を選び、 決定キーを押します。



2. それぞれの項目に対して「する」、「しない」を選んで、 決定キーを押します。



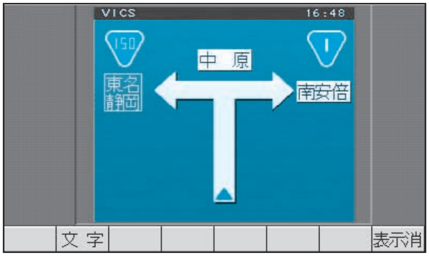
設定終了後、完了ソフトキーを押します。

■ VICSを機能アップする

別売のVICSシステム3メディアが必要です。接続すると渋滞を考慮したルートの探索や割込情報を受信することができます。

● 割込情報を受信すると

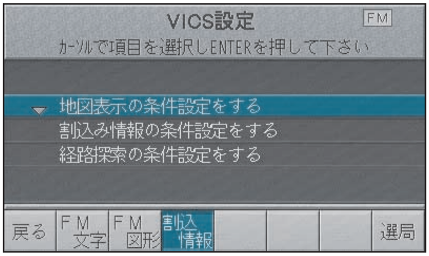
割込情報を受信すると直ちに画面へ表示します。



> **知識：**
> - 情報を複数ページ受信している場合（画面上に ▽ が表示されます）、 カーソルノブを上下すると次ページを表示します。
> - メッセージは一定時間表示後、自動的に画面から消去されます。
> - 表示消 ソフトキーを押しても、メッセージを消去できます。

再度表示させるには：

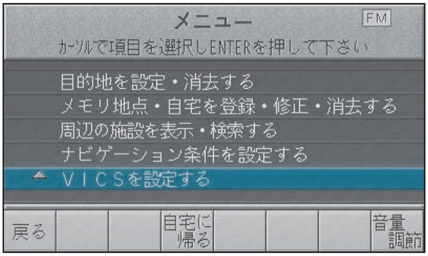
「VICS設定」画面で 割込情報 ソフトキーを押します。



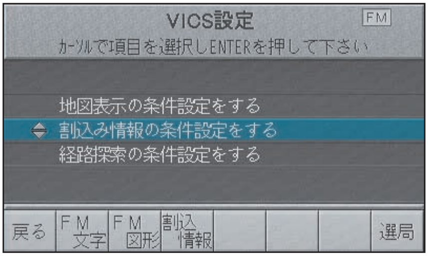
再表示されたメッセージは、自動的には画面から消去されません。

● 表示する割込情報を設定する

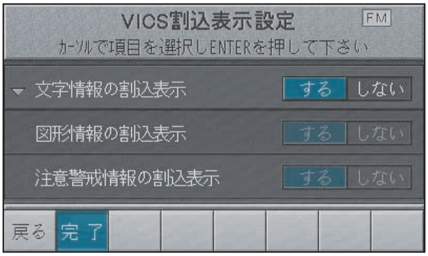
1. 「メニュー」画面で「VICSを設定する」を選び、決定キーを押します。



2. 「割込み情報の条件設定をする」を選び、決定キーを押します。

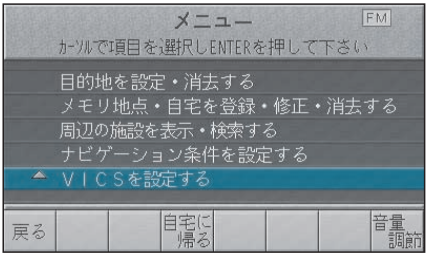


3. それぞれの項目に対して「する」「しない」を選び、決定キーを押して、完了ソフトキーを押します。

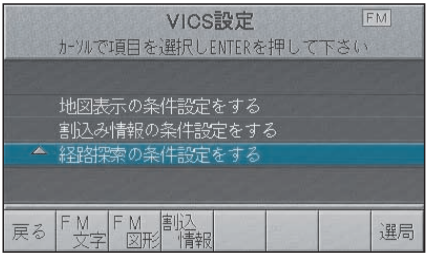


● VICS情報を考慮したルート探索をする

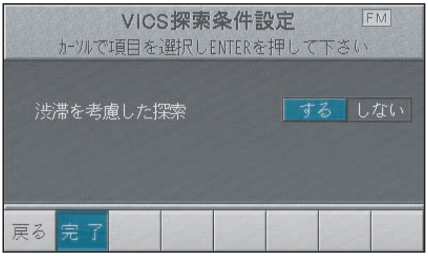
1. 「メニュー」画面で「VICSを設定する」を選び、決定キーを押します。



2. 「経路探索の条件を設定する」を選び、決定キーを押します。



3. 「する」「しない」を選び、決定キーを押して、完了ソフトキーを押します。



知識：
- **VICS情報を地図上に表示していないと動作しません。**
- **通行止め規制やランプ閉鎖等の規制がルート上にある場合、この設定に関係なく規制を回避するルートを探索します。**

●VICSサービスエリアと地図ディスクについて

VICSサービスエリア
北海道（札幌地区、旭川地区）、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、静岡県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、広島県、山口県、福岡県、宮崎県、沖縄県
（2001年04月現在）

VICS情報のレベル3（地図表示）は、ご使用の地図ディスクに収録されている「VICS対象エリア」内で表示可能です。
VICSのサービスエリアについては、地図ディスクに含まれるデータに依存するため、地図ディスクの説明書きを確認してください。
地図ディスクに収録されていない対象エリアで、VICSサービスエリアが拡大された場合は、サービスエリアが拡大された最新の地図ディスクをご使用していただく必要があります。
地図ディスクについてのお問い合わせは、最寄りのMBディーラーにご相談ください。

● VICSのお問い合わせ先

- 車載機の調子、機械、使い方等に関するもの
- VICSのサービスエリアに関するもの
- その他、上記に類するもの

これらの内容についてのお問い合わせは、最寄りのMBディーラーにご相談ください。

VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは（財）VICSセンターにお問い合わせください。

（財）VICSセンター
電話受付：9：30〜17：45
　　　　　土・日・祝祭日を除く
電話番号：03-3592-2033
　　　　　06-6209-2033
FAX受付：24時間
FAX番号：03-3592-5494
HPアドレス：http://www.vics.or.jp

■ ナビゲーションモードメッセージ画面

ナビゲーションモードの操作中に表示されるメッセージ画面は、操作項目やそのときの設定状態によって表示が異なります。
それらのメッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。
また、操作中のメッセージ表示以外に疑問に思われる点などがあるときは、念のため次ページの「故障と思う前に」をお読みください。

■ 故障と思う前に

ナビゲーションモード使用中に、画面表示の状態や操作に対する反応に疑問を感じたときなどは、故障とお考えになる前に、以下の項目を参照して本当に故障かどうか確かめてください。

疑問に感じる現象など	現象に対する説明
画面表示のディスプレイ面に光る点が散在する	画面表示の液晶パネルには非常に高度な製造技術で高密度の表示画素を採用しています。表示する有効画素数の保証値は99.99%以上となっていますが、わずかながら（0.01%以下）の割合で表示画素のエレメント配列欠損や常時点灯などの異常があることがあります。 故障ではありませんので、安心して使用してください。
自宅前の道路から案内を開始しない	団地内の私道や、住宅街の交通量の少ない（私道に準ずる）道は安全上と道路環境を保護するため、ルート案内対象道路として適用していません。少し走行して近くの案内対象道路（公道）に出るとルート案内が始まります。また、同じ理由から住宅街や学校付近などの「裏道や抜け道」も画面表示しなかったりルート案内や現在地表示ができないことがあります。「裏道」などの走行中に画面表示から道路が消えても、再び案内対象道路（公道）に出るとルート案内を開始します。
道路（公道）が画面に表示されない、画面表示の施設名が実際とは異なる	道路や施設名、交差点名などについては地図の作成時点で公開されている情報に基づくものであり、実際とは異なることをご理解のうえ使用してください。地図は1年ごとに新たな情報に基づき登録情報を更新していますので、新しい地図（DVD-ROM）と交換することをおすすめいたします。新しい地図（DVD-ROM）については、最寄のMBディーラーにご相談ください。

疑問に感じる現象など	現象に対する説明
地図の表示画面が暗すぎる、明るすぎる	地図表示画面の明るさを調整してください。 → **画面の明るさを調整する：P7-12**
現在地マークが画面に正しく表示されない（GPS受信マークが画面に表示されない）	●GPS（人工衛星）信号の受信状態や車の状態（たとえば、タイヤの交換直後やバッテリーの交換直後など）によって一時的に表示がずれることがあります。 ●これまでに走行した道路と地図の登録情報が一致しないときや、地図に登録されていない新しい道路の通過後などでは一時的に表示がずれることがあります。しばらくそのままで走行を続けるとGPSの受信により自動的に修正されます。GPSを精度よく受信するために見晴らしの良い安全な場所に停車することも一案です。 ●GPSが連続して受信できていながら、10km以上の距離を走行しても表示が自動修正されないときは手動で修正することもできます。 → **現在地（自車位置）を修正する：P7-13**
現在地マークの方向と車の進行方向が合わない	●以下のような状況では、一時的に車の進行方向表示がずれることがあります。 ◎駐車場の出入り口でターンテーブルを使用したあと ◎ループ状の駐車場出入口の通過後 ◎ループ橋などの道路の通過後 しばらくそのままで走行を続けると、GPSの受信により自動的に修正されます。 ●GPSが連続して受信できていながら、10km以上の距離を走行しても表示が自動修正されないときは手動で修正することもできます。 → **現在地（自車位置）を修正する：P7-13**

疑問に感じる現象など	現象に対する説明
現在地位置までの走行距離の誤差が大きい（常に大きな誤差がある）	●このシステムはタイヤの回転数によりこの車の走行距離を計算します。指定サイズ、および指定ブランド以外のタイヤを装着すると表示誤差が大きくなることがあります。表示誤差が直らない場合や、タイヤ交換時はかならず、MBディーラー、または指定サービス工場にご相談ください。 ●非舗装路面や路面の凸凹が激しい道路、凍結路などの通過時やタイヤチェーン装着時などはタイヤの回転数が不安定になるため表示誤差が大きくなることがあります。
案内ルートが不適切 ・有料道優先を選んでいないにもかかわらず、有料道路を案内する ・距離優先を選んだら、有料道路の出入りをくり返す	●以下のようなときは有料道優先を選んでいなくても有料道路を案内することがあります。 ◎一般道路を通ると極端に遠回りになるとき ◎周囲に適切な案内対象の一般道が存在しないとき ●距離優先を選ぶと、ルート探索上の最短の距離を表示しますので、有料道路の区間別にくり返し案内することがあります。
インターチェンジなどの走行中現在地マークが回転する	ループ状のインターチェンジや交差点などを通過するときは方位が連続してかわるため、一時的に現在地マークが回転することがあります。 そのまま走行を続けると、正しい方位を探索して自動的に修正されます。

■ ナビゲーション地図データについて

本機の「地図」は財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社ゼンリンの地理情報に基づいて、松下電器産業株式会社が製作したものです。但し、調査時期やその取得方法により現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては実際の道路状況および交通規制に従ってください。
ディスクの詳細につきましては、地図ディスク用印刷物「地図ディスクについて」をご覧ください。

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

- この地図の作成にあたっては、国土交通省国土地理院発行の2.5万分の1地形図を使用しました。

- この地図の作成にあたっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。

- この地図の作成にあたっては、財団法人日本デジタル道路地図協会作成の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。

  © 財団法人　日本デジタル道路地図協会
  © 松下電器産業（株）＆（株）ゼンリン

- 交通規制データの保証について
  本品に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき設立された全国安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて（財）日本交通管理技術協会（TMT）が作成したものを使用しています。

- 道路交通規制の優先について
  本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

- 著作権および使用実施権について
  本品に使用している交通規制データの著作権は（財）日本交通管理技術協会が有し、二次的著作物作成の使用実施権は松下電器産業（株）が取得しています。
  本品に使用している交通規制データを無断で複写・複製・加工・改変することができません。

  © TMT

● 地図記号

記号	色	名　称
	紫	高速道路・都市高速・有料道路
	赤	国道
	薄緑	主要地方道
	黄	一般都道府県道
	白	その他の道路（幅5.5m以上）
	灰	その他の道路（幅3.0m以上）
	灰	私鉄線路
	黒/白	JR線路
	水色	水域（河川、湖沼、海など）
	緑	緑地
	薄茶	駅／敷地

記号	名　称
	官庁、市町村の出先機関
	都道府県庁
	市役所、東京23区役所
	町村役場、東京以外区役所
	郵便局
	警察署
	消防署
	学校
	幼稚園
	病院
	他の施設
	発電所
	銀行、信用金庫、農協
	スーパーマーケット、デパート
	ホテル、旅館
	ビル
	工場
	神社
	寺院
	教会
	港
	城跡
	史跡
	ゴルフ場

記号	名　称
	スキー場
	海水浴場
	アイス・スケート場
	ヨット・ハーバー、マリーナ
	陸上競技場、体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	灯台
	インターチェンジ
	パーキング・エリア
	サービス・エリア
	駐車場
	駅
	道の駅
	フェリー・ターミナル
	山
	電話局
	墓地
	空港、飛行場
	MBディーラー

● ランドマーク（施設マーク）

ランドマークについては、周辺施設探索時に表示されるリスト表示名称と記号を参照してください。

● 主な設備マーク

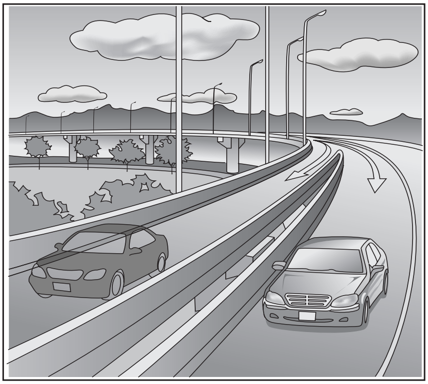
記号	名　称
	郵便ポスト
	レストラン
	トイレ
	FAXサービス
	ハイウェイ情報ターミナル

■ ナビゲーションについて

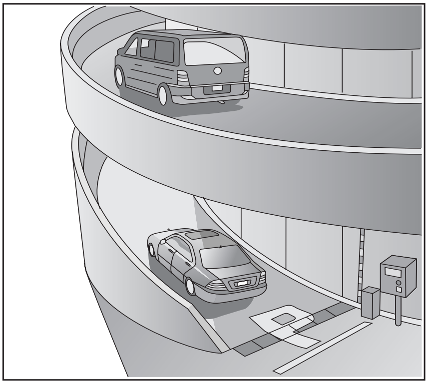
システムの構成上から以下のようなことが起こりますが、故障ではありません。

● 走行場所や運転条件などにより、現在地マーク（ ）が正しい位置を表示しないことがあります。

● 分岐角度のゆるやかなY字分岐点の通過時、しばらくの間もう一方の道路に現在地マークを表示することがあります。



● ループ状の橋やインターチェンジなどを通過すると、現在地マークがずれることがあります。



● 案内ルートを外れて手前の交差（分岐）点で曲がったときなど、誤った音声案内をすることがあります。

● 高速道路を走行しているときに、並行している側道あるいは、高架下の一般道に現在地マークを表示することがあります。また、その逆の場合もあります。

● 走行中に再探索あるいは、迂回探索をすると、ルート表示が次の交差点までに間に合わないことがあります。

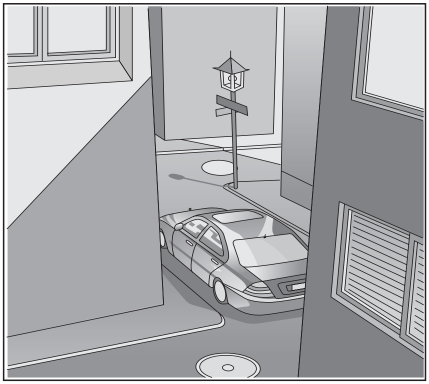
● 音声案内ができない交差点や拡大表示できない交差点があります。

● 一方通行規制で進入できない道路を案内することがあります。

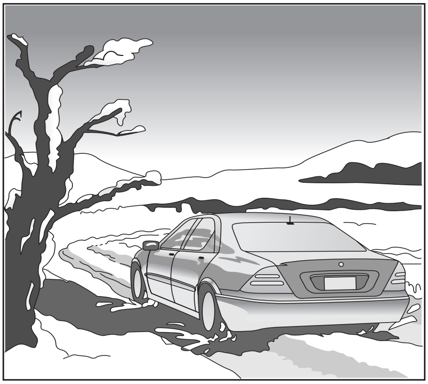
● 時間規制で曲がれない交差点を曲がるように案内することがあります。

● 再探索、迂回探索機能で探索したルートが遠回りになることがあります。

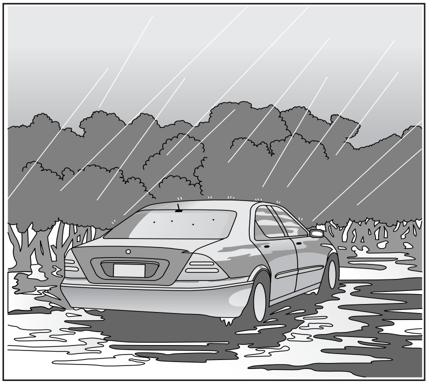
● ビルや大型車両の近くあるいは、山間部を走行すると、現在地マークがずれることがあります。



- 通過点を経由せずに目的地に向かうとき、再探索、迂回路探索を実行すると、通過点に戻るルートを表示することがあります。



- 航走フェリーや車両運搬車などで車両を移動させたあと、現在地マークが移動前の位置を表示することがあります。
- 探索されたルート表示が、Uターンを案内することがあります。
- 実際に通行できない道（すでに廃止されている旧道など）を案内することがあります。
- 駐車場のターンテーブルで回転や切り返しなどを繰り返したあと、現在地マークがずれることがあります。
- 砂利道、雪道、凍結面などの滑りやすい路面を走行すると、タイヤのスリップにより現在地マークがずれることがあります。



- 現在地マークを修正したときに修正を間違えたまま走行を続けると、自動修正できないことがあります。
- 目的地まで道路が達していないときや道幅が狭いときは、目的地から離れたところまでしかルート案内をしないことがあります。
- カーブなどで急ハンドル操作を繰り返すと、現在地マークがずれることがあります。
- 直線道路でも車線変更を必要以上に繰り返すと、現在地マークがずれることがあります。
- 地図データにない新しい道路や開拓地域を走行すると、ルート案内ができなかったり、現在地マークがずれることがあります。
- 目的地までの距離が極端に長いときや短すぎるときは、ルート設定できないことがあります。

MEMO

8.　TI（交通情報）

交通情報を聞く 8-2

■ 交通情報を聞く

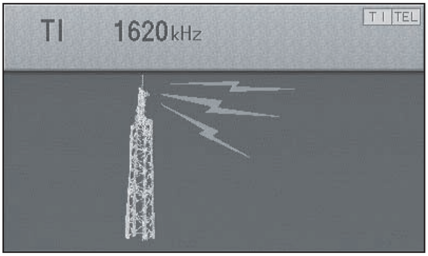
交通情報画面を表示させて、交通情報放送を聞くことができます。

1. TI キーを押します。

交通情報画面が表示され、放送局「1620kHz」が選ばれて交通情報が聞こえます。

◆ 本体側表示

（オーディオ画面から TI キーを押した場合の画面）



◆ メータ側表示

交通情報のプリセット番号「TI」と周波数の「1620kHz」が表示されます。

知識：

- **この「交通情報」は、道路管理者や所轄の警察が放送地域を限定して送信しますので、受信範囲外では受信できません。放送地域については、道路上の標識などにより知ることができます。**
- **標準的な交通情報送信局である「1620kHz」の周波数が固定で選局されます。他の周波数には変更できません。**
- **「TI」は、Traffic Informationの略記です。**

9.　さくいん

1.はじめに 9-2
2.ラジオ 9-3
3.CD 9-4
4.テレビ 9-5
5.電話 9-6
6.AUX 9-7
7.ナビゲーション 9-7
8.TI（交通情報） 9-11

1.はじめに

[あ]
安全のために 1-3

[お]
オーディオ機能. 1-5
主な特長. 1-5
音量の調整. 1-15
音量ノブを押す(リピート機能)
. . . . 1-15

[か]
カーソルノブ 1-10
各部の名称. 1-9
画面内表示 1-9
画面表示を消す. 1-6

[き]
キーおよびスイッチ. 1-10
基本的な使いかた. 1-14

[け]
言語. 1-17

[こ]
固定表示のキーおよびスイッチ
. . . . 1-10

[し]
システム情報・設定モード . . . 1-6
システムの基本設定 1-17
システムモードを表示させる. . . 1-17

[す]
スクロールスイッチ 1-11
ステアリング・スイッチ. . . . 1-11

[そ]
走行中の使用制限. 1-14
操作時信号音の設定 1-18
ソフトキー. 1-12

[ち]
調整モード 1-6

[て]
電源のON/OFF 1-14

[と]
取扱説明書の使いかた. 1-2

[な]
ナビゲーションモード. 1-7

[に]
日本語と英語の切り換え. . . . 1-17

[は]
はじめに. 1-4
バッテリー保護機能 1-14
表示切り換えスイッチ 1-11
本体表示. 1-9

[ま]
マルチファンクション
コントローラー. 1-4

[め]
メーター内表示. 1-9

[アルファベット]
BEEP 1-18
ENGLISH 1-17
FM. 1-5
MUTEの使いかた 1-16

2.ラジオ

[あ]

アンテナについて 2-12

[い]

一時消音 2-7

[お]

オートプリセット 2-5

[き]

緊急放送お知らせ機能 2-10

[さ]

サウンド(音質調整)モード 2-7

[し]

自動送りを設定する 2-9
自動選局 2-6
受信についての注意 2-11
手動プリセット 2-6

[せ]

選局する 2-4

[そ]

ソフトキーの説明 2-3

[と]

独立情報 2-8

[は]

番組情報 2-8
番組を切り換える 2-9

[ふ]

プリセット番号 2-3
プリセットメモリモード 2-3

[へ]

ヘッダー表示 2-2

[ほ]

放送局名表示 2-11
放送局を切り換える 2-9

[め]

メーター側表示 2-3
メッセージ画面 2-10

[も]

文字多重放送の受信 2-8

[ら]

ラジオ操作スイッチ 2-2
ラジオ電波 2-11
ラジオのON/OFF 2-4
ラジオモード
　基本画面（2-3）
ラジオを聞く(ON) 2-4
ラジオを止める(OFF) 2-4

[アルファベット]

AM 2-2
AUTO 2-2
AUTO・P 2-3
BALANCE 2-7
BASS 2-7
FADER 2-7
FM 2-2
　多重（2-2）
　文字多重放送（2-8）
　文字多重放送受信時の注意
　（2-12）
MUTE 2-7
TREB 2-7

さくいん

3.CD

[い]
一時消音 3-10

[お]
音飛びについて 3-12

[き]
聞きたい曲を選ぶ(シーク操作) . . . 3-9
聞きたいCDを選ぶ 3-9

[く]
繰り返し再生 3-5

[け]
結露(霜つき)について 3-12

[さ]
再生できるCD 3-11
サウンド(音質調整)モード 3-9

[し]
シークアップ/ダウン 3-9

[す]
スロット番号 3-8

[そ]
ソフトキーの説明 3-5

[た]
タイトルスキャン(曲目探し) . . . 3-5

[て]
ディスクの繰り返し再生 3-5
ディスクランダム再生 3-5

[へ]
ヘッダー表示 3-2

[め]
メッセージ画面 3-10

[ら]
ランダム再生 3-5

[アルファベット]
BALANCE 3-9
BASS 3-9
CD
聞く（3-4）
再生のON/OFF（3-4）
再生モード（3-5）
再生モード基本画面（3-5）
操作スイッチ（3-2）
出し入れ（3-4）
止める（3-4）
取り扱いの注意（3-11）
CDチェンジャー
セットする（3-7）
セットのしかた（3-6）
操作スイッチ（3-3）
マガジンの取り出し（3-6）
マガジンを入れる（3-8）
CDC 3-3
DISC RDM 3-5
DISC RPT 3-5
FADER 3-9
MUTE 3-10
RDM 3-5
RPT 3-5
SCAN 3-5
TREB 3-9

4.テレビ

[あ]
明るさ 4-9
アンテナについて. 4-12

[い]
一時消音. 4-7
色あい 4-10
色調整 4-10

[お]
オートプリセット 4-5
音質調整. 4-8
音場調整. 4-9
音声多重放送 4-8

[か]
画質調整. 4-8
画面サイズ調整 4-10

[こ]
コントラスト 4-9

[し]
主音声 4-8
手動プリセット. 4-6

[せ]
選局する. 4-5

[そ]
ソフトキーの説明. 4-3

[て]
テレビ
受信についての注意（4-12）
操作スイッチ（4-2）
電波（4-12）
見る/止める（4-4）
テレビモード
基本画面（4-3）
便利機能（4-8）

[ふ]
副音声 4-8
プリセット番号. 4-3

[へ]
ヘッダー表示 4-2

[ほ]
放送局名表示 4-12

[め]
明調整 4-8
メッセージ画面 4-11

[アルファベット]
AUTO 4-2
AUTO・P 4-3
BASS 4-8
BALANCE. 4-9
FADER 4-9
MAIN. 4-8
MUTE 4-7
SUB. 4-8
TREB. 4-8

5.電話

[あ]
相手先電話番号の設定 5-10
相手先名の設定 5-11

[え]
英字の入力. 5-12

[お]
応答保留機能 5-6

[か]
カタカナ文字の入力 5-12
かな文字の入力 5-11
漢字の入力. 5-11
完了 5-10

[き]
キャッチホン機能. 5-15

[し]
自局番号の画面表示 5-13
次ページ 5-11
修正 5-7
種別 5-12

[す]
数字キーでの入力 5-7
ステアリング・スイッチでの入力
. . . . 5-9

[せ]
前ページ 5-11

[そ]
その他の機能 5-13
ソフトキーの説明 5-3

[た]
ダイヤルロック機能 5-13

[ち]
着信番号での入力 5-8

[つ]
通話中の画面表示 5-5

[て]
電話
かける（5-4）
基本画面（5-3）
操作スイッチ（5-2）
番号の入力（5-6）
発信・着信（5-4）

[と]
登録済みメモリの消去 5-13

[へ]
ヘッダー表示 5-2
変更 5-10

[め]
メッセージ画面 5-16
メモリ画面を表示させる. . . . 5-10
メモリ(M)キーでの入力 5-9
メモリ番号
消去（5-13）
登録（5-10）
入力（5-9）
メモリ番号での入力 5-8

[り]
リダイヤル操作での入力. 5-7

さくいん

6.AUX

[か]
外部音声
入力端子（6-2）
入力を聞く（6-3）
入力を止める（6-3）

[アルファベット]
AUX. 6-2

7.ナビゲーション

[あ]
明るさ調整. 7-12
案内拡大図表示 7-29
案内MUTE. 7-21

[い]
以前の目的地で指定する 7-49
一般道表示. 7-53
一般道優先. 7-22

[う]
迂回探索. 7-31

[お]
音声案内. 7-26
もう一度聞きたいとき (7-27)
音量調整 7-17

[か]
ガイドを表示する 7-35
画面の明るさを調整する 7-12

[き]
距離優先. 7-22

[け]
現在地
修正 (7-13)
登録 (7-36)
現在地画面 7-7
現在地周辺 . . . . 7-14、37
現在地マーク 7-7

[こ]
交差点拡大図. 7-29
高速道表示. 7-53
コントラスト. 7-12

さくいん

[さ]
再探索 7-31
先程の地図 . . . . . . 7-14、19、37
索引機能で地図を表示する
以前の目的地で指定する（7-49）
50音で指定する（7-42）
施設ジャンルで指定する（7-44）
住所で指定する（7-46）
電話番号で指定する（7-45）
メモリ地点から指定する（7-47）
郵便番号で指定する（7-48）

[し]
市街図 7-9
事象・規制情報 7-52
施設ジャンルで指定する 7-44
施設情報の表示 7-34
自宅位置
修正（7-15）
消去（7-15）
登録（7-14）
自宅に帰る . . . . 7-19、20
住所で指定する 7-46
渋滞情報 7-52
周辺の施設を表示する 7-32
ガイドを表示する（7-35）
施設情報（スポットデータ）を
表示する（7-34）
周辺の施設を表示する（7-33）
ランドマークを表示する（7-32）

[す]
推奨ルート 7-22
スポットデータ 7-34

[せ]
設備マーク . . . . 7-30、65
全行程一覧表 7-22
全道路表示 7-53
全ルート表示画面 7-21
全ルートを表示する 7-28

[そ]
ソフトキーの説明 7-6

[た]
タイムスタンプ . . . . 7-8、51

[ち]
地図
移動（7-10）
縮尺（7-9）
3D表示（7-11）
フリーズーム機能（7-9）
向きの切り換え（7-11）
地図記号 7-65
駐車場、SA・PA情報 7-52

[つ]
通過点
修正（7-23）
消去（7-23）
並べ換え（7-24）
ルート案内中に消去（7-28）
ルートに追加（7-23）

[て]
電波ビーコン 7-50
電話番号で指定する 7-45

さくいん

[な]
ナビゲーション条件の設定
自動再探索の設定（7-16）
他モード時の音声案内（7-16）
メモリ地点の名称表示（7-16）
ナビゲーション地図データ 7-64
設備マーク（7-65）
地図記号（7-65）
ランドマーク（施設マーク）（7-65）
ナビゲーションモードのON/OFF 7-7
ナビゲーションモードメッセージ画面 7-60

[の]
ノースアップ表示 7-11

[は]
ハイウェイモード表示 7-30
再度表示 (7-30)
消去 (7-30)

[ひ]
光ビーコン 7-50
表示マーク、シンボル. 7-8
昼画面. 7-12

[ふ]
フリーズーム機能 7-9

[へ]
別道路探索. 7-32
ヘディングアップ表示 7-11

[ほ]
方位マーク 7-8

[め]
メモリ地点
修正・変更（7-39）
消去（7-41）
名称表示（7-16）
呼び出し（7-38）
メモリ地点から指定する. . . . 7-47
メモリ地点登録機能
現在地を登録する（7-36）
地図画面から登録する（7-36）
メモリ地点の呼び出し（7-38）
メモリ地点メニューから登録する（7-36）
メモリ地点を修正・変更する（7-39）
メモリ地点を消去する（7-41）

[も]
目的地消去. 7-20
目的地情報案内機能 7-28
目的地を設定してルートを探索する
索引機能を使って目的地を選ぶ（7-19）
自宅に帰る（7-20）
地図画面で任意の地点を選ぶ（7-18）
最寄り通過点
消去（7-25）
追加（7-24）

[ゆ]
郵便番号で地図表示 7-48
有料道優先. 7-22

[よ]
夜画面. 7-12

[ら]
ランドマーク . . . . 7-32、65
[り]
立体交差点拡大図 7-29

[る]
ルート案内を開始する
案内拡大図表示（7-29）
音声案内について (7-26)
音声案内をもう一度聞きたいとき（7-27）
全ルートを表示するには (7-28)
ルート案内中に通過点を消去する（7-28）
ルート案内中もう一度探索する（7-31）
ルート案内を中止・再開する . . 7-21
ルート情報 . . . . 7-21、 22
ルート変更 . . . . 7-21、23
ルートを選ぶ 7-22
ルートを確認する
全ルート表示画面について（7-21）
最寄り通過点を追加する（7-24）
ルートに通過点を追加する（7-23）
ルートを選ぶ（7-22）
ルートを消去する. 7-20

[わ]
割込情報. . . . . 7-56、58

[数字・アルファベット]
3D高速分岐案内図. 7-29
3D表示 7-11
4ルート. . . . . 7-21、22
50音で指定する 7-42
FM VICS放送局の選局. 7-57
FM多重放送. 7-50
GPS. 7-2
GPS表示シンボル 7-8
VICS情報について
VICSマークの種類（7-52）
事象・規制情報（7-52）
渋滞情報（7-52）
駐車場、SA・PA情報（7-52）
VICS情報を見る
FM VICS放送局を選局する(7-57)
VICSサービスのしくみ (7-50)
VICS情報について（7-52）
VICS情報の表示（7-51）
VICS情報マークの内容を確認する（7-53）
VICS情報を受信するには(7-51)
VICS情報を消去する（7-54）
VICS情報を地図上に表示する（7-53）
VICS図形情報を表示するには（7-56）
VICS文字情報を表示するには（7-55）
ハイウェイモード画面にVICS情報を表示する（7-54）
表示するVICS情報を設定する（7-58）
割込情報（緊急情報）を受信すると（7-56）
VICS図形情報の表示 7-56
VICSマークの種類. 7-52
VICS文字情報の表示 7-55

VICSを機能アップする 7-58
VICS情報を考慮したルート探索をする（7-59）
表示する割込情報を設定する（7-59）
割込情報を受信すると（7-58）

8.TI（交通情報）

[T]

TI 8-2

MEMO

MEMO

MEMO

この取扱説明書の内容は、2001年7月現在のものです。

総輸入元
ダイムラー・クライスラー日本株式会社
〒106-8506東京都港区六本木一丁目9番9号 六本木ファーストビル

G, VIANO

環境保護のため、この取扱説明書は再生紙を使用致しました。

YEFM283771F